

南郷町文化財調査報告書第3集

崩野遺跡 II

1991. 3

みなみなかぐんなんごうちょう
宮崎県南那珂郡南郷町教育委員会

南郷町文化財調査報告書第3集

崩野遺跡 II

1991. 3

みなみなかぐんなんごうちょう
宮崎県南那珂郡南郷町教育委員会

序

南郷町の北部を東西に流れる南郷川の中流（榎原・下講）に位置する崩野遺跡については平成2年3月に南郷町文化財調査報告書をもって第1報としたところであります。

今回は当遺跡の二次調査の結果として報告するもので前回と同様に土砂採取に伴うもので一次調査の南側の隣接地を調査し、縄文時代後期の集石遺構13基と近世の土塙墓1基・溝状遺構2条が検出されて、縄文時代後期の土器群及び石器が出土しました。

南郷町内の遺跡を時代順に概観し、崩野遺跡周辺の歴史環境を推察するとともに出土した遺構や遺物を調査し、遺跡の立地や集落の構成を考察しています。

町内の歴史的環境のみでなく県南地方の生活基盤の様相も推察することができる貴重な資料となるものであります。

この度の報告が文化財の保存、研究及び学習活動の貴重な資料として広く活用され人々の生活に益することを念じます。

この発掘調査にあって御指導いただきました宮崎県教育庁文化課並びに調査について御理解と御協力を賜りました地元の方々や関係者に対して厚く御礼申し上げます。

平成3年3月30日

南郷町教育長

神 恵 春 一

例　　言

- 1 本書は宮崎県南那珂郡南郷町大字櫻原字前原の土砂採取事業に伴い、平成元年12月4日～27日に実施した崩野遺跡の二次調査の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査は、南郷町教育委員会が主体となり、県文化課主任主事長津宗重が担当した。
- 3 調査組織は次の通りである。

調査主体 南郷町教育委員会

| | |
|------------|------|
| 教育長 | 神恵春一 |
| 社会教育課長 | 日高照之 |
| 社会教育課長補佐 | 畠田良一 |
| 社会教育係長（担当） | 本田宏二 |

調査員 県教育庁文化課主任主事 長津宗重

- 4 遺物の実測図作成・拓本・トレースは、荒木慶子・伊集院康子・押川保子・棟 陽子・金子悦子・金丸琴路・貴島活美・清水由紀子・杉尾聰子・杉尾愛恵・田原辰子・田村とし子・富永優子・長田博子・永峰まり子・野田和美・藤崎順子・松浦由美・森 美知子・横山千穂・稻元光恵・久木田知代子・白川逸子・芝元素子に協力を頂いた。
- 5 石器の石材は文化課主任主査宍戸章の鑑定による。
- 6 本書の執筆・編集は長津が担当した。
- 7 土器の色調は農林省農林水産技術会事務局監修の標準土色帖による。本報告の方位は磁北である。またレベルは絶対高である。

本文目次

| | |
|------------------------|-----|
| 第Ⅰ章 序 説 | 1 |
| 第1節 発掘調査に至る経緯 | 1 |
| 第2節 崩野遺跡周辺の歴史的環境 | 1 |
| 第Ⅱ章 遺構と遺物 | 9 |
| 第1節 調査区の設定と概要 | 9 |
| 第2節 包含層の状態 | 9 |
| 第3節 縄文時代後期の遺構と遺物 | 9 |
| (1) 集石遺構 | 9 |
| (2) 縄文土器 | 16 |
| (3) 土器片加工円盤 | 44 |
| (4) 石 器 | 79 |
| 第4節 中世の遺構と遺物 | 103 |
| 第5節 近世の遺構と遺物 | 103 |
| (1) 溝状遺構 | 103 |
| (2) 土壙墓 | 103 |
| 第Ⅲ まとめ | 108 |

挿 図 目 次

| | |
|---------------------|----|
| 第1図 町内遺跡分布図 | 3 |
| 第2図 地形図 | 10 |
| 第3図 繩文時代後期の遺構分布図 | 11 |
| 第4図 集石遺構実測図（I） | 13 |
| 第5図 集石遺構実測図（II） | 15 |
| 第6図 集石遺構実測図（III） | 16 |
| 第7図 繩文土器実測図（I） | 17 |
| 第8図 繩文土器実測図（II） | 19 |
| 第9図 繩文土器実測図（III） | 21 |
| 第10図 繩文土器実測図（IV） | 23 |
| 第11図 繩文土器実測図（V） | 25 |
| 第12図 繩文土器実測図（VI） | 26 |
| 第13図 繩文土器実測図（VII） | 27 |
| 第14図 繩文土器実測図（VIII） | 28 |
| 第15図 繩文土器実測図（IX） | 29 |
| 第16図 繩文土器実測図（X） | 30 |
| 第17図 繩文土器実測図（XI） | 32 |
| 第18図 繩文土器実測図（XII） | 33 |
| 第19図 繩文土器実測図（XIII） | 35 |
| 第20図 繩文土器実測図（XIV） | 37 |
| 第21図 繩文土器実測図（XV） | 38 |
| 第22図 繩文土器実測図（XVI） | 39 |
| 第23図 繩文土器実測図（XVII） | 41 |
| 第24図 繩文土器実測図（XVIII） | 42 |
| 第25図 繩文土器実測図（XIX） | 43 |
| 第26図 土器片加工円盤実測図 | 45 |
| 第27図 石器実測図（I） | 80 |
| 第28図 石器実測図（II） | 81 |
| 第29図 石器実測図（III） | 82 |
| 第30図 石器実測図（IV） | 83 |
| 第31図 石器実測図（V） | 85 |

| | |
|-------------------------|-----|
| 第32図 石器実測図（VI） | 87 |
| 第33図 石器実測図（VII） | 89 |
| 第34図 石器実測図（VIII） | 91 |
| 第35図 石器実測図（IX） | 93 |
| 第36図 石器実測図（X）（一次調査分） | 96 |
| 第37図 石器実測図（XI）（一次調査分） | 97 |
| 第38図 石器実測図（XII）（一次調査分） | 98 |
| 第39図 石器実測図（XIII）（一次調査分） | 99 |
| 第40図 石器実測図（XIV）（一次調査分） | 100 |
| 第41図 石器実測図（XV）（一次調査分） | 101 |
| 第42図 近世の遺構分布図 | 104 |
| 第43図 S E 2・S D 1 実測図 | 105 |
| 第44図 銅錢・陶磁器実測図 | 106 |

表 目 次

| | |
|------------------|-----|
| 第1表 南郷町内遺跡地名表 | 5 |
| 第2表 土器片加工円盤計測表 | 46 |
| 第3表 繩文土器観察表 | 47 |
| 第4表 石器計測表（二次調査分） | 94 |
| 第5表 石器計測表（一次調査分） | 102 |
| 第6表 陶磁器観察表 | 107 |

図 版 目 次

| | |
|---|--|
| 図版1 調査区（北西区）、調査区（北東区）、S I 1、S I 2 | |
| 図版2 S I 3、S I 4、S I 5、S I 6 | |
| 図版3 S I 7、S I 8、S I 9、S I 10、S I 11 | |
| 図版4 S I 13 | |
| 図版5 I - 1 ~ 3類 (1~14)、I - 4 ~ 6類 (15~30)、II - 1 ~ 2類 (31~42)、 III - 1 ~ 3類 (43~59) | |

- 図版6 III-3・4 IV-1~3類(60~73)、IV-3類 V-1類(74~96)、
I~Ⅲ類(97~119)、I~Ⅲ類(120~145)
- 図版7 I~Ⅲ類(146~168)、I~Ⅲ類(169~195)、I~Ⅲ類(196~218)、
I~Ⅲ IV-1~7類(219~241)
- 図版8 VII-1・2類(242~265)、VII-2・3 VII-2類(266~291)、IX・XI・XII・XIII類
(292~315)、XIII・XIV類(316~342)
- 図版9 XI V類(343~352)、脚台付浅鉢(357~365)、底部(366~383)、底部(384~400)
- 図版10 底部(401~424)、底部(425~436)、土器片加工円盤(1~7)、石皿(1)
- 図版11 石皿(2・7・8)、石皿(5)、石皿(6・9)
- 図版12 磨石(10~15)、磨石(16~19)、磨製石斧(22~28)、石錐(30~40)
- 図版13 石錐、石皿(101)、石皿(102)、石皿(103)
- 図版14 磨石(106~112)、磨製石斧(113~118)、石錐(119~124)、石錐(125~130)
- 図版15 S E 1(南から)、S E 1(南から)、S E 1(北から)、S E 2(東から)

第Ⅰ章 序 説

第1節 発掘調査に至る経緯

崩野遺跡は行政区では宮崎県南那珂郡南郷町大字榎原丙字前原636に所在する。当遺跡は昭和57年に行われた土取り工事中に多量の縄文中期の阿高系の土器が出土し、非常に注目された。そのため、県文化課で確認調査を行ったところ発見地点以外にも土器の分布が見られ遺跡は台地全域に及ぶことが確認された。

ところが、昭和62年に再び土取り工事が行われ、地元の榎原中学校の生徒が表探した土器が町教育委員会に届けられた。そこで町教育委員会はすぐに工事を中止させ、県文化課の指導のもと地主や土取り業者との間で埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行った結果、土取りで保存が困難な部分については記録保存の措置をとることになった。町教育委員会が調査主体となり、県文化課永友良典主任主事の担当で、昭和62年3月18日～4月24日まで発掘調査を行った。その結果、200m²という限られた面積の発掘であったが、一辺が約2.5mの方形プランの堅穴住居1軒と集石遺構⁽¹⁾基が検出され、後期の阿高系・岩崎式の縄文土器が1万点以上も出土した。

今回も前回と同様に土取りが計画されたので、県文化課の指導のもと地主や土取り業者との間で埋蔵文化財の取り扱いについて協議を行った結果、保存が困難なために土取り部分について記録保存の措置をとることになった。そこで町教育委員会が調査主体となり、県文化課長津宗重主任主事の担当で、平成元年12月4日～27日に375m²の発掘調査を行った。

第2節 崩野遺跡周辺の歴史的環境

南郷町は宮崎県南の日南海岸の中央部に位置し、北の日南市との境を滝ヶ平山（319.8m）、西の串間市との境を鶴取山（366.9m）、南の串間市との境を鹿鳴山（362.4m）という日南一串間山地に囲まれ、東側だけを日向灘に面している。日南一串間山地を細田川の支流である南郷川と渦上川が開析しており、遺跡は川沿いに分布している。渦上川の南に小河川の賛波川があるが、遺跡は全然発見されていない。また海岸線から東に約1.5kmには大島があり、東岸に大島遺跡があるが、時代は不詳である。

崩野遺跡は地形分類では日南一串間山地のシラス台地（上位）に属し、南郷川右岸に位置する。この地点は南郷川が大きく蛇行し、その川に向かって北へ舌状に伸びる台地の先端部に立地する。当遺跡の標高は22mで川との比高は12mであり、海との距離は約3kmである。

当遺跡の歴史的環境を知るために、平成元年度の遺跡詳細分布調査によって確認された結果を基に町内の遺跡を時代順に概観する（第1図）。

旧石器時代

旧石器時代の遺物は全然表探されていないが、当遺跡から西に約6kmの留ヶ宇戸遺跡第1地点⁽⁴⁾

（串間市大字奈留字留ヶ宇戸）では始良・丹沢火山灰直上からナイフ形石器・石核・剝片などの旧石器と併に集石遺構や躰群などが検出されているので、当地においても将来確認される可能性がある。

縄文時代

縄文時代の遺跡は南郷川中流左岸の榎原地区に特に集中して分布している。また渕上川下流の両岸の渕上地区に3遺跡がある。

早期の遺跡としては南郷川中流左岸の大迫第1遺跡（大字榎原甲字大迫・035）があり、貝殻条痕文の土器が出土している。⁽⁵⁾

前期の遺跡としては南郷川中流左岸の石之元遺跡（大字榎原甲字石之元・037）があり、曾畠式土器が出土している。石之元遺跡は南郷川の最上流の遺跡であるが、西に約4kmには奈留地区遺跡群の猪之塚遺跡（串間市大字奈留字猪之塚）があり、ここでも曾畠式土器が出土している。中期の土器は表採されておらず、県内の中期の遺跡の稀薄性に由来するかもしれない。⁽⁶⁾

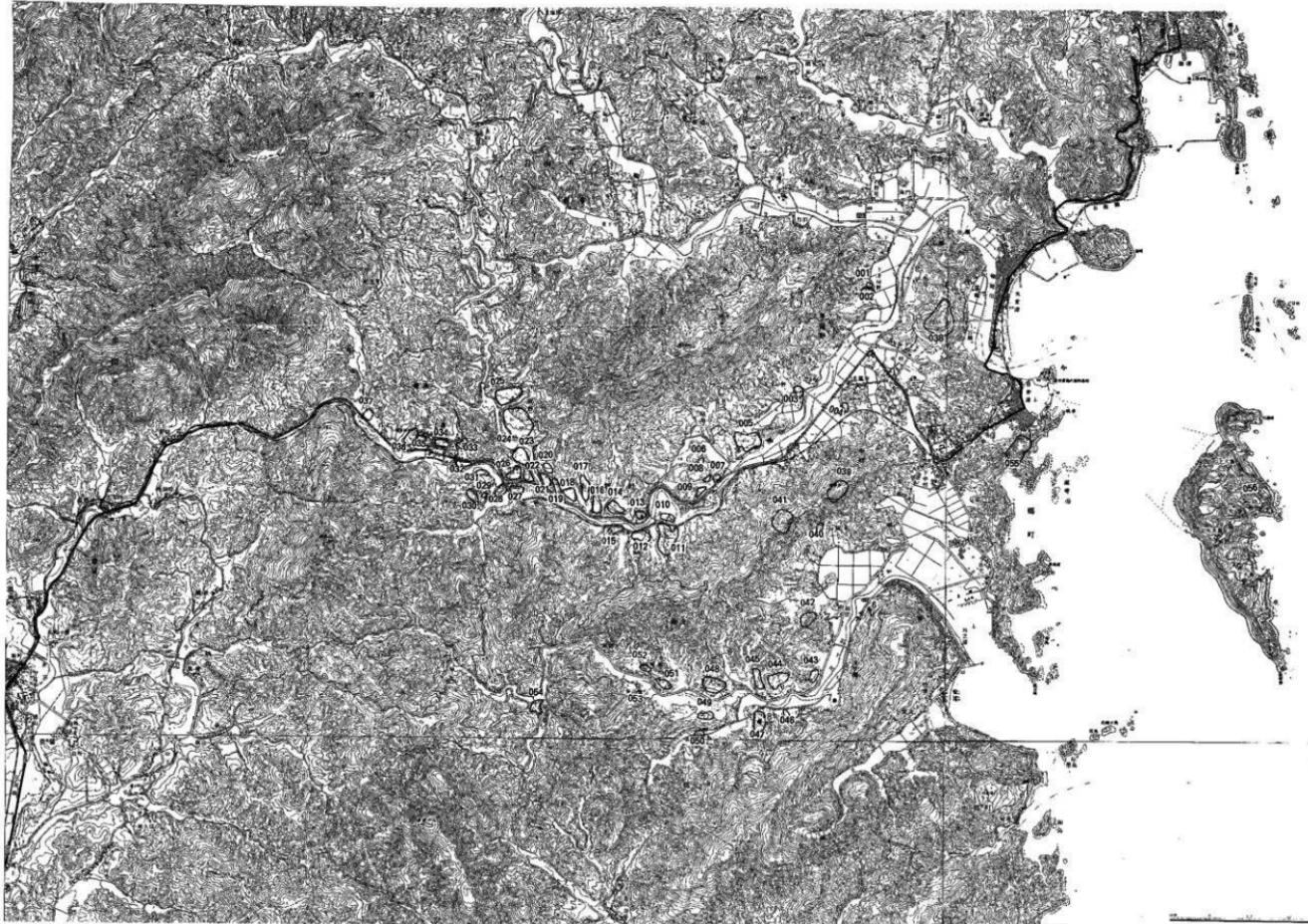
後期の遺跡としては南郷川下流左岸の津屋野遺跡（大字津屋野字原田・003）では貝殻条痕文の土器が、南郷川中流で二段に分岐する地点の枇杷ノ首第1遺跡（大字榎原字枇杷ノ首・022）⁽⁹⁾では沈線文の土器が、渕上川上流右岸の笹之久保遺跡（大字渕上字笹乃久保・054）⁽¹⁰⁾でも沈線文の土器が出土している。発掘調査された後期の遺跡としては崩野遺跡があり、阿高式系の土器が多量に出土すると併に、方形プランの堅穴住居1軒・配石遺構1基検出された。県南のこの時期の遺跡としては海に面した下弓田遺跡（串間市大字南方字狐塚）⁽¹¹⁾が著名であるが、市来式を中心とする時期で、崩野遺跡の次の段階に相当する。

弥生時代

弥生時代の遺跡は細田川の下流域左岸・中流域の両岸、渕上川の中流域に分布しているが詳細については不明である。

古墳時代

4基の円墳は渕上川中流の右岸に、1基は細田川下流の右岸に分布している。渕上川右岸の3基は標高10~20mに約1~1.2kmの間隔で分布しているのに対し、石棺が出土したという南郷1号墳（三本松古墳・大字渕上字櫛山・6）⁽¹²⁾は標高369mという山頂に立地している。渕上川流域の古墳はすべて箱式石棺であるが、すべて盜掘であるので詳細は不明である。しかし、南に約3.5kmに位置する市木川左岸の藤浦箱式石棺群（串間市大字市木字竹ノ上）⁽¹³⁾では金銅装の頭椎太刀が出土しており7世紀前半の在地首長層に比定される。また県内では県北の五ヶ瀬川上・下流域（延岡市・北方町・高千穂町）と県南の千野川下流域（串間市）と大淀川の中流域の牧ノ原古墳群（高城町）に分布しているが、時期的には5世紀にまで遡るものは確認されておらず、6世紀~7世紀前半の時期のものである。牧ノ原古墳群の2号箱式石棺からは劍1・鎌3・堅櫛1が、⁽¹⁴⁾4号箱式石棺からは刀1・劍1・鎌3・堅櫛1が、4号箱式石棺からは刀1・劍1・鎌1が出土



第1図 町内遺跡分布図（縮尺 1/50,000）

第1表 南郷町内遺跡地名表

| 遺跡番号 | 遺跡の名称 | 所在地 | 時代 | 種別 | 遺跡番号 | 遺跡の名称 | 所在地 | 時代 | 種別 |
|------|----------------|-------------|-------|-----|------|--------------|----------------------|----|-----|
| 001 | おわりだに終遺 谷跡 | 大字津屋野字終谷 | 弥生 | 散布地 | 021 | たおばる田尾原第3遺跡 | 大字櫻原乙字田尾原 | 近世 | 散布地 |
| 002 | あな穴遺 やま山跡 | 大字津屋野字穴山 | 弥生 | 散布地 | 022 | びわのくび社ノ首第1遺跡 | 大字櫻原乙字社ノ首 | 繩文 | 散布地 |
| 003 | つや屋原跡 や屋跡 | 大字津屋野字原田 | 繩文 | 散布地 | 023 | ひわのくび社ノ首第2遺跡 | 大字櫻原乙字社ノ首 | 繩文 | 散布地 |
| 004 | こうじ光道跡 寺跡 | 大字中村甲字光藏寺 | 平安 | 散布地 | 024 | まきのばる牧ノ原遺跡 | 大字櫻原乙字牧野原 | 中世 | 散布地 |
| 005 | じぬしがばる地遺 跡 | 大字津屋野字地主原 | 弥生 | 散布地 | 025 | ながのばる野原遺跡 | 大字櫻原乙字永野原 | 繩文 | 散布地 |
| 006 | たにのくち谷遺 跡 | 大字谷之口字城之内 | (不詳) | 散布地 | 026 | かわばた川原遺跡 | 大字櫻原乙字川原 | 繩文 | 散布地 |
| 007 | いりのじた池遺 跡 | 大字谷之口字池ノ下 | 弥生 | 散布地 | 027 | たづる田津留第1遺跡 | 大字櫻原乙字田津留 | 繩文 | 散布地 |
| 008 | しも下ノ子の園跡 | 大字谷之口字下ノ園 | 弥生 | 散布地 | 028 | たづる田津留第2遺跡 | 大字櫻原乙字田津留 | 繩文 | 散布地 |
| 009 | なかかわら中河原遺 跡 | 大字谷之口字中河原 | 繩文 | 散布地 | 029 | のなかだに野中谷第1遺跡 | 大字櫻原乙字野中谷 | 弥生 | 散布地 |
| 010 | くえんの崩野第1跡 | 大字櫻原丙字前原下鉢下 | 繩文 | 散布地 | 030 | のなかだに野中谷第2遺跡 | 大字櫻原乙字野中谷 | | 散布地 |
| 011 | くえんの崩野第2跡 | 大字櫻原丙字前原池之穴 | 繩文 | 散布地 | 031 | たけのうねむ竹ノ内原遺跡 | 大字櫻原甲字竹ノ内原 | 弥生 | 散布地 |
| 012 | かご開遺 した下跡 | 大字櫻原丙字開下 | 繩文 | 散布地 | 032 | しもばる下原遺跡 | 大字櫻原甲字下原 | 繩文 | 散布地 |
| 013 | つみ堤遺 した下跡 | 大字櫻原丙字堤下 | 弥生 | 散布地 | 033 | よわらしも櫻原下跡 | 大字櫻原甲字櫻原下 | 弥生 | 散布地 |
| 014 | おりゅうの折生野遺 跡 | 大字櫻原丙字折生野 | 繩文・弥生 | 散布地 | 034 | よわらしに二跡 | 大字櫻原甲 | 繩文 | 散布地 |
| 015 | い入遺 すみ角跡 | 大字櫻原乙字入角 | 近世 | 散布地 | 035 | おおさこ大迫第1遺跡 | 大字櫻原甲字大迫 | 繩文 | 散布地 |
| 016 | ゆみ弓通 た田跡 | 大字櫻原乙字弓田 | 弥生 | 散布地 | 036 | おおさこ大迫第2遺跡 | 大字櫻原甲字大迫 | 弥生 | 散布地 |
| 017 | なかのさと中通跡 | 大字櫻原乙字中ノ通 | 繩文 | 散布地 | 037 | いしのもと石之元 | 大字櫻原甲字石之元原 | 繩文 | 散布地 |
| 018 | たおばる原第1遺跡 | 大字櫻原乙字田尾原 | 繩文 | 散布地 | 038 | なんどうじ南野城跡 | 大字中村甲字城山 | 中世 | 城館跡 |
| 019 | たおばる原第2遺跡 | 大字櫻原乙字田尾原 | | 散布地 | 039 | じんのしろ陣之城跡 | 大字谷之口字池ノ谷高畠・谷之瀬・葉ヶ瀬戸 | 中世 | 城館跡 |
| 020 | おおたにだだ大谷後田跡 | 大字櫻原乙字大谷後田 | 繩文 | 散布地 | 040 | ならびまつ並松遺跡 | 大字脇本字並松 | 弥生 | 散布地 |

| 遺跡番号 | 遺跡の名称 | 所在地 | 時代 | 種別 | 遺跡番号 | 遺跡の名称 | 所在地 | 時代 | 種別 |
|------|-------------------|----------------------|----|-----|------|-----------------|-----------------|------|-----|
| 041 | こううんがじゅう 湖雲ヶ城跡 | 大字脇本字陣之城 鶴追作畑・助九郎 | 中世 | 城館跡 | 049 | さはら 笠原遺跡 | 大字潟上 字笠原 | 亦生 | 散布地 |
| 042 | わだじょう 和田城跡 | 大字潟上 字和田城 | 中世 | 城館跡 | 050 | なかづる 中鶴遺跡 | 大字潟上 字鶴ヶ谷・中鶴 | 弥生 | 散布地 |
| 043 | こまさいで 小政井手跡 | 大字潟上字上ノ久 保・小政井手 | 繩文 | 散布地 | 051 | おがわぐち 小川口遺跡 | 大字潟上 字内田・小川口 | 弥生 | 散布地 |
| 044 | おおくぼ 大久保跡 | 大字潟上字宮ノ原 大久保下 | 繩文 | 散布地 | 052 | まるはた 丸畠遺跡 | 大字潟上 字丸畠 | 弥生 | 散布地 |
| 045 | だいおおがお 大王ヶ尾道 | 大字潟上 字大王ヶ尾 | 平安 | 散布地 | 053 | あきやまがま 秋山窯跡 | 大字潟上 字天神原・野平 | (不詳) | 窯跡 |
| 046 | うしろだに 後谷遺跡 | 大字潟上 字後谷 | 繩文 | 散布地 | 054 | さきのくぼ 笹之久保遺跡 | 大字潟上 字笹之久保 | 繩文 | 散布地 |
| 047 | びゅう 別府遺跡 | 大字潟上 井之尻・別府 | 平安 | 散布地 | 055 | めいじとう 目井城跡 | 大字中村乙 字山之口 | 中世 | 城館跡 |
| 048 | おおさと 大迫遺跡 | 大字潟上字山形・ 栗原・大迫 | 弥生 | 散布地 | 056 | おおしま 大島遺跡 | 大字中村乙 字鼠尻 | (不詳) | 散布地 |

しており、5世紀末～6世紀前半の時期に比定される。よって当地域の箱式石棺もその時期に納まると考えられる。

また南郷川下流右岸の日南農林高校敷地内には後円部に石室を有する「掘込式」の前方後円墳として南郷5号墳が県指定されているが、詳細は不明である。この古墳から北に約2.5kmに位置する細田川下流左岸の細田古墳（日南市大字上方字小谷山）では長さ4.8mの竪穴式石室が確認されており、5世紀前半に比定されている。また広渡川下流右岸の油津山上古墳（日南市大字平野）は東に海を望み、竪穴式石室から鏡1面・勾玉・管玉が出土している。同左岸の東郷古墳（日南市大字風田字前磯平）は南に海を望む標高約60mの山頂に立地し、竪穴式石室が露出している。これらの竪穴式石室は5世紀代と推定される。

しかし、日南市星倉に見られる横穴墓、串間市の徳山や崩先に見られる地下式横穴墓は確認されていない。

古代

平安時代の遺跡としては布痕土器が表採された潟上川の中流両岸の大玉ノ尾遺跡（大字潟上字大玉ノ尾・045）・別府遺跡（大字潟上字井之尻・別府・047）がある。

中世

中世の山城としては細田川と南郷川に挟まれた標高約122mには南郷城跡（大字中村甲字城山・038）が、海に望む標高約90mには目井城跡（大字中村乙字山之口・055）が、南郷川と渦上川に挟まれた日南一串間山地には標高約197mの湖雲ヶ城跡（大字脇字陣之城・岡迫作畠・助九郎・041）が、標高約194mの高畠山の山頂には陣之城跡（大字谷之口字池ノ谷高畠・谷之瀬・袋ヶ瀬戸・039）が、渦上川を南に望む標高約65mの和田城跡（大字渦上字和田城・042）がある。このうち南郷城跡は東の大堂津の海にも望み、慶長6（1601）年に築城され、本丸が「東西一町南北三十間」の規模である。最高位の湖雲ヶ城跡は「岡ノ城」とも呼ばれ、天正4（1576）年に肝属の領主肝属省鈴が築城し、「幅3間、深さ1丈7、8尺」の堀が2本ある。しかし、これらの山城の縄張り図作成や調査は全然行われていない。

以上のように当地域は平成元年度の遺跡詳細分布調査によって遺跡の各時代の分布状況は把握されたが、各時期の遺跡の動態を描写するまでには至っていないので、今後の調査に期待することが大である。

註

- (1) 永友良典「崩野遺跡」「南郷町文化財調査報告書」第2集 南郷町教育委員会 1990
- (2) 経済企画庁総合開発局 「土地分類図(宮崎県)」 1974
- (3) 南郷町教育委員会「南郷町遺跡詳細分布調査報告書」「南郷町文化財調査報告書」第1集 1990
- (4) 吉本正典「留ヶ戸遺跡」「串間市文化財調査報告書」第2集 串間市教育委員会 1989
- (5) 註3に同じ
- (6) 註3に同じ
- (7) 長津宗重「猪之塚遺跡」「串間市文化財調査報告書」第1集 串間市教育委員会 1987
- (8) 文化庁 「全国遺跡地図 宮崎県」 1977
- (9) 註3に同じ
- (10) 註3に同じ
- (11) 註1に同じ
- (12) 石川恒太郎他「下弓田遺跡」「日向遺跡総合調査報告」第1輯 宮崎県教育委員会 1959
- (13) 註8に同じ
- (14) 石川恒太郎「串間市木箱式石棺調査報告」「宮崎県文化財調査報告書」第5輯 宮崎県教育委員会 1961
- (15) 石川恒太郎「高城町牧ノ原遺跡調査報告」「宮崎県文化財調査報告書」第14集 1969
- (16) 石川恒太郎・岩永哲夫「牧ノ原箱式石棺発掘調査」「宮崎県文化財調査報告書」第12集 1967
- (17) 宮崎県教育委員会「県指定古墳台帳」

- ⑩ 平部峠南『日向地誌』1929。細田町『郷土誌 細田町』1951。岡本武憲
「細田古墳の調査について」『平成2年度宮崎県埋蔵文化財専門職員等研修会資料』
1991
- ⑪ 平部峠南『日向地誌』 1929
- ⑫ 註19に同じ
- ⑬ 石川恒太郎「日向に於ける横穴及地下式古墳とその分布について」『日向史学』 1巻3号 1957
- ⑭ 石川恒太郎「串間市徳山地下式古墳調査報告」『宮崎県文化財調査報告書』第16集 1972
- ⑮ 石川悦雄「崩先遺跡発掘調査概要報告」『平成2年度宮崎県埋蔵文化財専門職員等研修会資料』1991
- ⑯ 註 3 に同じ
- ⑰ 註 3 に同じ
- ⑱ 註19に同じ
- ⑲ 註 3 に同じ
- ⑳ 註19に同じ
- ㉑ 註 3 に同じ
- ㉒ 註 3 に同じ
- ㉓ 註 3 に同じ
- ㉔ 註 3 に同じ

第Ⅱ章 遺構と遺物

第1節 調査区の設定と概要

崩野遺跡（南郷町大字櫻原字崩野丙 636）は、宮崎市の南約43.5kmの細田川の支流である南郷川に向かって北へ伸びる台地上に位置する（第2図）。

土砂採取に伴って一次調査が昭和62年3月18日～4月24日まで200m²の調査が南郷町教育委員会によって行われた。その結果、一辺が約2.5mの方形プランの竪穴住居1軒、配石遺構1基が検出された。阿高式系・岩崎式・市来式などの縄文後期の土器群が1万点以上も出土した。石器としては石皿・磨石・磨製石斧・打ち欠き石錐が出土しているが、打製石鎌は出土していない。

今回の二次調査も前回と同様に土砂採取に伴うもので、一次調査の南側の隣接地375m²を調査し、縄文時代後期の配石遺構13基と近世の土壙墓1基・溝状遺構2条が検出された。縄文時代後期の土器群としては阿高式系・岩崎式・市来式などが出土しており、一次調査と同じ土器群であるが、市来式土器の量が一次調査より多い。石器としては磨製石斧・石皿・磨石・打ち欠き石錐などが出土しており、一次調査と同様に打製石鎌を欠如している。

第2節 包含層の状態

当遺跡では、北側では第Ⅲ層が残存していたが、南端部では残存していない。

当遺跡の基本層序は、第Ⅰ層が表土、第Ⅱ層が黒褐色～褐色土層、第Ⅲ層が黄褐色火山灰（アカホヤ層）、第Ⅳ層が暗褐色小軽石火山灰層、第Ⅴ層が白黄色火山灰層、第Ⅵ層がチヨコレート色土層、第Ⅶ層が軟質黒褐色土層、第Ⅷ層が黄褐色粘質土層である。

縄文土器・石器などの遺物は第Ⅱ層から出土している。

第3節 縄文時代後期の遺構と遺物

後期の遺構としては集石遺構が13基検出され、阿高系・岩崎式・市来式などの土器群と磨製石斧・石皿・磨石などの石器が出土した（第3図）。

（1）集石遺構

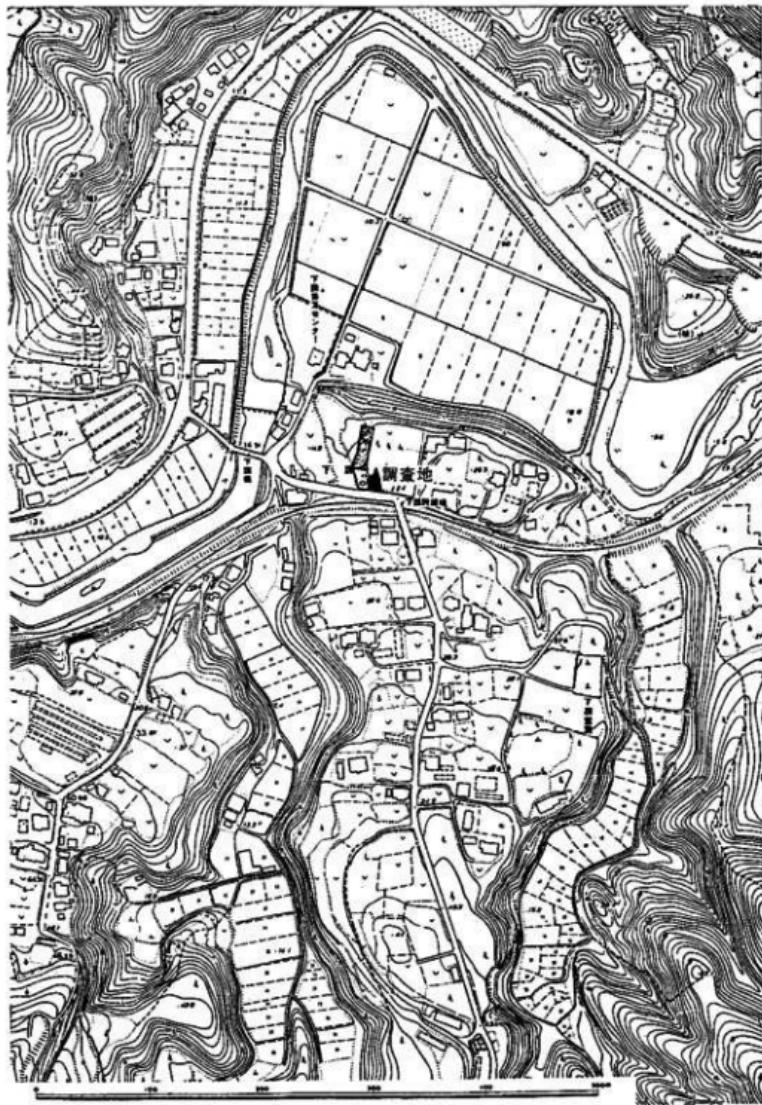
13基の集石遺構はc-d-1・2に8基も集中して分布している。

S I 1（第4図）

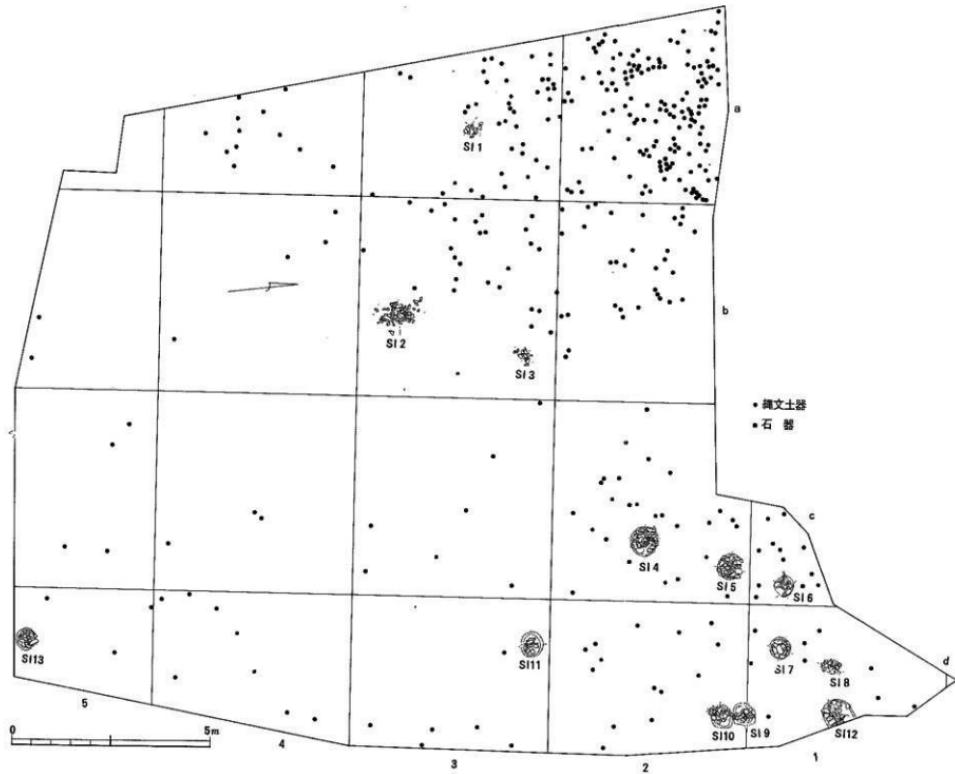
S I 1はa-3区に位置し、長径53cm、短径33cmの範囲に11個の焼石が集中していたが、土壙は検出されなかった。その中には石皿の破片1点（第30図9）と磨石1点（第31図12）が含まれている。

S I 2（第4図）

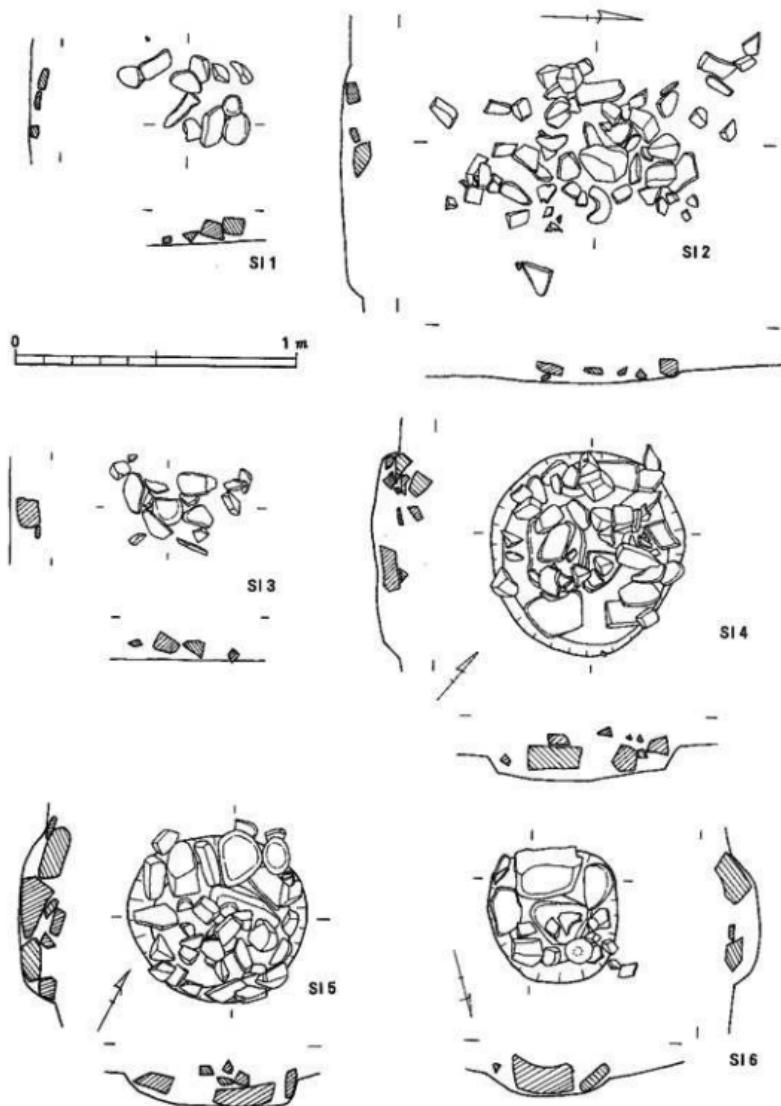
S I 2はb-3区に位置し、長径82cm、短径60cm、深さ5cmの楕円形プランの土壙に、長径83



第2図 地形図（1/5,000）



第3図 繩文時代後期の遺構分布図



第4図 集石造構実測図（I）

cm、短径60cmの範囲に焼石が集中している。その中には勾玉状の石器1点（第35図43）が含まれている。

S I 3（第4図）

S I 3はb-3区に位置し、磨石1個（第32図20）を中心として長径53cm、短径28cmの範囲で焼石16個が集中しており、土壤は検出されなかった。

S I 4（第4図）

S I 4はc-2区に位置し、長径73cm、短径69cm、深さ9cmの楕円形プランの土壤に、平たい石3個を中心にして長径140cm、短径130cmの範囲に約50個の焼石が集中している。その中には石皿が2点（第27図2・第28図3）、磨石が1点（第32図19）含まれている。

S I 5（第4図）

S I 5はc-2区に位置し、長径64cm、短径59cm、深さ10cmの円形プランの土壤に、2個の平坦な石を中心として長径65cm、短径58cmの範囲に焼け石が方形状に集中している。その中には石皿が1点（第29図5）含まれており、縄文土器の深鉢の口縁部片1点（第10図74）が出土した。

S I 6（第4図）

S I 6はc-1区に位置し、長径47cm、短径46cm、深さ11cmの円形プランの土壤に、半分に割れた石皿（第29図6）を中心として45cm×45cmの範囲で18個の焼石が集中している。真ん中の平らな石の下から縄文土器の網代底の底部（第23図368）が出土した。

S I 7（第5図）

S I 7はd-1区に位置し、長径53cm、短径53cm、深さ22cmの円形プランの土壤に1/4の石皿（第30図7）と平らな石を中心にして長径48cm、短径45cmの範囲に16個の焼石が集中している。

S I 8（第5図）

S I 8はd-1区に位置し、長径43cm、短径35cmの範囲に14個の焼石が集中している。その中に磨石が1点（第31図11）含まれている。

S I 9（第5図）

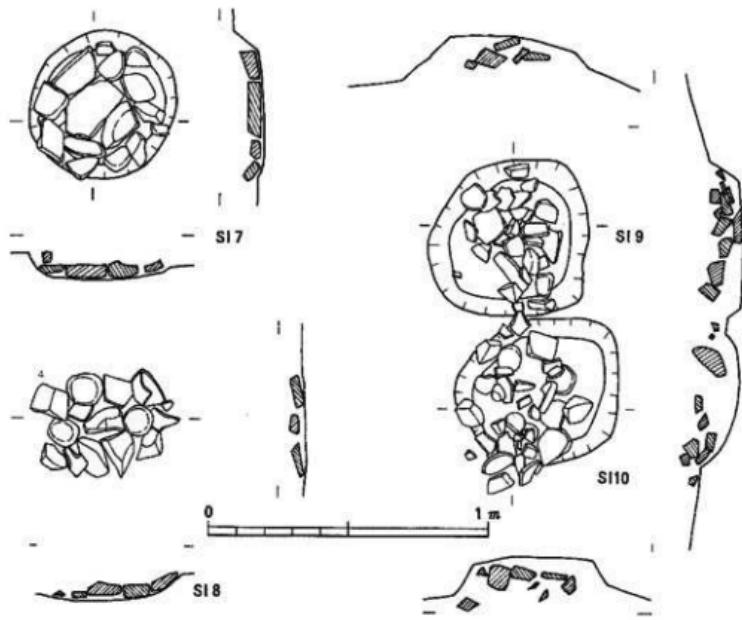
S I 9はd-1・2区に位置し、長径68cm、短径55cm、深さ11cmの不定形プランの土壤に、長径50cm、短径35cmの範囲に25個の焼石が集中している。

S I 10（第5図）

S I 10はd-2区に位置し、長径55cm、短径48cm、深さ13cmの不定形プランの土壤に、長径60cm、短径50cmの範囲に34個の焼石が集中している。S I 9とS I 10は近接して営まれている。

S I 11（第6図）

S I 11はd-3区に位置し、長径59cm、短径57cm、深さ15cmの楕円形プランの土壤に長径73cm、短径70cmの範囲に焼石が集中している。



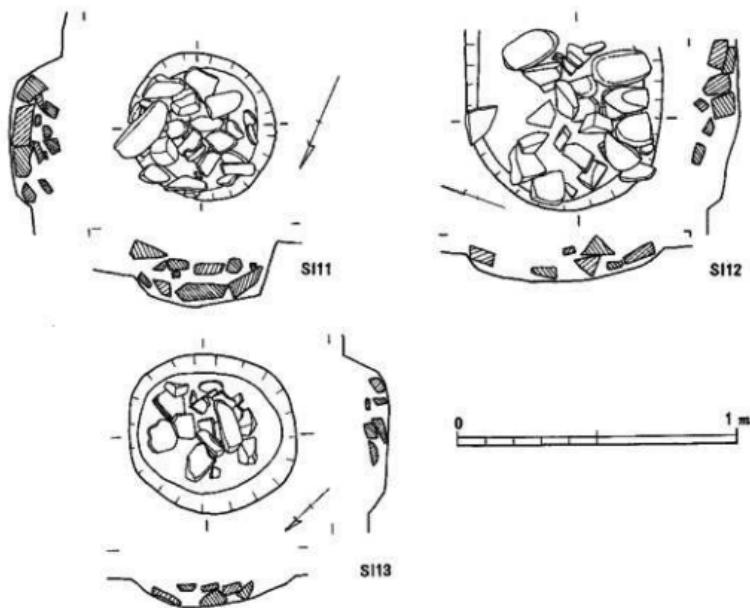
第5図 集石造構実測図（II）

S I 12 (第6図)

S I 12はd-1区に位置し、長径59cm、短径57cm、深さ9cmの円形プランの土壌に、長径55cm、短径53cmの範囲に30個の焼石が集中している。その中に石皿の破片が1点（第30図8）含まれている。

S I 13 (第6図)

S I 13はd-5区に位置し、長径53cm、短径52cm、深さ19cmのプランの土壌に、長径53cm、短径48cmの範囲に32個の焼石が集中している。



第6図 集石遺構実測図（Ⅲ）

(2) 縄文土器 (第7~25図)

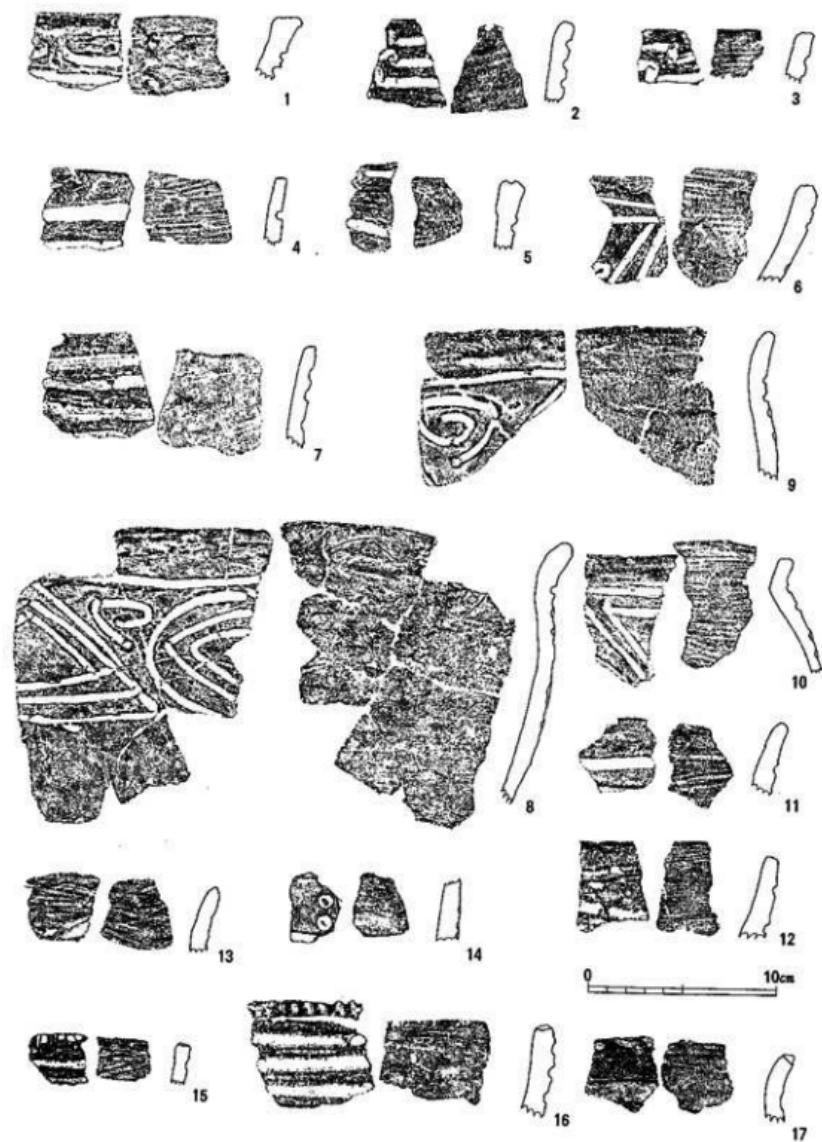
縄文土器は調査区の北部のa・b-2・3区、c・d-1・2区から集中して出土しており、特にa-2区に集中している（第3図）。一方、南部からの出土は疎である。

当遺跡から出土した縄文土器は崩野遺跡の第一次調査の分類に準じて行い、一部改変・追加を行った。ここでは深鉢形土器の口縁部形態や文様、その他の特徴をもとに説明し、次に脚台付浅鉢・底部の順に説明する。

I類（崩野遺跡一次調査報告書分類のA類）（第7・8図）

I類は凹線文・沈線文を施す貝殻条痕系の土器群である。

I-1類（A-1類）（第7図1~7）



第7図 繩文土器実測図(Ⅰ)

施文具に幅広のヘラ状工具を用いて施文している土器群である。口唇部を凹気味のナデを施している。胸部から口縁部へ真っ直ぐか、外反気味に伸びる器形である。文様帯は三角文や渦巻き文が多く見られる。口唇部に1～4個の凹点文を施すものや凹線文中に6～7個の円形の凹点文を施すものも見られる。

1は弧状の凹線の下位に一条の凹線を施している。2・3は「ニ」字状に凹線を複数施している。4・7は複数の平行凹線を施している。6は2条の凹線の組み合わせである。5が口唇部に凹線を施しているのに対して、その他は平坦・凹気味に仕上げている。

I-2類(A-2類) (第7図8～10)

施文具にヘラ状工具を用いて施文している土器群である。頸部で一旦器形が綺まり口縁部が開く器形を呈する。文様は頸部のくびれ部の一条の凹線の下位に三角文や渦巻文を施している。

8は一条の凹線の下位に三角形文・曲線文・渦巻文を施している。9は一条の凹線の下位に渦巻文を施している。10が一条の凹線の下位に直線文を施している。9・10が緩やかにくびれいるのに対して11は急にくびれている。口唇部は8が丸く仕上げているのに対して、9・10は平坦・凹気味に仕上げている。9は内外面ともナデを施しているのに対して、10の内面は横方向の貝殻条痕を施している。

I-3類(A-3類) (第7図11・12)

施文具に細身にヘラ状工具を用いて施文する土器群である。いわゆる沈線文からなる文様帯で平行する2本の沈線文のものも見られる。

11・12は2条の凹線を施しているが、12は上から2番目の凹線が途切れている。口唇部は両者とも平坦気味に仕上げている。

I-4類(A-6類) (第7図15・16)

口唇部にヘラ状工具による幅広の連続刺突文がほどこされている土器群である。施文の状態では波状口縁にもなる。

15・16とも平口縁部であり、15は2条の凹線を、16は3条の凹線を施している。15・16は内外面ともヨコナデを施している。

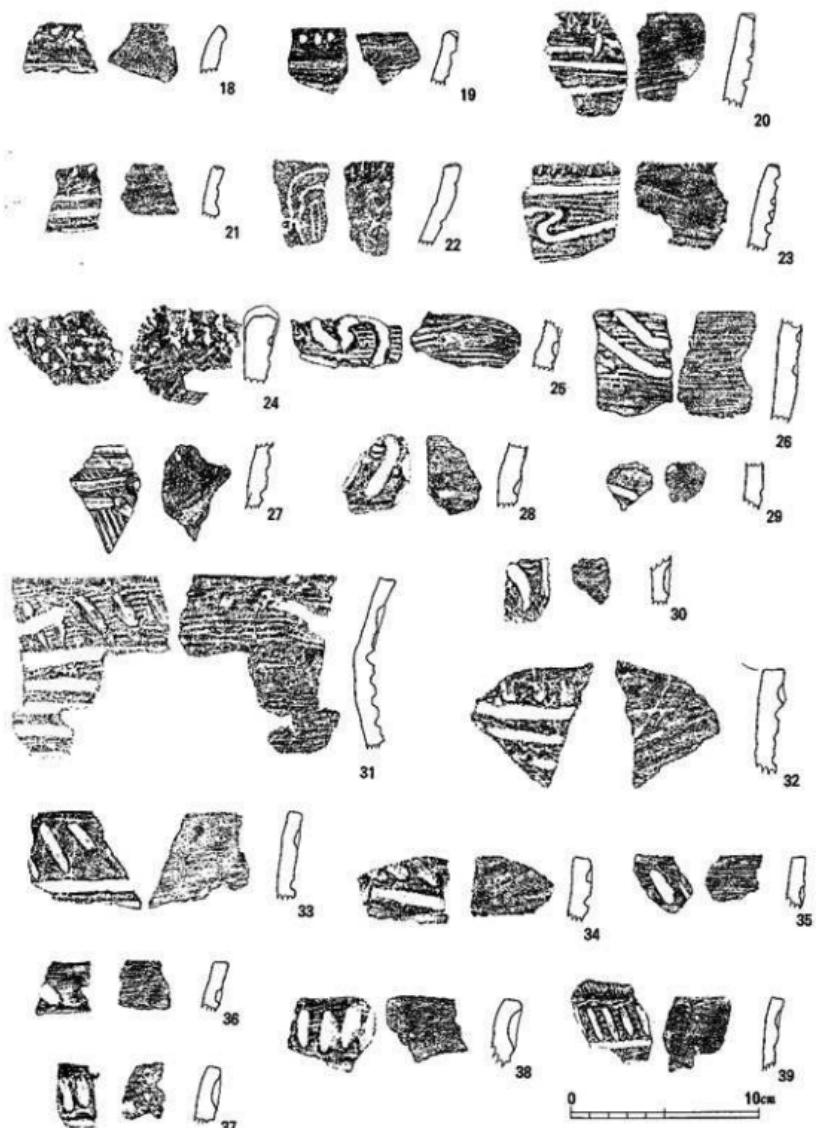
I-5類(A-7類) (第8図18～21)

口唇部に細身の刻目状の連続刺突文が施されている土器群である。6類・7類とも文様帯は口縁部周辺に限られる。

18は1条の平行凹線、21は3条の平行凹線を施している。20は「丁」字状の凹線の下位2条の凹線を施している。18・21は内外面ともヨコナデであるのに対して、20は横方向の貝殻条痕を施している。

I-6類(A-8類) (第8図23)

口唇部に貝殻腹縁による連続刺突文を施した凹線文土器群である。



第8図 縄文土器実測図(II)

23は2条の凹線の間にS字状の凹線を施しており、外面には横方向の貝殻条痕を地文として施している。

II類（B類）（第8・9図31～42）

口縁部にヘラ状工具による連続列点文と胸部上位に凹線文を施す土器群である。

II-1類（B-5類）（第8図31～38）

口縁部の連続列点文が1段の土器群である。太目の凹線文を縦に施している。口唇部は凹気味に仕上げている。

31は緩やかにくびれており、斜方向の細長いものと幅広の橢円形状の連続列点文の下位に5条の平行凹線を施している。内外面とも横方向の貝殻条痕を施しており、外面の横方向の貝殻条痕は地文としての効果がある。32は波状口縁部で、短い幅広の橢円形状の連続列点文の下位に3条の凹線を施している。33は橢円形状の連続列点文の下位に2条の凹線を施している。32・33はほぼ直立に伸びる口縁部である。

II-2類（B-6類）（第8・9図39～42）

口縁部の連続列点文が1段の土器群である。細身の列点文を縦方向や斜め方向に施している。波状や三日月状の列点文も見られる。

39は斜方向の細長い橢円形状の連続列点文の下位に2条の凹線を施している。40は縦方向の三角形形状の連続列点文の下位に1条の凹線を、更に下位に斜方向の凹線を施している。41は連続列点文の下位に3条の曲線文を施している。内面は39が粗いヨコナデであるのに対して、40・41は横方向の貝殻条痕を施している。

III類（C類）（第9・10図48～66）

口縁部に貝殻腹縁による連続列点文を施した凹線文土器群である。

III-1類（C-2類）（第9図48）

口唇部に貝殻腹縁による連続刺突文を施す土器である。

48は縦方向の貝殻腹縁刺突文の下位に一条凹線を、更に下位に縦方向の貝殻刺突文と凹線を施している。内面はヨコナデと横方向の貝殻条痕を施している。

III-2類（C-3類）（第9図49）

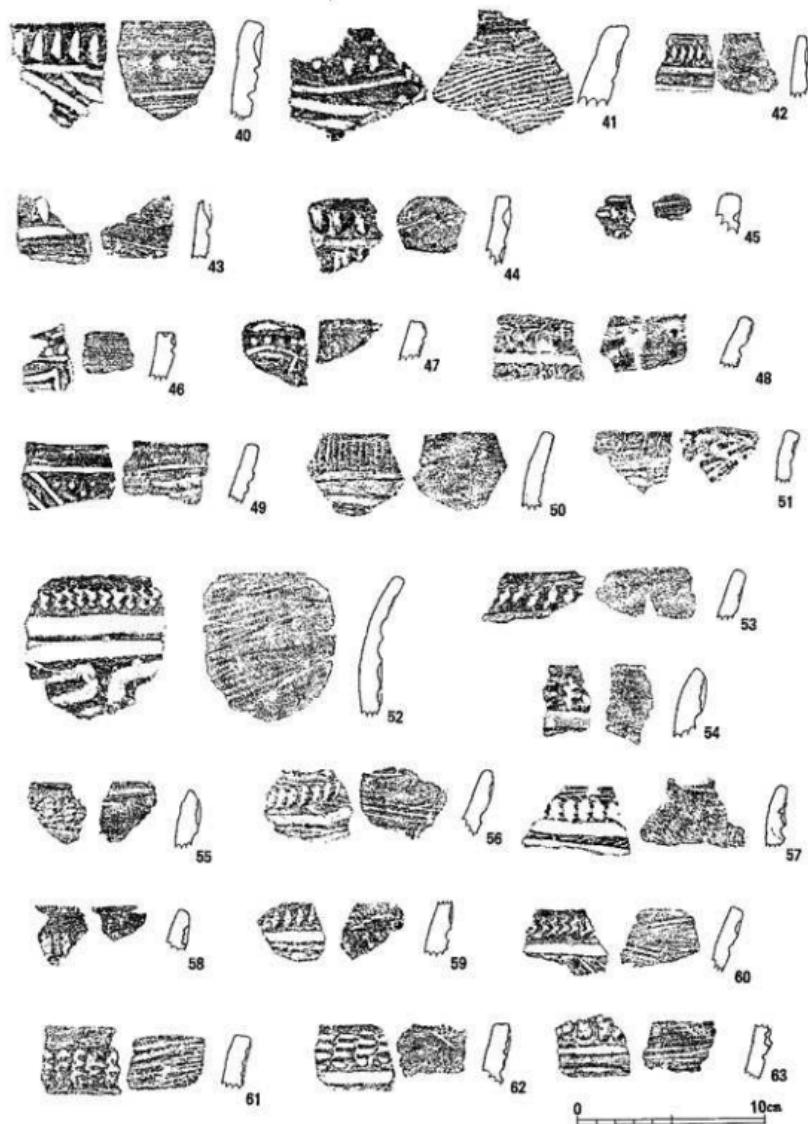
2類の土器群のうち波状口縁の波頂部に縦方向に刺突文を施した土器で凹線文の文様帶の中に回点文が見られる。

49は一条凹線の下位に斜方向の2条凹線と列点文を施している。内外面ともヨコナデを施している。

III-3類（C-4類）（第9・10図50～65）

口唇部に刺突文のない土器である。口縁部の列点文には細長、波状のものが見られる。

50は密な縦方向の細長い貝殻腹縁刺突文の下位に2条の凹線を施している。それに対しても51は



第9図 繩文土器実測図（Ⅲ）

粗く貝殻腹縁刺突文を施している。52は密な縦方向の幅広の短い貝殻刺突文の下位に幅広の2条凹線と曲線文を施しており、口縁部は緩やかに外反している。口唇部は平坦気味に仕上げており、内面は斜方向の貝殻条痕の後からナデを施している。57は幅広の短い貝殻腹縁刺突文を施し、2条の凹線の間の斜方向の貝殻条痕は完全にはナデ消していない。60は細長い貝殻腹縁刺突文の下位に一条凹線を施している。62は貝殻腹縁を約1cmの単位で横方向に断続して押し引きしており、口唇部は凹気味に仕上げている。61も貝殻腹縁を押し引きしている。65は縦方向の短い貝殻腹縁刺突文の下位に2条の浅い幅広の凹線を施しており、波状口縁部は緩やかに外反する。

III-4類(C-5類) (第10図66)

平行する2本の沈線で施文する土器である。

66は幅広の短い貝殻腹縁刺突文の下位に2条の曲線の凹線を施している。内外面ともナデを施し、口唇部は平坦に仕上げている。

IV類(D類) (第10図67~80)

IV類-1類(D-1類) (第10図67)

凹線文・沈線文で区画された内部に貝殻腹縁による連続列点文を施す土器群である。

67は波頂部に2本の刻目を、その下位には凹線と凹線間の貝殻腹縁刺突文を施している。内面はヨコナデを施している。

IV-2類(D-2類) (第10図68~72)

口唇部特に施文なしの土器である。

68は1条の凹線と「~」字状の凹線の間に細長い貝殻腹縁刺突文を施し、口縁部は緩やかに外反する。口唇部は凹気味に仕上げている。69は2条の凹線間に斜方向の貝殻腹縁刺突文を施している。70は細目の凹線間に斜方向の貝殻腹縁刺突文を施している。71は凹線間に貝殻腹縁刺突文を施す部分と施さない部分を交互に配置している。72は波頂部で、貝殻腹縁刺突文と凹線を交互に施している。内面は68がナデを、69~72は横方向の貝殻条痕を施している。

IV-3類(D-4類) (第10図73~80)

文様帯が曲線(渦巻状)的な土器である。

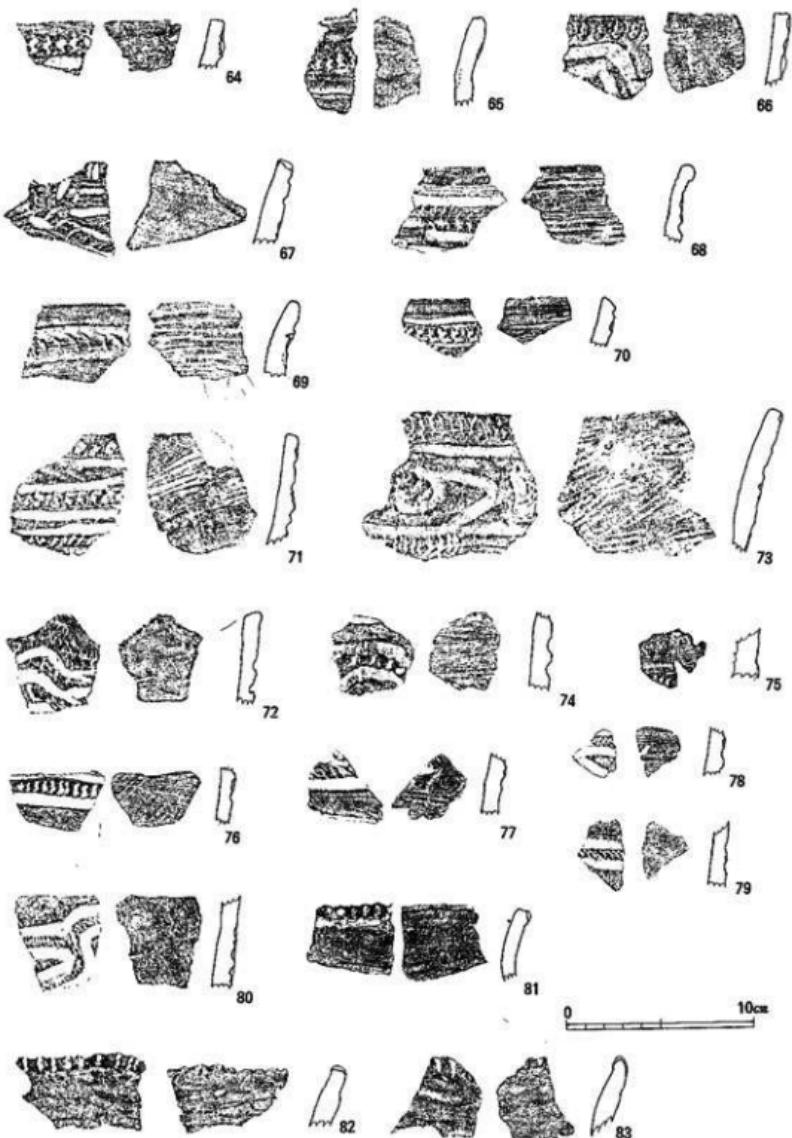
73は斜方向の細長い貝殻腹縁刺突文の下位に凹線の直線と曲線を施し、その間に貝殻腹縁刺突文を施す部分と施さない部分を交互に配置している。口縁部文様帯の最上部の外面と内面には貝殻条痕を施している。78~80は2条の凹線間に細い貝殻腹縁刺突文を施す部分と施さない部分を交互に配置している。

V類(E類) (第10図81~83)

貝殻条痕系の土器群のうち凹線文・沈線文の施されていない土器群である。

V-1類(E-2類) (第10図81~83)

口唇部にヘラ状工具による連続刺突文を施す土器である。



第10図 繩文土器実測図(IV)

81は口縁部が緩やかに外反し、口唇部外面にヘラ状工具によるやや幅広の連続刺突文を施している。82は口唇部に貝殻腹縁による連続刺突文を施した波状口縁部で、内面はヘラ状工具でナデを施している。83は口唇部の内外面にヘラ状工具による細い連続刺突文を施している。

VI類（F類）（第16・17図226～240）

口縁部の内面上部あるいは口唇部に施文する土器である。

VI-1類（F-3類）（第16図226～231）

凹線2本・貝殻腹縁の連続刺突文・ヘラ状工具による連続列点文を施す土器である。内面は段をなして文様帯を作る。

226は2条の凹線間に細い貝殻腹縁刺突文を、さらに凹線の上下にヘラ状工具による連続列点文を施している。内外面とも横方向の貝殻条痕を施している。227・228は226と同一タイプである。229は2条の凹線間に竹管状工具による連続列点文を、さらに凹線の上下に斜方向の貝殻刺突文を施している。231は2条の凹線の上位に貝殻腹縁の連続刺突文を、その下位にヘラ状工具による連続列点文を施している。その波頂部の貝殻腹縁刺突文と連続列点文に挟まれた部分には $1.4\text{cm} \times 1.0\text{cm}$ 大の円形の刺突文があり、その周囲にヘラ状工具による連続刺突文を施している。

VI-2類（第16図232～234・239）

凹線と貝殻腹縁刺突文を施す土器で、内面は段をなして文様帯を作る。

232は2条の凹線間に細い貝殻腹縁刺突文を施し、凹線の最後は刺突している。波頂部には $1.4\text{cm} \times 1.0\text{cm}$ 大の梢円形の刺突文の周囲にヘラ状工具による列点文を、両側に縦方向の6条の細長い貝殻腹縁刺突文を施している。内外面とも横方向の貝殻条痕を施している。233は2条の凹線の上位に斜方向の貝殻腹縁刺突文を施しており、凹線の最後は刺突している。234は1条の凹線の上位に横方向の貝殻腹縁刺突文を施している。239は1条凹線の上下に貝殻腹縁刺突文を施している。

VI-3類（第16図235・236）

貝殻腹縁刺突文と列点文を施す土器である。

235は内面に斜方向の貝殻腹縁刺突文の下位にヘラ状工具による連続列点文を施している。外面にもヘラ状工具による連続列点文を施している。

VI-4類（第16図238）

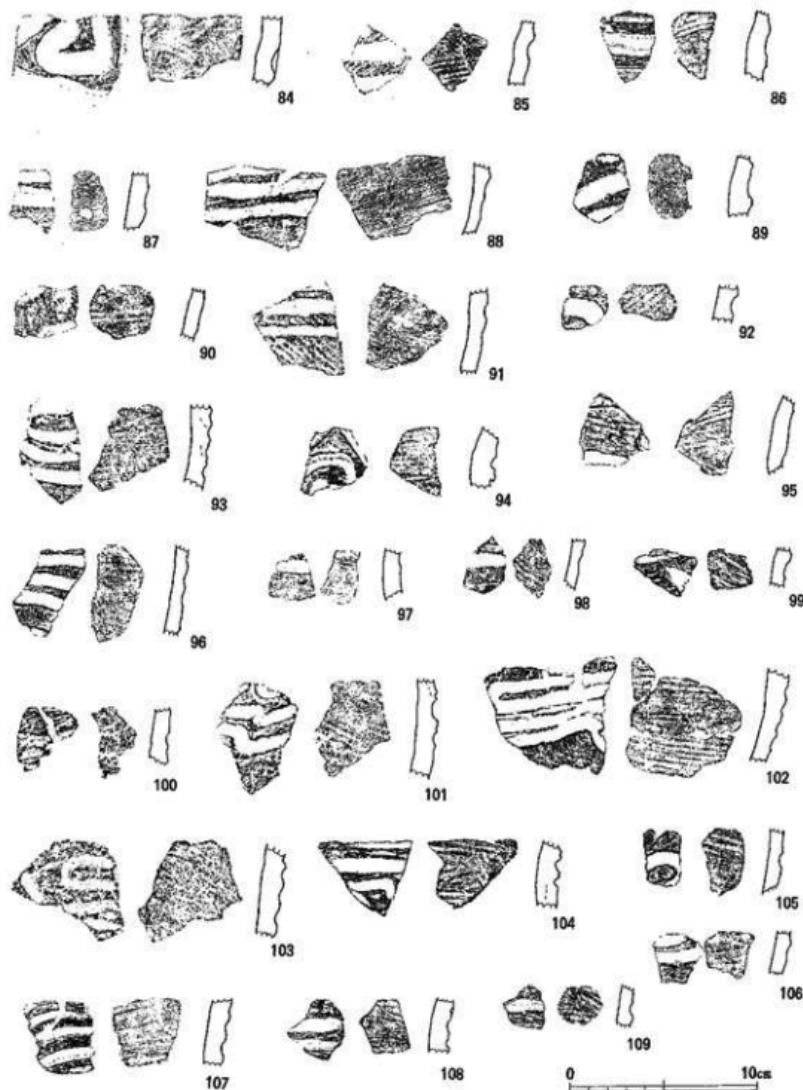
238は肥厚した口唇部に貝殻腹縁による連続刺突文を施す土器である。

VI-5類（第17図240）

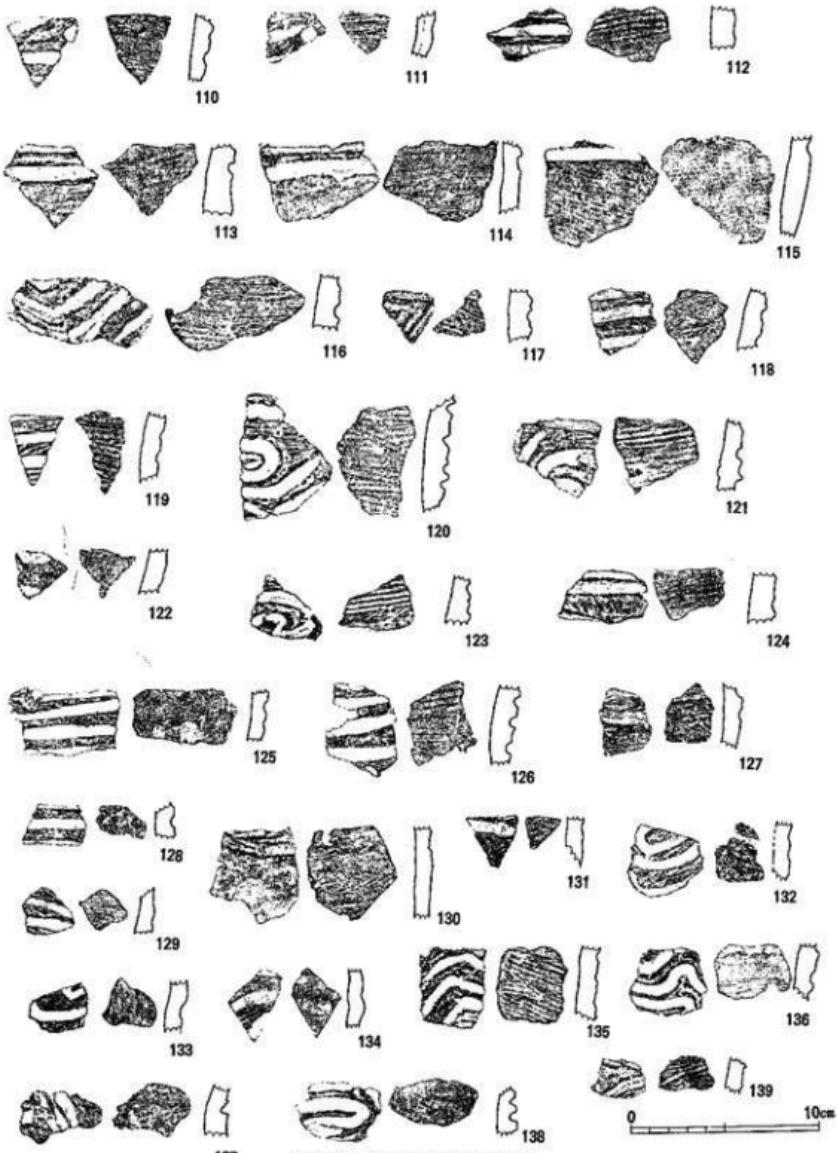
口唇部に凹線を施す土器である。

240は口縁部が大きく外反し、口唇部にヘラ状工具による刺突文を施している。波頂部に縦方向の3条の沈線文を施している。

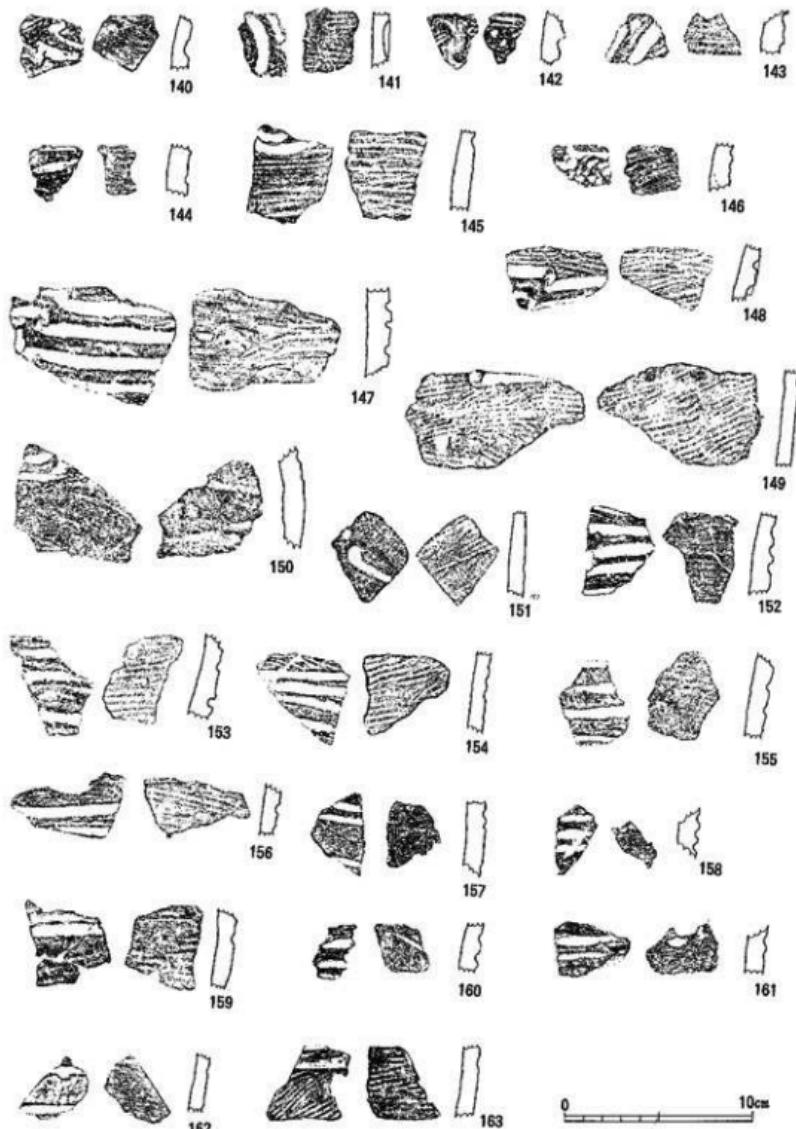
VII類（G類）（第17・18図245～281）



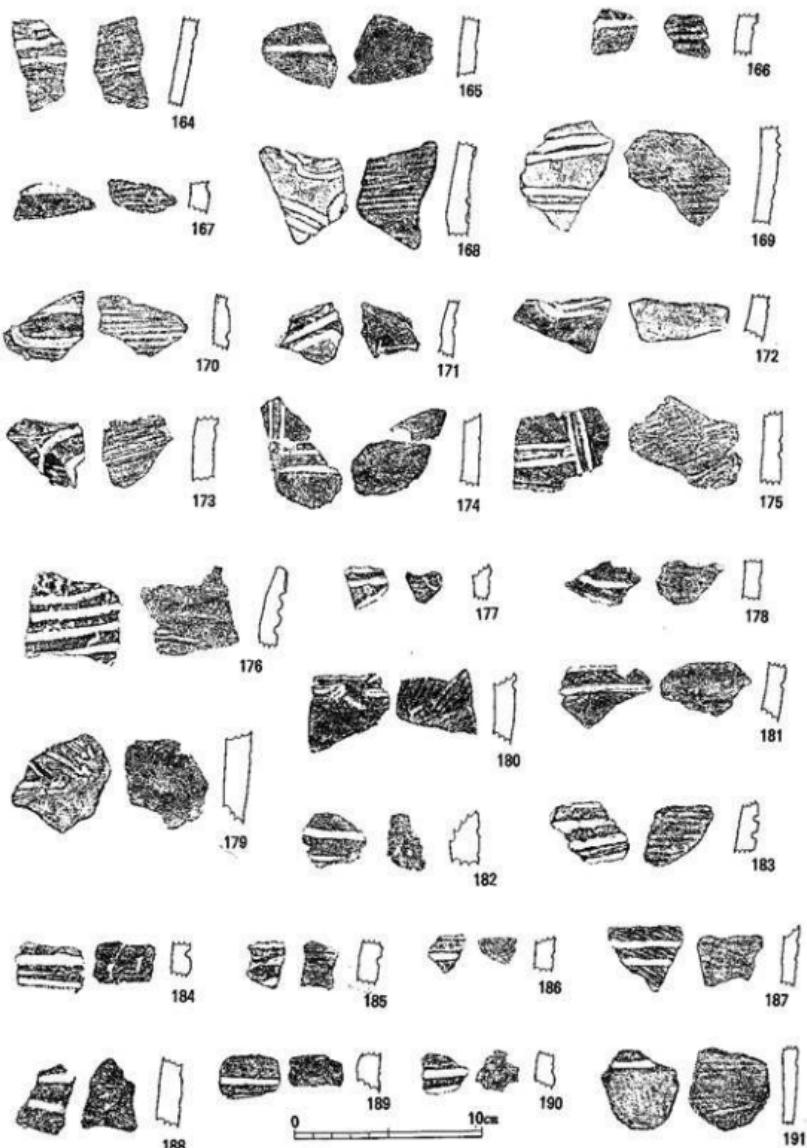
第11図 繩文土器実測図（V）



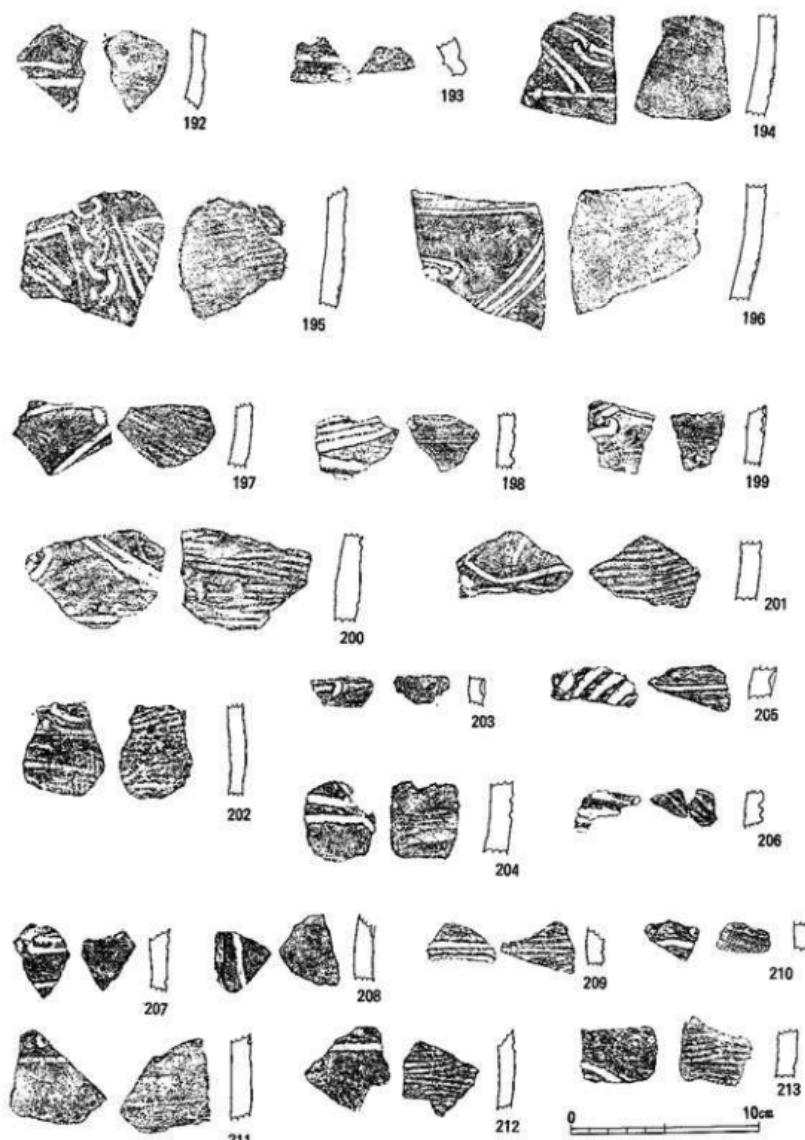
第12図 繩文土器実測図 (VI)



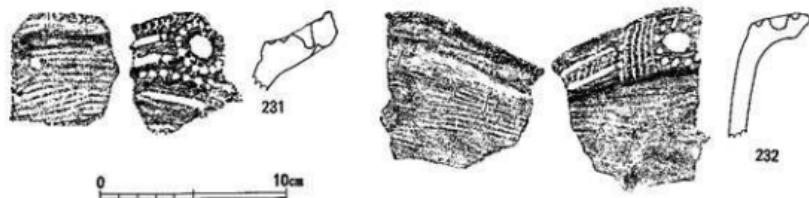
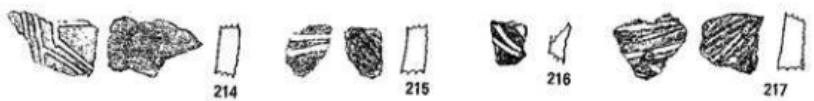
第13図 繩文土器実測図（VII）



第14図 縄文土器実測図（VII）



第15図 梗文土器実測図（IX）



第16図 繩文土器実測図(X)

口縁部を肥厚させ、断面が三角形または逆「く」字形に成形されるもので、いわゆる「市来式土器」である。

VII-1類 (G-1類) (第17図242~251)

口唇部をわずかに拡張させたような、口縁部文様帶幅の比較的狭いもので、文様は「D」字形連続刺突文などの単純なものが多い。

241は口唇部に1条の沈線を、外面にも1条の沈線を施している。242は1条の「D」字形連続刺突文を施した波状口縁部であり、口唇部は凹気味に仕上げている。244は1条の「逆D」字形連続刺突文を施し、口唇部はヨコナデで断面三角形状に仕上げている。245は1条の深い「D」字形連続刺突文を施しており、口唇部は丸く仕上げている。内外面とも粗い貝殻条痕を明瞭に施している。247は1条の列点文を施し、口唇部を平坦に仕上げている。249は1条の貝殻腹縁刺突文を施し、口唇部の断面は三角形状に仕上げている。250は幅広の沈線文を施し、沈線文の最初と最後を刺突している。

VII-2類 (G-2類) (第17・18図252~270)

口縁部文様帶が1類よりやや広く次の3類よりは狭い。口縁部文様帶の沈線文間またはその上下に、貝殻腹縁や棒状工具による連続刺突文を施している。

252・253は縦方向に貝殻腹縁刺突文を施し、口唇部は252は平坦に、253は断面三角形状に仕上げている。254は口唇部を上下に肥厚させた口唇部に「つ」状の2条の凹線を、下位には2条の凹線と1条の凹線で文様を施している。255は254と同様の凹線を施しているが、上下2本のうち上の1本は沈線である。256は1条の凹線の上下にヘラ刺突文と貝殻腹縁刺突文を施している。257は1条凹線の上下に貝殻腹縁刺突文を斜方向に施しており、口唇部は断面三角形状を呈する。258は1条の凹線の下位にヘラ刺突文を、口唇部に貝殻腹縁刺突文を施している。259は1条の凹線の上下に貝殻腹縁刺突文とヘラ刺突文を施し、口唇部の1条凹線内に列点文を施している。260・261は境に刺突列点文を施している頸部である。262は幅広の1条凹線の上下にヘラ状工具と貝殻腹縁刺突文を施している。263は肥厚した口縁部文様帶に2条の凹線と擬似縄文を施している。264は肥厚した口縁部文様帶に貝殻腹縁刺突文・2条凹線の間に刺突列点文を施している。265は264と同様の文様形態で、口縁部が大きく外反する。266は凹線で囲まれた中に刺突文を、その上下に斜方向の貝殻腹縁刺突文を施している。267は貝殻腹縁刺突文と凹線の組み合わせである。269は貝殻腹縁刺突文を施し、口唇部を凹気味に仕上げている。270は2条の凹線の下位に刺突列点文を施している。271は2条の凹線の間に刺突列点文を施している。272は上から貝殻刺突文・幅広の1条凹線・貝殻腹縁刺突文を施している。273は1条凹線と貝殻腹縁刺突文の組み合わせである。274は貝殻腹縁刺突文を2段に施した波状口縁部である。275は刺突列点文の上下に貝殻腹縁刺突文を斜方向と横方向に施している。

276は斜方向に貝殻腹縁刺突文の後に1条の凹線を、口唇部に1条の凹線を施している。



第17図 縄文土器実測図 (XII)



第18図 縄文土器実測図 (XII)

VII-3類 (G-3類) (第18図277~281)

口縁部文様帶がVII類の中で最も広いもので、口縁部文様帶下部の肥厚部分は明瞭で著しく張り出す。また、その内面が屈曲し、口縁部断面が顯著な逆「く」字形を呈するものが目立つ。

277は口縁部文様帶には凹線と貝殻腹縁刺突文を施し、その下位に貝殻腹縁刺突文を施している。278は口縁部文様帶の下位に貝殻腹縁刺突文を施している。279はヘラによる連続刺突文である。280は口縁部文様帶の下位に貝殻腹縁刺突文を施している。281は口縁部文様帶は凹線と連続刺突文である。

VIII類

外面のくびれ付近から口縁部が外傾または外反し、文様はこの付近に施されている。

VIII-1類

口縁部はくびれ部分から上が比較的長く、貝殻腹縁刺突文を上下二段に施している。

VIII-2類 (第19図289~291)

文様はくびれ付近に貝殻腹縁の単純な連続刺突文を一条施している。

289は口縁部が短く外反し、斜方向の貝殻腹縁刺突文を施している。290は長く伸びた口縁部に幅3cmの無文帶の下位に貝殻腹縁刺突文を施している。291は幅1cmの無文帶の斜方向の貝殻腹縁刺突文を施している。

IX類 (第19図293)

口縁部をわずかに肥厚させて文様帶とするもので、口縁部文様帶の下部を沈線文で区切り、その上は斜沈線を施すもの。

293は斜方向の沈線文を途中から刺突している。

XII類 (第19図295~299)

口縁部文様帶が厚く肥厚し、大部分が段を有している。文様は沈線文と刺突文・押圧刻みの組み合わせである。口縁部から胴部にかけて文様が続く。

295は曲線状の2条の凹線の間には連続刺突列点文を施している。296は縦方向の2条凹線の間には連続刺突文を施し、両側から穿孔しているが、ずれている。297は296と同一個体であるが、横方向の2条凹線の間には連続刺突文を施している。298・299も296~297と同一文様帶である。

XIII類 (第19図300~302)

沈線文を主文様とするものである。

300は波状口縁部で、波頂部の頂点に1条の刻みを両側に2条の幅広の深い刻みをいれている。口縁部には2条の平行凹線の文様を、その下位に沈線文を施している。口縁部は少し外反し、口唇部は平坦に仕上げている。301は波状口縁部で、波頂部に3条の幅広の深い刻みを施しており、301と同様な文様構成である。302はほぼ真っ直ぐに伸びる波状口縁部で、口縁部のラインに添つ



第19図 繩文土器実測図 (XIII)

て1条の凹線を施している。その下位には2条の平行凹線を施している。口唇部は凹気味に仕上げている。

X III類（第20図303～321）

I類～VII類の分類外のもので、小片のために分類の判別不可能なものも含む。

303は波状口縁部で、頂部に1条の刻みを施し、口唇部を平坦に仕上げている。口縁部にはヘラ状工具による連続刺突文を施している。304は鋸齒状に沈線を施し、口唇部は凹気味に仕上げ、内側に肥厚している。305は口縁部は貝殻腹縁刺突文・凹線・ヘラ状工具による連続刺突文を、平坦に仕上げた口唇部には1条の凹線を施している。306は波頂部が一部欠如しているので、全容を窺うことはできないが、口縁部には2条の幅広の深い凹線を施している。307は肥厚した口縁部に貝殻腹縁刺突文を斜方向と横方向に施している。口唇部は平坦に仕上げている。308は口縁部内面に連続刺突文を施している。309は口縁部に斜方向の短い貝殻腹縁刺突文を施しており、310も同様の文様である。口唇部は309が平坦に、310は丸く仕上げている。311は2条の凹線の間に横方向の貝殻腹縁刺突文を施しており、312も同様の文様である。313は連続刺突文の下位に2条の凹線を施している。314は平行な2条の凹線と連続刺突文の組み合わせの文様を施している。文様の間の貝殻条痕は残す部分とナデ消す部分がある。315は連続刺突文と1条の凹線を施している。316は連続刺突文である。317は両側から貝殻腹縁刺突文を施し突帯状を呈している。318は突帶の上下に連続刺突文を施し、内外面とも横方向の貝殻条痕を良く残している。319は浅い横方向の沈線の間に擬似繩文を施しているが、磨消繩文にはしていない。2条の凹線の間に貝殻腹縁刺突文を施している。321は縦方向の短い貝殻腹縁刺突文を施している。

XIV類（第20図322～348）

無文土器は特徴に乏しいために、便宜的にこの類に一括した。

322～328は口唇部を丸く仕上げている。322は口縁部が大きく外反し、口縁部は内面から強くヨコナデを施している。323は口縁部が緩やかに外反している。

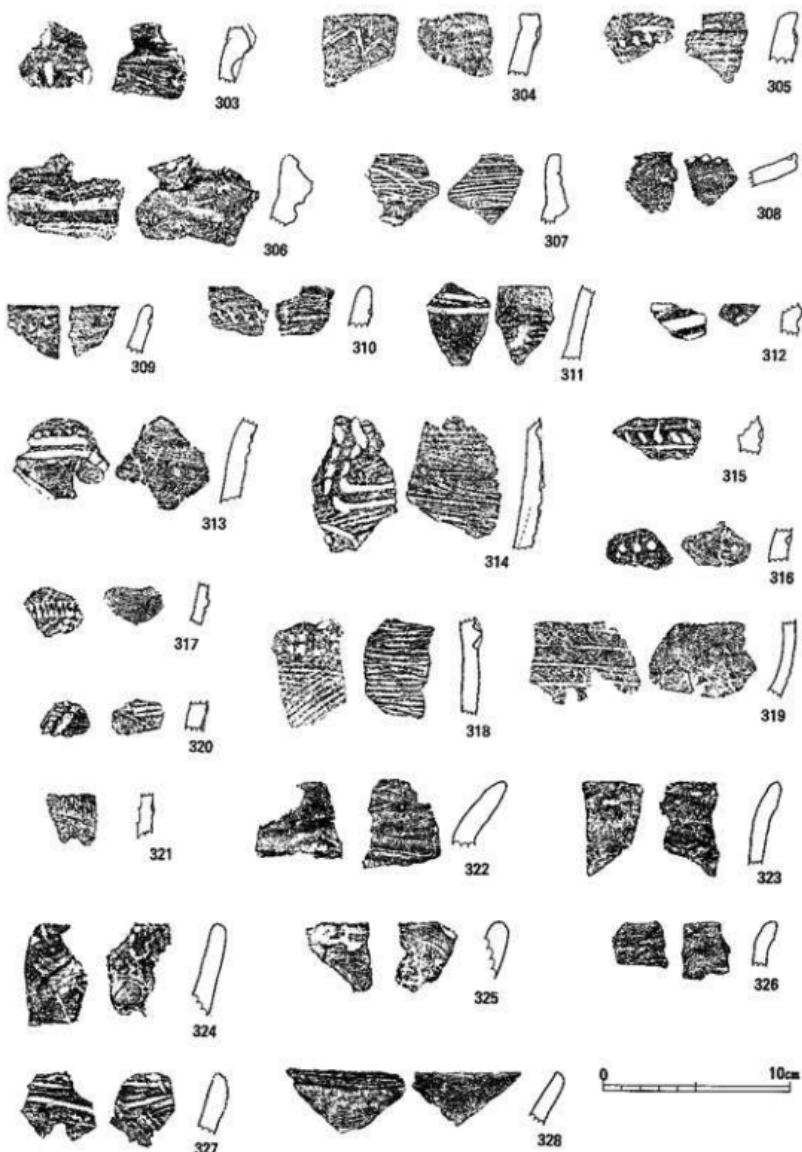
329～344は口唇部を平坦か凹気味に仕上げている。340は口縁部が大きく外反し、ヨコナデで口唇部を外方に摘み出している。内外面とも貝殻条痕を良く残している。341は口唇部外方に肥厚している。342は断面L字状に内側に肥厚している。343は口唇部の内外面ともに肥厚しており、344も同じである。

345は内面に段を有する口縁部である。347は波状口縁部である。348は1条の突帶を有する口縁部である。349は1条の凹線を残している。

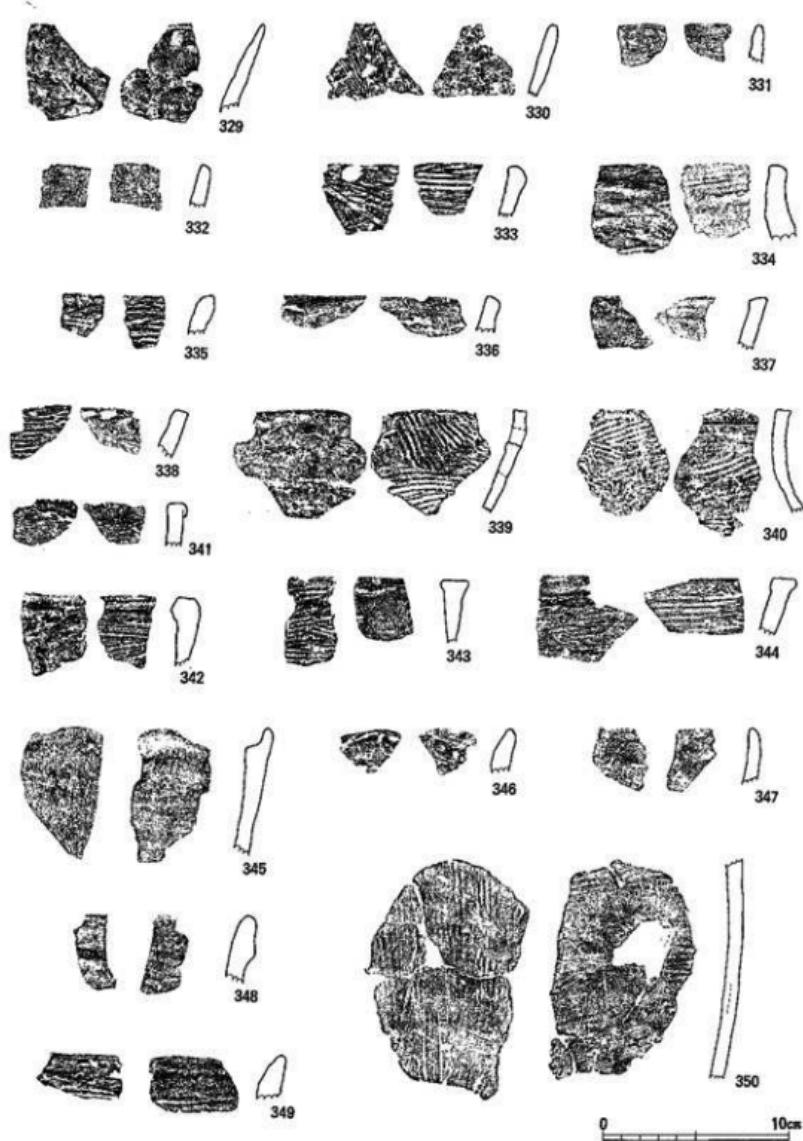
脚台付浅鉢（第22・23図357～365）

浅鉢形土器に脚台が付くものである。浅鉢部分の内面には沈線文・貼付突帶文・刺突文などを、脚台部分にも沈線文・透かし・刺突文を施している。

357～359は壺部の口縁部である。357は壺部の口縁部にS字状に粘土紐を貼り付け、粘土紐

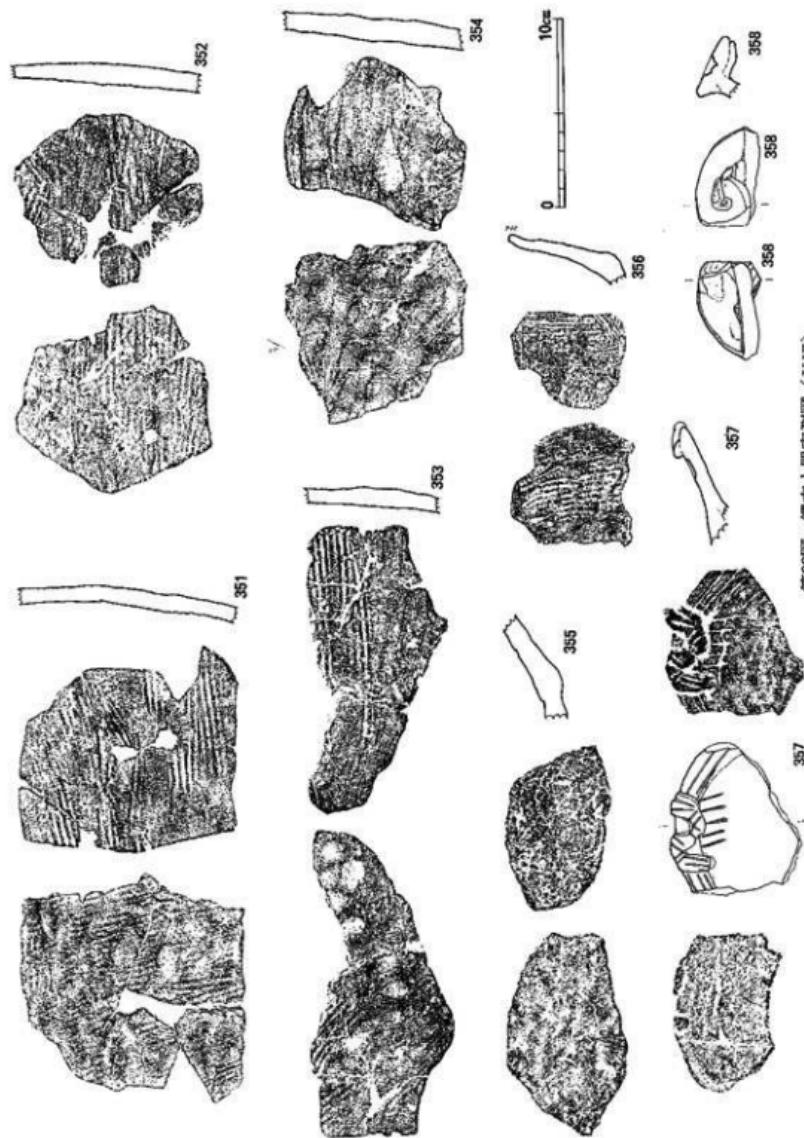


第20図 繩文土器実測図 (XIV)



第21図 繩文土器実測図 (XV)

第22圖 繩文土器実測図 (X VI)



には2条の平行沈線を交互に施している。口唇部は平坦に仕上げ、2～3条の沈線文を施している。S字状粘土紐の下位の坏部内面にはヘラ状工具による沈線を5本施している。358は坏部の口縁部に「の」状に粘土紐を貼付けており、赤色顔料が付着している。

359は坏部の口唇部を平坦に仕上げている。

360～365は脚台部分である。360は脚端部に円形押点文と1条の凹線を施している。362の脚端部は段状を呈しており、無文であるが、その上位にはヘラ状工具による縱方向の浅い沈線を施している。363～365は無文の脚台であり、内面を強いヘラナデやヨコナデで仕上げている。

底部（第23～25図366～436）

口縁部から底部まで残存する完形の土器が全然出土していないので、I類～XIV類の土器のどの底部に対応するのか不明である。よって一括して取り扱い、立ち上がりの形態・底部の敷物の痕跡である網代底（366～399）や木の葉底（402）・ナデ（403～436）などの調整によって分類した。

網代底には平編み（1本越え・1本潜り・1本送り）のタイプ（366～）、縫で示される斜線が平行であるが等間隔ではないタイプ（390～）などがある。

底部の形態には真っ直ぐに立ち上がるもの（366～373・388～397）、底面が外へ張り出してその上部が若干くびれているもの（379～386・398）がある。

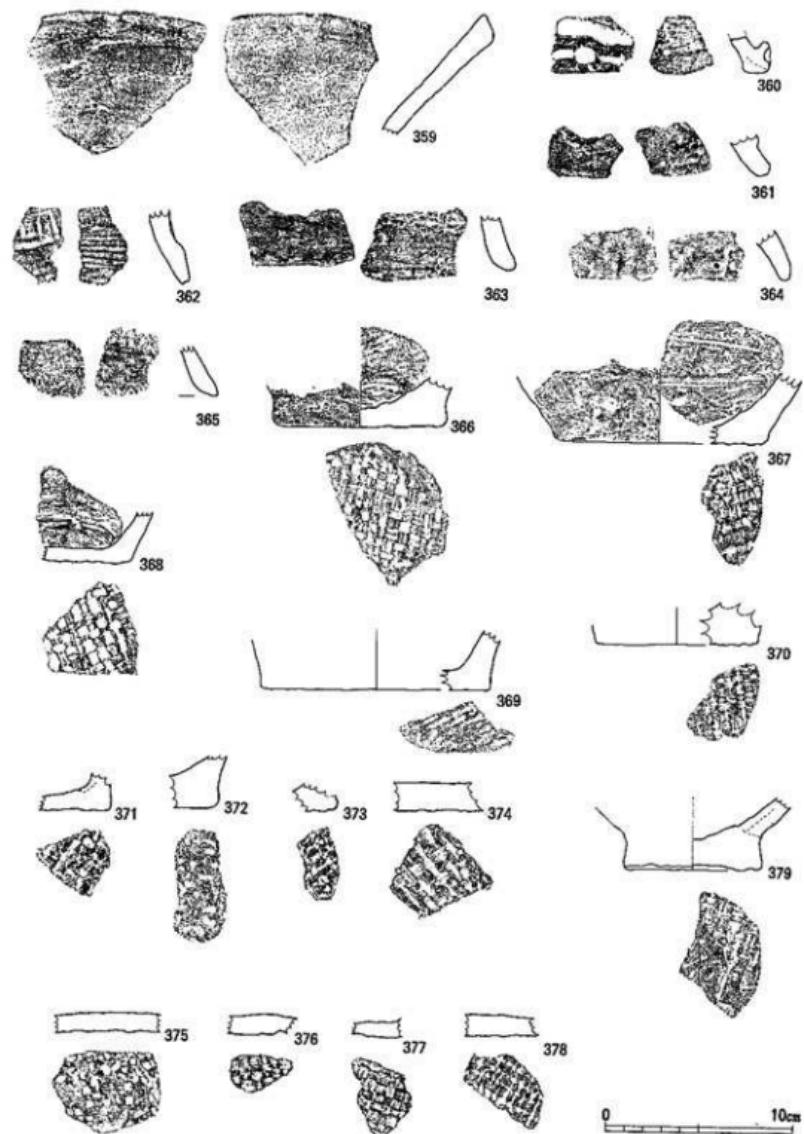
366は平編みの痕跡を良く残しており、底面から真っ直ぐに立ち上がるタイプであり、底径は9.4cmである。内面には粗いナデを施し、中央部を0.9cmと薄く仕上げている。368・369は平編みの痕跡の部分に白色物が付着している。368・369・375の底部の厚さは0.7cm～1.0cmと薄手である。372の器壁の外面は粗いナデを、内面は横方向の貝殻条痕を施し、器壁の厚さが1.3cmと厚手に対して、底部の厚さは0.8cmと薄手である。

379は底面の端部に平編みの痕跡を残しており、底面が外へ張り出してその上部が若干くびれている。その端部には白色物が付着している。内外面ともナデを施している。

386は経がつまって縫が見えない網代底であり、底面から真っ直ぐに立ち上がるタイプである。内外面ともナデを施している。

388は網代の形態は白色物で良く見えないが、平編みと推定される。内外面とも斜方向の貝殻条痕を施している。389は平編みの痕跡を僅かに残しており、底部の厚さは0.8cmと薄手である。内面は横方向の貝殻条痕を、外面は貝殻条痕の上からナデを施している。

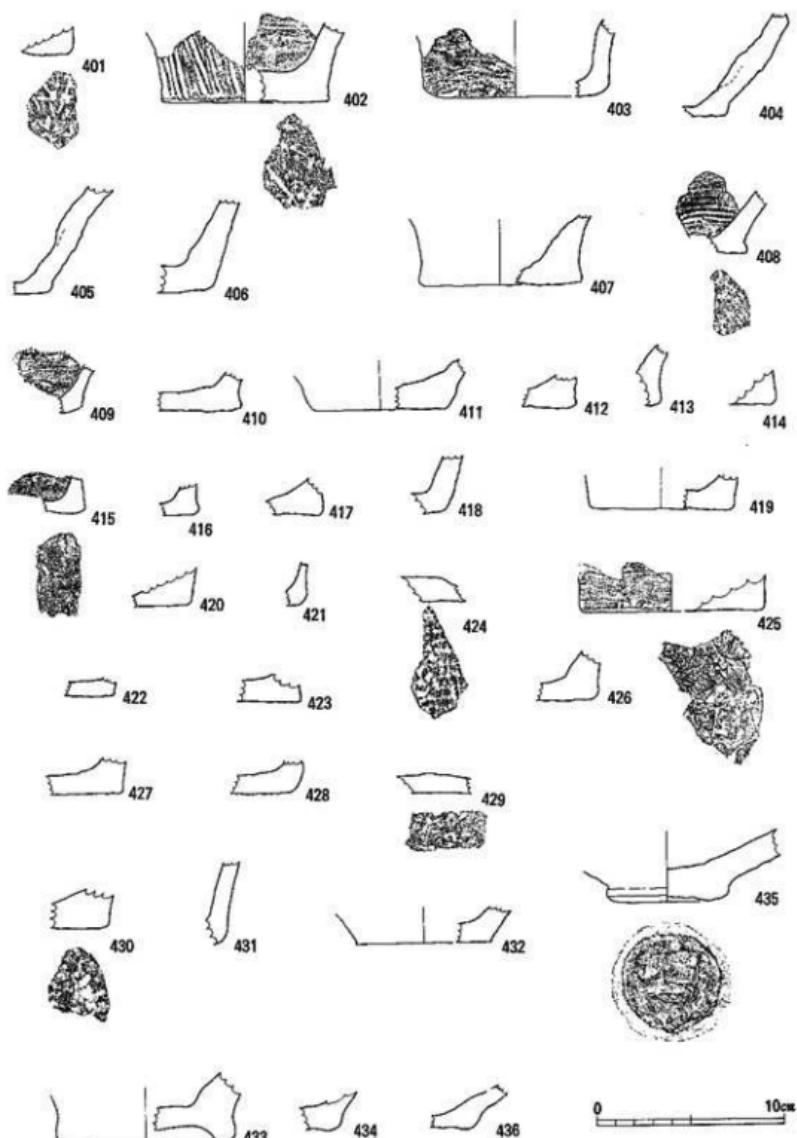
390は縫で示される斜線が平行であるが等間隔でない網代底であり、底面からはぼ真っ直ぐに立ち上がるタイプである。底部の厚さは0.7cmと薄手であり、白色物が付着している。391も390と同タイプであるが、内外面とも貝殻条痕を施している。395は底部の厚さが1.7cmと厚手である。398は縫で示される斜線が平行であるが等間隔でない網代底であり、底面が外へ張り出してその上部が若干くびれている。底面には白色物が付着しており、底部の厚さは1.8cmと厚手



第23図 縄文土器実測図 (XVII)



第24図 繩文土器実測図（XVIII）



第25図 繩文土器実測図 (XIX)

である。

399は平編みの痕跡を僅かに残しており、底面から斜め上方に伸びている。底部の厚さは1.9cmと厚手であり、内外面とも貝殻条痕を施している。底径は13.0cmである。

400は底面にワラ状の痕跡を残しており、底部の厚さは1.8cmと厚手である。

402の木の葉底は当遺跡では1点だけであり、底面から真っ直ぐに立ち上がるタイプである。外面には縦方向の貝殻条痕を、内面には横方向の貝殻条痕を施している。底部の厚さは1.8cmと厚手である。

403は底面にナデを施しており、底面からほぼ真っ直ぐに立ち上がるタイプである。外面には横方向の貝殻条痕を施している。底部の厚さは0.6cmと薄手である。404と405は内外面ともナデを施しているが、厚さは器壁が1.1cmであるのに対して底部は0.5cmと薄手である。408は底面はナデを施し、底面が外へ張り出してその上部が若干くびれている。内外面とも横方向の貝殻条痕を施しており、底部は薄手である。410は底部の内面に貝殻条痕を残している。425は底面から外面にまで白色物が付着しており、底面からほぼ真っ直ぐに立ち上がる厚手のタイプである。

433は高さ1.0cmの高台を有する上げ底のタイプであり、当遺跡では1点だけである。内外面ともナデを施しており、底面から外面まで白色物が付着している。

434は上げ底気味であり、内外面ともヘラ磨きを施している。

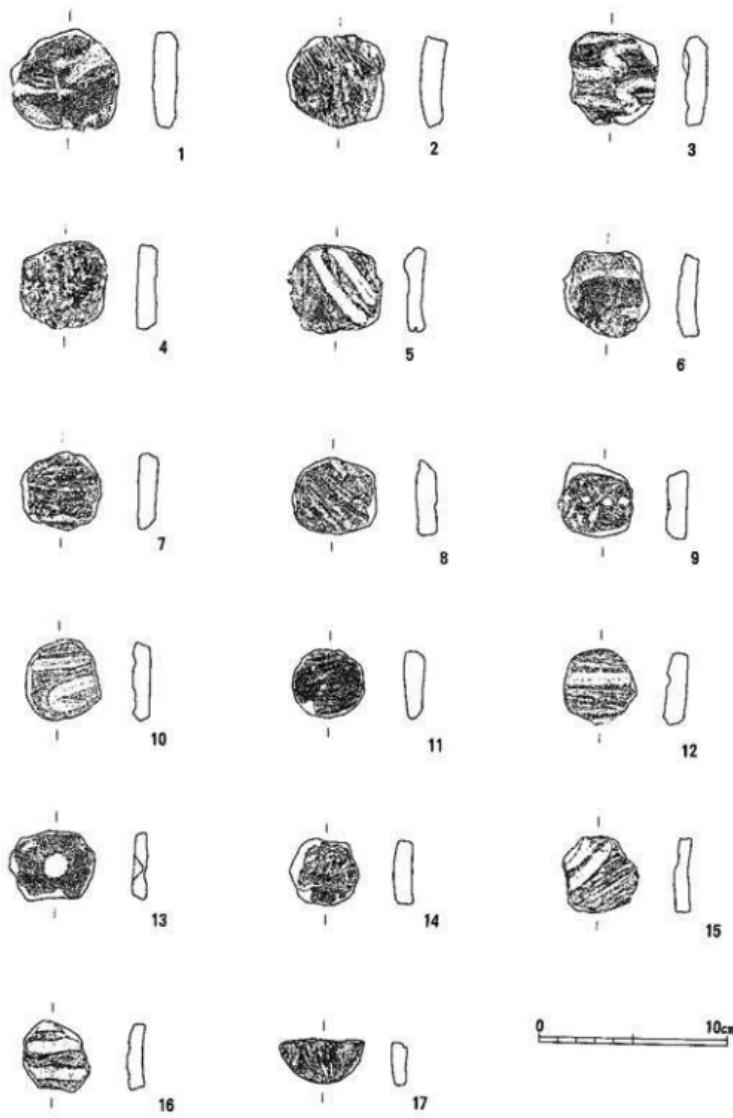
435は円板状の底部から大きく開いて立ち上がるタイプで、内外面とも粗いナデを施している。底径は6.5cmである。

(3) 土器片加工円盤(第26図1~17)

土器の口縁部・胴部・底部などの部位の縁部を加工しと梢円形や円形に整形している。整形の方法としては丁寧な面取りと打ち欠きがあるが、当遺跡のものはすべて打ち欠きで整形している。当遺跡からは17点出土しており、17を除くと重さは13.0g~42.0gに分布しているが、平均は22.0gである。

土器片加工円盤に利用している土器の部位はすべて胴部片であり、口縁部・底部は全然ない。無文は2点(12.5%)、貝殻条痕は6点(37.5%)、文様は9点(56.3%)であり、文様と貝殻条痕のものが多く利用されている。

1は42.0gと最大重量であり、内外面ともナデを施している胴部片で、五角形を呈している。幅5.5cm、長さ5.2cm、厚さ1.3cmである。3は曲凹線を施した胴部片で、梢円形に整形している。幅4.8cm、長さ4.3cm、厚さ1.2cm、重さ28.0gである。11は外面にはナデを、内面には貝殻条痕を施した胴部片であるが、幅3.8cm、長さ3.6cmと正円に近く整形している。厚さ1.1cm、重さ17.0gである。12は11と同じ重さであるが、2条の凹線を有している。13は内外面ともナデを施している胴部片で、六角形を漬した形をしている。中央部に両側から孔径1.2cmと0.4cmの穿孔を施しているが、貫通していない。幅4.6cm、長さ3.6cm、厚さ0.8cm、重さ16.0gである。



第26図 土器片加工円盤実測図

第2表 土器片加工円盤計測表

| 番号 | 出土地区 | 幅 (cm) | 長さ (cm) | 厚さ (cm) | 重さ (g) | 部位 | 文様 | 備考 |
|----|-------|-----------|------------|------------|-----------|----|------------------|-------|
| 1 | a - 1 | 5.5 | 5.15 | 1.3 | 42.0 | 胴部 | ナデ | |
| 2 | a - 2 | 5.05 | 4.85 | 1.2 | 39.0 | 胴部 | 貝殻条痕(斜方向) | |
| 3 | | 4.8 | 4.3 | 1.2 | 28.0 | 胴部 | 曲沈線文 | |
| 4 | b - 1 | 4.5 | 4.5 | 1.1 | 26.0 | 胴部 | 風化 | |
| 5 | b - 2 | 4.65 | 4.55 | 1.1 | 25.0 | 胴部 | 沈線文 | |
| 6 | a - 1 | 4.4 | 4.3 | 1.0 | 22.0 | 胴部 | 貝殻複線刺突文(斜)、沈線文 | |
| 7 | | 4.2 | 4.05 | 1.05 | 21.0 | 胴部 | 貝殻条痕の上をナデ | |
| 8 | b - 1 | 4.5 | 4.0 | 1.1 | 20.0 | 胴部 | 貝殻条痕(斜方向)の上をナデ | |
| 9 | b - 1 | 3.9 | 3.6 | 1.1 | 19.0 | 胴部 | 連続刺突文 | |
| 10 | b - 3 | 4.15 | 3.7 | 0.95 | 18.0 | 胴部 | 沈線文 | |
| 11 | b - 2 | 3.8 | 3.6 | 1.1 | 17.0 | 胴部 | 貝殻条痕(横・斜方向)の上をナデ | |
| 12 | b - 4 | 3.9 | 3.85 | 1.1 | 17.0 | 胴部 | 沈線文 | |
| 13 | a - 3 | 4.55 | 3.55 | 0.75 | 16.0 | 胴部 | ナデ | 未穿孔 1 |
| 14 | b - 1 | 3.6 | 3.4 | 1.0 | 15.0 | 胴部 | 貝殻条痕の上をナデ | |
| 15 | a - 3 | 4.0 | 3.75 | 0.8 | 14.0 | 胴部 | 沈線文 | |
| 16 | b - 2 | 3.5 | 3.1 | 0.85 | 13.0 | 胴部 | 沈線文 | |
| 17 | d - 2 | 4.4 | 2.3+α | 0.8 | 9.0 | 胴部 | 貝殻条痕(斜方向) | 半欠 |

第3表 織文土器觀察表

| 番号(遺跡名) | 地名 | 分類 | 器(直径・cm) | 調査 | 表面 | 裏 | ・ 脇 土 | | 色 表 | 調 査 | 地城 | 備 考 |
|---------|-----|-----|---------------|--------------|--------------------|-----|---|--------------------|--------------------|--------|----|-----|
| | | | | | | | 裏 | 表 | | | | |
| 1 d-1 | 1-1 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 流剥文 | 裏 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、黒 褐色の跡の跡を含む | にぶい (5YR 6/3) | にぶい (5YR 6/3) | 楓 | 楓 | 楓 |
| 2 a-2 | 1-1 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 圓錐条紋 (5mm)の上にナデ | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、黒 褐色の跡の跡を含む | にぶい (7.5YR 6/3) | にぶい (7.5YR 7/4) | 楓 | 楓 | 楓 |
| 3 a-2 | 1-1 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 圓錐文 | 圓錐文 | 半透明のガラス質の鱗片少 く白、0.5~1mm人のうすさ、 褐色の跡の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 4 c-5 | 1-1 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 圓錐条紋 (5mm) | 圓錐文 | 半透明のガラス質の鱗片少 く白、0.5~1mm人のうすさ、 褐色の跡の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 5 d-2 | 1-1 | 口縁部 | ナ デ | ヨコナデ | 圓錐文 | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 6 d-1 | 1-1 | 口縁部 | ナ デ | ヨコナデ | 圓錐条紋 (5mm) | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 7 a-2 | 1-1 | 口縁部 | ナ デ | ケズリ (5mm) | 圓錐文 | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 8 d-1 | 1-2 | 口縁部 | ナ デ | ヨコナデ | 圓錐文 | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 9 d-1 | 1-2 | 口縁部 | ヨコナデ | ナ デ | 圓錐文 | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 10 d-1 | 1-2 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 圓錐条紋 (5mm) | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 11 a-2 | 1-3 | 口縁部 | ヨコナデ | ナ デ | 圓錐条紋 (5mm) | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 12 a-2 | 1-3 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 貝殻条紋 (5mm) | 圓錐文 | 透明で光るガラス質の鱗片 0.5~1mm人のうすさ、褐色 の跡を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |
| 13 a-1 | | 口縁部 | 貝殻条紋 (5mm) | ナ デ | 圓錐文 | 圓錐文 | 1.5mm以下の、半透明で光 る無色透明を含む | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 | 楓 |

| 断面 番号(通称名) | 分類 (通称名) | 器物元口 径(cm) | 周 長 | 深 度 | 表 裏 | 表 裏 | 表 裏 | 表 裏 | 表 裏 | 色 調 | 被成 備考 |
|---------------|-------------|---------------|--------|--------------------|--|---|---------------------|---------------------|------------------|------------------|-------------------------|
| 14 B-1 | 口縁部 | ていはいな ナデ | ヨコナデ | 刺繡文 竹管状工具による刺繡文 | 1.5mm以下の、側面透明で 光る、黒色で光る、白色の 絹を含む | にぶい赤 (5YR 4/3) | にぶい赤 (5YR 5/4) | 黒 | 黒 | 黒 | 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 15 b-3 | 1-4 | 口縁部 | ナデ | ヨコナデ | 山織文 ガラス質の織物、0.5mm大 きの、褐色の砂粒を含む | 灰 (5YR 6/2) | にぶい緑 (5YR 7/4) | にぶい緑 (5YR 5/4) | 黒 | 黒 | 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 16 a-2 | 1-4 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 山織文 貝殻織物文 | 透明の光るガラス質の織物 多孔質0.5~1mmの大粒、う うす系の砂粒を含む | にぶい緑 (7.5YR 7/4) | にぶい緑 (7.5YR 7/4) | 黒 | 黒 | 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 17 b-2 | | 口縁部 | ナデ | ヨコナデ | 山織文 透明織物 | 光る透明のガラス質の織物 0.5~2mmの灰黄色を含む 透明に光るガラス質の 0.5~1mmの大粒、う うす系の砂粒を含む | 灰 (7.5YR 4/1) | にぶい緑 (5YR 6/4) | 黒 (5YR 5/4) | 黒 (2.5Y 4/1) | 黒 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 18 a-1 | 1-5 | 口縁部 | ヨコナデ | ナデ | 山織文 貝殻織物 | 光る透明のイエロイ ウチ系色の砂粒を含む 透明に光るガラス質の 0.5~1mmの大粒、う うす系の砂粒を含む | にぶい緑 (5YR 6/4) | にぶい緑 (5YR 5/4) | 黒 (5YR 5/4) | 黒 (2.5Y 4/1) | 黒 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 19 a-2 | 1-5 | 口縁部 | ナデ | ヨコナデ | 山織文 貝殻織物 (前方) | 光る透明のイエロイ ウチ系色の砂粒を含む 透明に光るガラス質の 0.5~1mmの大粒、う うす系の砂粒を含む | にぶい緑 (5YR 6/6) | にぶい緑 (7.5YR 6/4) | 黒 (7.5YR 5/4) | 黒 (7.5YR 5/4) | 黒 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 20 a-2 | 1-5 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 山織文 貝殻織物 (前方) | 透明のガラス質の織物、 光る透明の砂粒を含む 透明に光るガラス質の織物、 少しおよび5mmの人の頭髪 粒を含む | にぶい緑 (7.5YR 4/3) | にぶい緑 (7.5YR 5/4) | 黒 (7.5YR 5/4) | 黒 (7.5YR 5/4) | 黒 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 21 a-2 | 1-5 | 口縁部 | ナデ | ヨコナデ | 山織文 貝殻織物 | 透明のガラス質の織物、 光る透明の砂粒を含む 透明に光るガラス質の織物、 少しおよび5mmの人の頭髪 粒を含む | にぶい緑 (7.5YR 6/4) | にぶい緑 (7.5YR 5/4) | 黒 (7.5YR 6/4) | 黒 (7.5YR 6/4) | 黒 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 22 a-2 | | 口縁部 | ナデ | ナデ | 山織文 | 透明の光る織物、0.5~1mm の大粒の頭髪の砂粒を含む | にぶい緑 (7.5YR 7/4) | にぶい緑 (7.5YR 6/4) | 黒 (7.5YR 6/4) | 黒 (7.5YR 6/4) | 黒 「口縁部に刺繡 のみ」 |
| 23 a-2 | 1-6 | 口縁部 | ヨコナデ | ナデ | 山織文 貝殻織物 (前方) | 透明に光るガラス質の織物、 0.5~1mmの大粒、頭髪 の砂粒を含む | にぶい緑 (7.5Y 8/4) | にぶい緑 (5YR 7/4) | 黒 (5YR 6/4) | 黒 (5YR 7/4) | 黒 「口縁部に日没 線による刺繡」 |
| 24 c-3 | | 口縁部 | ナデ | ナデ | 山織文 貝殻織物 | 3mm以下の、赤 色織物で光る、黒色で光る 絹を含む | 淡黄 (2.5Y 8/4) | にぶい緑 (5YR 7/4) | 黒 (5YR 6/4) | 黒 (5YR 7/4) | 黒 「放火口絨」 |
| 25 b-2 | 胸 部 | 貝殻織 物 | ヨコナデ | ヨコナデ | 山織文 (前方) | 3.5mm以下の、半透明で光 る、透明で光る、黒色で 光る口絨、系色の絹を含む | 赤 (6YR 4/6) | 赤 (6YR 4/6) | 赤 (6YR 4/6) | 赤 (6YR 4/6) | 赤 「胸 部」 |
| 26 №不明 | 胸 部 | 貝殻織 物 | ヨコナデ | ヨコナデ | 山織文 (前方) | 2mm以下の、半透明で光る 黒色、黒色で光る絹を含 む | にぶい赤 (5YR 4/3) | 赤 (5YR 4/6) | 黒 (5YR 4/6) | 黒 (5YR 4/6) | 黒 「胸 部」 |
| 27 b-3 | 胸 部 | 貝殻織 物 | ヨコナデ | ヨコナデ | 山織文 | 2mm以下の、半透明で光る 黒色、黒色で光る絹を含 む | 赤 (7.5YR 4/2) | 明褐色 (5YR 5/6) | 黒 (5YR 5/6) | 黒 (5YR 5/6) | 黒 「胸 部」 |

| 地番 番号 | 地区名 (通称名) | 分類 | 器(能口部 径:cm) | 調 査 表 | 文 書 | 表 記 | 種 類 | 胎 土 | 色 表 | 剖 面 | 刺 繡 | 備 考 |
|----------|--------------|------|----------------|---------------|--------|---------------|---------------|---|---------------------|---------------------|--------|--------|
| | | | | | | | | 2.5mm以下 の、半透明で光 る、黒色で光る、白色の胎 土を含む | にぶい赤褐色 (5YR 4/1) | 明褐色 (5YR 5/6) | | |
| 28 | b-2 | 胴 部 | ナ デ | ヨコナデ | 凹彫文 | | | | | | | 良好 |
| 29 | d-1 | 胴 部 | ナ デ | ナ デ | 浅い凹彫文 | | | | | | | 良好 |
| 30 | b-1 | 胴 部 | 貝殻条紋 (能口向) | ヨコナデ | 凹彫文 | | | | | | | 良好 |
| 31 | b-2 | II-1 | 口 線 濁 | 貝殻条紋 (能口向) | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 光る輪郭少部分、1mmの 灰褐色の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 6/1) | 明褐色 (5YR 5/6) | 良好 | 良好 |
| 32 | a-2 | II-1 | 口 線 濁 | ナ デ | ナ ナ デ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 透明に光るガラス質の胎土 が半透明でガラス質の胎土少 量、1~2mmの胎土、青褐色 の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 6/1) | 青 (5YR 6/6) | 良好 | 絞り工藝 |
| 33 | a-2 | II-1 | 口 線 濁 | ヨコナデ | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 0.5~1mmの灰、褐色 の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/4) | にぶい灰 (5YR 6/4) | 良好 | 良好 |
| 34 | a-2 | II-1 | 口 線 濁 | ナ デ | ナ デ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 透明、半透明のガラス質の 胎土が、0.5~1mmの褐色な どの胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/4) | 青 (5YR 6/6) | 良好 | 良好 |
| 35 | a-2 | II-1 | 口 線 濁 | ヨコナデ | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 0.5~1mmのうす茶、灰色 の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/4) | 青 (5YR 6/6) | 良好 | 良好 |
| 36 | b-1 | II-1 | 口 線 濁 | ヨコナデ | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 半透明のガラス質の胎土少 量、0.5~1mmの灰、褐色 の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/4) | 明褐色 (5YR 5/6) | 良好 | 良好 |
| 37 | a-1 | II-1 | II 線 濁 | ヨコナデ | ナ デ | 深い凹彫文 | 凹彫文 | 0.5mmの光るガラス質の胎土 が半透明の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/4) | 青 (5YR 7/6) | 良好 | 良好 |
| 38 | a-2 | II-1 | 口 線 濁 | 貝殻条紋 (能口向) | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 1mmの光るガラス質の胎土 が半透明の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/3) | にぶい灰 (7.5YR 6/3) | 良好 | 良好 |
| 39 | a-2 | II-2 | 口 線 濁 | 貝殻条紋 (能口向) | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 0.5mmの光るガラス質の胎土 が半透明の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5YR 4/3) | 良好 | 良好 |
| 40 | a-2 | II-2 | 口 線 濁 | 貝殻条紋 (能口向) | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 1mmの光るガラス質の胎土 が半透明の胎土を含む | にぶい灰 (5YR 5/3) | にぶい灰 (5YR 6/3) | 良好 | 良好 |
| 41 | c-1 | II-2 | 口 線 濁 | ヨコナデ | ヨコナデ | 貝殻条紋 (能口向) | 貝殻条紋 (能口向) | 0.5mm以下の透明に光るガ ラス質の胎土、1mmの大塊 胎土を含む、3mmの黒色の 胎土を含む | にぶい灰 (7.5YR 7/3) | にぶい青 (10YR 7/4) | 良好 | 良好 |

| 区分 番号(通称名) | 地名 | 測定元 高さ(cm) | 測定 表 | 前 面 | 側 面 | 文 表 | 種 類 | 基 準 | 色 表 | | 調 査 | 地成 績 | 考 察 |
|---------------|------|---------------|---------------------|---------------|---------------------|--|------------------------|------------------------|------------------------|------------------------|--------|----------|--------|
| | | | | | | | | | 上 | 下 | | | |
| 56 a-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | 日縫各界 (縫、糸界 向) | 月縫各種 (縫) | 凹縫文 月縫各種刺繡文(縫) | 0.2~2 mmの無色透明で光る、半透明で光る黒褐色の絹を含む、糸状の黒褐色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 4/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 4/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | 良好 | スズ付帯(外面) | |
| 57 a-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | 貝縫条目 (筋方向) | 不 明 | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 0.5~2 mmの無色透明で光る、糸状の黒褐色の絹を含む、糸状の白糸、白、茶色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | にぶい赤褐色 (10 YR 6/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 5/4) | 良好 | | |
| 58 a-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ヨコナデ | ヨコナデ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の、乳白色、半透明で光る黒褐色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | 良好 | | |
| 59 a-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ヨコナデ ナ | ヨコナデ ナ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の半透明で光る黒褐色の絹を含む、1~2 mmの白糸、白、茶色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | |
| 60 b-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ヨコナデ ナ | ヨコナデ ナ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の無色透明で光る黒褐色の絹を含む、1~2 mmの乳白色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 4/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | |
| 61 a-1 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ナ ナ | ナ ナ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の無色透明で光る黒褐色の絹を含む、1~3 mmの乳白色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 4/4) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 5/6) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 6/6) | 良好 | | |
| 62 a-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ナ ナ | ナ ナ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の無色透明で光る黒褐色の絹を含む、0.5~5 mmの白糸、白、茶色の絹を含む | にぶい赤褐色 (2.5 YR 5/6) | にぶい赤褐色 (2.5 YR 5/6) | にぶい赤褐色 (2.5 YR 5/6) | にぶい赤褐色 (2.5 YR 5/6) | 良好 | | |
| 63 a-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ヨコナデ ナ | ヨコナデ ナ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の無色透明で光る黒褐色の絹を含む、1~3 mmの白糸、白、茶色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | |
| 64 a-2 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ヨコナデ ナ | ヨコナデ ナ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1.5 mm以下の無色透明で光る黒褐色の絹を含む、1~2.5 mmの白糸、白、茶色の絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | 良好 | | |
| 65 A-1 | Ⅲ-3 | 口縁部 (筋方向) | ナ ナ | ナ ナ | 浅い凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の透明で光る黒褐色の絹を含む、1~1.5 mm以下の黒く光る、乳白色的絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 6/4) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 6/4) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 6/4) | 良好 | | |
| 66 c-5 | Ⅲ-4 | 口縁部 (筋方向) | ヨコナデ | ヨコナデ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1 mm以下の無色透明で光る黒褐色の絹を含む、白糸で光る、白、茶色の絹を含む | にぶい赤褐色 (10 YR 7/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | |
| 67 c-1 | IV-1 | 口縁部 (筋方向) | ヨコナデ | ヨコナデ | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 光るガラス質の細粒 | にぶい赤褐色 (5 YR 6/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/3) | 良好 | | |
| 68 a-2 | IV-2 | 口縁部 (筋方向) | 日縫各綱 (筋方向) | 日縫各綱 (筋方向) | 凹縫文 貝縫各種刺繡文(縫) | 1.5 mm以下の乳白色、半透明で光る、乳白色的絹を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | 良好 | | |

| 地区名 番号 | 地點名 | 分類 | 器元部 (深さ: cm) | 調 査 | 整 理 | 文 表 | 裏 面 | 通 路 | 土 表 | 色 斑 | 調 査 | 備 考 |
|-----------|------------|------|---------------------|--------------------|-------------------|--|----------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|--------------|--------|
| 69 a - 3 | IV - 2 口縁部 | ヨコナデ | 貝殻灰質 (繊方向) | 貝殻灰質 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 1mm以下の無色透明で光る、白色の粒、 1~3mmの乳白、茶色の粒 を含む | にぶい赤相 (5 YR 5/4) | 透青 | 透青 | 透青 | 透青 | |
| 70 a - 2 | IV - 2 口縁部 | ヨコナデ | 貝殻灰質 (繊方向) | 貝殻灰質 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 0.5mm以下の無色透明で光る、 0.2~1mmの無色透明で光る、乳白色、 1~3mmの乳白、茶色の粒 を含む | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透青 | |
| 71 c - 1 | IV - 2 口縁部 | ナデ | 貝殻灰質 (繊、斜方 向) | 貝殻灰質 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 0.2~1mmの無色透明で光る、乳白色、 1~3mmの茶、灰黒 色の粒を含む | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透青 | |
| 72 b - 2 | IV - 2 口縁部 | ナデ | 貝殻灰質 (繊、斜方 向) | 貝殻灰質 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 | 透明に光るガラス質の颗粒少 く、(5 YR 5/4)の透明の粒を含む | にぶい透 (5 YR 6/3) | 明透青 (5 YR 5/6) | 透青 | 透青 | | |
| 73 a - 2 | IV - 3 口縁部 | ナデ | 貝殻灰質 (繊、斜方 向) | 貝殻灰質 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 0.5mm以下の無色透明で光る 乳白色の粒、茶、白、白色で光 る粒を含む | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透青 | |
| 74 SI - 5 | IV - 3 口縁部 | ナデ | ヨコナデ | 貝殻灰質 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 0.5~2mmの乳白、灰黒、 透明で光る透粒を含む | にぶい黄 (10 YR 7/3) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透青 | |
| 75 a - 1 | IV - 3 口縁部 | ナデ | ヨコナデ (斜面) | 凹輪文 | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 白、灰、茶等の細粒を含む | にぶい透 (7.5 YR 6/4) | 明透 (7.5 YR 5/8) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透青 | |
| 76 a - 2 | IV - 3 口縁部 | ヨコナデ | ナデ | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 0.5mm以下の、無色透明で 光る乳白色、白色の粒、 1~2mmの茶色の粒を含む | 灰透 (5 YR 4/2) | 灰透 (5 YR 5/4) | にぶい外 壁 | にぶい外 壁 | 透青 | |
| 77 a - 2 | IV - 3 口縁部 | ナデ | ナデ 貝殻灰質 (繊方向) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 1.5mm以下の、金色で光る、 無色透明で光る、白色、茶 色の粒を含む | 透 (7.5 YR 6/4) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透 (7.5 YR 6/6) | 透青 | |
| 78 a - 2 | IV - 3 口縁部 | ナデ | ヨコナデ | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 2.5mm以下の、茶色、 白色で光る、半透明で光る粒を 含む | 灰透 (7.5 YR 4/2) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透 (5 YR 6/6) | 透青 | |
| 79 a - 3 | IV - 3 口縁部 | ヨコナデ | ナデ | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 2mm以下の、金色で光る、 白色、半透明の粒を含む | にぶい透 (7.5 YR 5/3) | 明透青 (7.5 YR 5/6) | 透青 | 透青 | | |
| 80 a - 2 | IV - 3 口縁部 | ナデ | ヨコナデ | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 3mm以下の、金色で光る、 無色透明で光る、白色、 茶色の粒を含む | 透 (7.5 YR 4/2) | 明透青 (7.5 YR 5/6) | 透青 | 透青 | | |
| 81 b - 2 | V - 1 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 0.1~1mmの大金色の颗粒 多く、0.5~1mmの大黄色の 颗粒の粒を含む | 透 (7.5 YR 4/2) | にぶい外 壁 (5 YR 5/4) | にぶい外 壁 (5 YR 5/4) | にぶい外 壁 (5 YR 5/4) | 口縁部にヘラ削 み | |
| 82 d - 2 | V - 1 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 凹輪文 貝殻灰質鉢底文(鉢) | 透青に光るガラス質の颗粒 物、0.5~1mmの大うず茶 色の颗粒を含む | 透 (7.5 YR 6/4) | にぶい透 (7.5 YR 6/4) | 透 (7.5 YR 6/4) | 透 (7.5 YR 6/4) | 透青 | |

| 断面 番号 | 地区名 (流域名) | 分類 (流域名) | 表 部 (地元 径: cm) | 副 部 (地元 径: cm) | 裏 部 (地元 径: cm) | 表面 裏 部 (地元 径: cm) | 表面 裏 部 (地元 径: cm) | 基 礎 様 式 | | 胎 土 | 色 表 (7.5 YR 6/3) | 色 裏 (7.5 YR 7/4) | 被 覆 物 質 | 被 覆 物 質 | 被 覆 物 質 | |
|----------|--------------|-------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------------|-------------------------------|---|-------------------------|---------------------|---------------------------|---------------------------|------------------|------------------|------------------|----|
| | | | | | | | | 表 部 (地元 径: cm) | 裏 部 (地元 径: cm) | | | | | | | |
| 83 | a-2 | V-1 | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 小い凹輪文 | 大きい凹輪文 | 風く光る輪郭少頭 0.5~1 mm大の褐色の砂粒 を含む | にぶい褐色 (5 YR 5/3) | にぶい褐色 (5 YR 6/3) | にぶい褐色 (5 YR 6/3) | にぶい褐色 (5 YR 7/4) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 84 | a-3 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 2 mm以下の、褐色で鋸歯状で光 る、黒色で光る、乳白色、黒色の粒 を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 4/6) | 赤褐色 (5 YR 4/6) | 赤褐色 (5 YR 4/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 85 | a-2 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 1 mm以下の、半鋸歯状で光 る、乳白色で光る、黒色の粒を含む 無色透明で、乳白色の粒を含む 褐色で、乳白色で、乳白色の粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 86 | b-3 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 太い凹輪文 | 太い凹輪文 | 1 mm以下の、削り透かして光 る、半鋸歯状で光る、黒色で光 る、乳白色で光る、黒色で光 る、白色で光る、乳白色で光 | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 87 | b-1 | | 胸 部 | ヨコナ テ | ヨコナ テ | 浅い凹輪文 | 浅い凹輪文 | 1 mm以下の、無色透明で光 る、白色で光る、乳白色の 粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 88 | b-3 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 長い凹輪文 | 長い凹輪文 | 1 mm以下の、削り透かして光 る、乳白色の 粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 89 | a-3 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 3 mm以下の木系白色、黑色 で光る、無色透明で光る 粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 90 | a-2 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 長い凹輪文 | 長い凹輪文 | 1 mm以下の、無色透明で光 る、白色で光る、白色の粒 を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 4/3) | 赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 5/3) | 赤褐色 (5 YR 5/3) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 91 | c-2 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 4 mm以下の口系白色、黑色 で光る、黑色で光 る粒を含む | 明赤褐色 (5 YR 5/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 92 | c-1 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 3 mm以下の、灰白色、黑色、 無色透明で光る粒を含む | 明赤褐色 (5 YR 4/6) | 赤褐色 (5 YR 4/6) | 赤褐色 (5 YR 4/6) | 赤褐色 (5 YR 4/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 93 | b-3 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 2 mm以下の木系白色、黑色 で光る、黑色で光 る粒を含む | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 94 | a-2 | | 胸 部 | ヨコナ テ | ヨコナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 2.5 mm以下の、白色透明で 光る、無色透明で光る、黑色 で光る、白色で光 る粒を含む | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 95 | b-2 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 長い凹輪文 | 長い凹輪文 | 2 mm以下の木系白色、黑色 で光る、白色で光 る粒を含む | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |
| 96 | a-3 | | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | 凹輪文 | 1 mm以下の半鋸歯状で光 る、白色で光 る粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | 赤褐色 (5 YR 6/4) | 赤褐色 (5 YR 6/4) | 赤褐色 (5 YR 6/4) | 良好 | 良好 | 良好 | 良好 |

| 番号 | 地区名(流域名) | 分類 | 部 器(微元口 格: cm) | 調 査 表 | | | 被 害 度 | 地 域 相 考 |
|-----|----------|-----|------------------------|------------------------|---------------------------------|--------------------------------|-------------|------------------|
| | | | | 表 | 底 面 | 裏 | | |
| 97 | a - 3 | 胸 部 | ナ テ ョ コ ナ デ | 凹 鳍 文 | 2mm以下の、半透明、黒色透明で光る、白色を含む | 灰 黄 橙 (10YR 4/2) (5 YR 5/6) | 良好 | |
| 98 | a - 3 | 胸 部 | ヨコナデ | 横川鰐文 | 0.5mm以下の、断色透明で光る、黒色を含む | に ぶ い 級 (5 YR 5/6) | 良好 | |
| 99 | a - 1 | 胸 部 | 貝 條 亂 (鰐刀魚) の「上」をナデ | 凹 鳍 文 刺突文 | 2mm以下の半透明で光る、黑色を含む | 明赤褐 (5 YR 5/6) | 良好 | |
| 100 | b - 2 | 胸 部 | ヨコナデ | 凹 鳍 文 | 1mm以下の、半透明で光る、黑色を含む | 暗 棕 褐 (5 YR 6/6) | 良好 | |
| 101 | a - 2 | 胸 部 | 貝 條 亂 (鰐刀魚) の「上」をナデ | 凹 鳁 文 | 2mm以下の白色、黑色透明で光る、2~4mmの茶色の粒を含む | 暗 棕 褐 (5 YR 6/6) | 良好 | |
| 102 | a - 2 | 胸 部 | ヨコナデ | 凹 鳁 文 | 2.5mm以下の、半透明で光る、白色を含む | に ぶ い 黄 橙 (5 YR 5/3) | 良好 | |
| 103 | b - 2 | 胸 部 | ナ テ | 貝 條 亂 (鰐刀魚) の「上」をナデ | 2.5mm以下の白色、黑色透明で光る、白色を含む | 明赤褐 (5 YR 5/6) | 良好 | |
| 104 | a | 胸 部 | ヨコナデ | 凹 鳁 文 | 3mm以下の、乳白色、半透明で光る、無色透明で光る、白色を含む | 灰 黄 橙 (5 YR 4/1) (5 YR 5/4) | 良好 | スズ付背(外側) |
| 105 | a - 1 | 胸 部 | ヨコナデ | 貝 條 亂 (鰐刀魚) の「上」をナデ | 1mm以下の白色、黑色透明で光る、白色を含む | 明赤褐 (5 YR 5/6) | 良好 | スズ付背(外側) |
| 106 | c - 1 | 胸 部 | ナ テ | 貝 條 亂 (鰐刀魚) の「上」をナデ | 2mm以下の、半透明で光る、黑色透明で光る、白色を含む | に ぶ い 黄 橙 (5 YR 6/4) | 良好 | |
| 107 | T - 1 | 胸 部 | ナ テ | 貝 條 亂 (鰐刀魚) の「上」をナデ | 3.5mm以下の、乳白色、黑色透明で光る、黑色を含む | に ぶ い 黄 橙 (5 YR 5/3) | 良好 | |
| 108 | n - 2 | 胸 部 | ナ テ | 貝 條 亂 (鰐刀魚) の「上」をナデ | 1mm以下の無色透明で光る、白色を含む | 灰 黄 橙 (5 YR 4/1) | 良好 | スズ付背(外側) |
| 109 | a - 2 | 胸 部 | ナ テ | 凹 鳁 文 | 2mm以下の、乳白色、黑色を含む | 黑 棕 褐 (10 YR 3/2) (7.5 YR 4/3) | 良好 | |
| 110 | a - 2 | 胸 部 | ヨコナデ | 凹 鳁 文 | 1mm以下の黑色透明で光る、白色を含む | 暗 棕 褐 (5 YR 6/6) | 良好 | |

| 試験番号 | 地名 | 分類 | 高さ(元口 径:cm) | 調査表 | 裏 | 底面 | 文 | 縦 | 横 | 土 | 表 | 裏 | 調 | 備考 |
|------|-----|----|----------------|-------|-------|-------|---------------|-----|---|--|----------------------------|---------------------------|----|---------------------|
| 125 | a-2 | 胸 | 深 | ナ デ | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | | | 1.5mm以下の白色、無色透明で光る、黒色で光る、無色透明で光る、黒色の粒を含む | に ぶ い 植 (5 YR 6-/4) | 灰 白 (2.5 Y 8-/2) | 良好 | |
| 126 | b-2 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 貝殻条紋 (斜方四) | 凹輪文 | | 2mm以下の白色、無色透明で光る粒を含む | 明赤褐色 (5 YR 3-/3) | に ぶ い 赤褐色 (5 YR 6-/4) | 良好 | |
| 127 | b-2 | 胸 | 深 | ヨコナ テ | ヨコナ テ | ヨコナ テ | 貝殻条紋 (斜方四) | | | 1mm以下の無数の粒を含む | に ぶ い 赤褐色 (5 YR 5-/3) | に ぶ い 赤褐色 (5 YR 5-/3) | 良好 | |
| 128 | b-1 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | | | 3mm以下の茶色、半透明で光る、黒色の粒を含む | に ぶ い 赤褐色 (5 YR 5-/3) | 暗 紫 (5 YR 6-/6) | 良好 | |
| 129 | A-1 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | | | 2mm以下の、無色透明で光る、白色、黑色の粒を含む | 明赤褐色 (5 YR 4-/4) | 明赤褐色 (5 YR 5-/6) | 良好 | |
| 130 | a-2 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | | | 4mm以下の茶色、白色、白色で光る、黒色で光る、黒色で光る粒を含む | に ぶ い 黄褐色 (5 YR 7-/4) | 暗 紫 (10 YR 7-/4) | 良好 | スス付背(外側) |
| 131 | a-1 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | | | 1mm以下の半透明で光る、白色、黑色で光る粒を含む | 暗 紫 (7.5 YR 6-/6) | 暗 紫 (7.5 YR 6-/6) | 良好 | スス付背(外側) |
| 132 | a-2 | 胸 | 深 | ヨコナ テ | ヨコナ テ | ヨコナ テ | 貝殻条紋 (斜方四) | 凹輪文 | | 1.5mm以下の半透明で光る、白色、黑色の粒を含む | に ぶ い 黄褐色 (5 YR 5-/4) | 暗 紫 (6 YR 6-/6) | 良好 | |
| 133 | c-2 | 胸 | 深 | ヨコナ テ | ヨコナ テ | ヨコナ テ | 貝殻条紋 (斜方四) | 凹輪文 | | 2.5mm以下の、無色透明で光る、白色で光る、黑色の粒を含む | に ぶ い 黄褐色 (5 YR 5-/4) | に ぶ い 黄褐色 (5 YR 5-/4) | 良好 | スス付背(外側) |
| 134 | b-1 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | | | 1mm以下の無色透明で光る、白色の粒を含む | に ぶ い 黄褐色 (7.5 YR 5-/4) | 暗 紫 (5 YR 5-/6) | 良好 | 明赤褐色 (5 YR 6-/6) |
| 135 | a-2 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 貝殻条紋 (斜方四) | 凹輪文 | | 3mm以下の白色、無色透明で光る、黒色で光る、黑色で光る粒を含む | に ぶ い 黄褐色 (10 YR 7-/4) | 暗 紫 (5 YR 6-/6) | 良好 | スス付背(外側) |
| 136 | a-2 | 胸 | 深 | ヨコナ テ | ヨコナ テ | ヨコナ テ | 貝殻条紋 (斜方四) | 凹輪文 | | 1.5mm以下の、白色で光る、乳白色の粒を含む | 明赤褐色 (2.5 YR 5-/6) | 明赤褐色 (2.5 YR 5-/6) | 良好 | |
| 137 | a-3 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 貝殻条紋 (斜方四) | 凹輪文 | | 3mm以下の茶色、無色透明で光る、黑色で光る粒を含む | 暗 紫 (5 YR 6-/6) | に ぶ い 黄褐色 (10 YR 7-/4) | 良好 | |
| 138 | b-2 | 胸 | 深 | ナ テ | ナ テ | ナ テ | 凹輪文 | | | 3mm以下の白色で光る、黑色で光る、黒色透明で光る粒を含む | 暗 紫 (5 YR 6-/6) | 暗 紫 (5 YR 6-/6) | 良好 | |

| 測定番号 | 地名(道府県名) | 分類 | 測定部位(元口 高さ:cm) | 調査表 | | | 種類 | 土質 | 調査面積 | 地城 | 備考 |
|---------|----------|-----|-------------------|-----|----|----|--|--------------------|---------------------|----|----------|
| | | | | 表面 | 凹面 | 底面 | | | | | |
| 139 a-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 3mm以下の白色潤滑で光る 白色、茶色の粘液を含む G | 明るい (5 YR 5/6) | 明るい (5 YR 5/6) | 島野 | |
| 140 a-3 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 1mm以下の無色潤滑で光る 無色である、白色の粘液を含む G | 明るい (10 YR 6/4) | 明るい (10 YR 6/4) | 島野 | |
| 141 c-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 2mm以下の半透明で光る 無色である、茶色の粘液を含む G | 明るい (5 YR 4/4) | 明るい (5 YR 4/4) | 島野 | |
| 142 b-1 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 3mm以下の白色、半透明で 光る、黒褐色で光る粘液を含む G | 明るい (5 YR 5/6) | 明るい (5 YR 5/6) | 島野 | |
| 143 b-1 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 2.5mm以下の半透明で光る 無色潤滑で光る、乳白色の粘液を含む G | 明るい (5 YR 6/4) | 明るい (5 YR 6/4) | 島野 | |
| 144 a-3 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 2.5mm以下の白色、半透明 で光る粘液を含む G | 明るい (5 YR 5/6) | 明るい (5 YR 5/6) | 島野 | |
| 145 a-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 2mm以下の無色潤滑で光る 無色潤滑で光る、無色で光 る、白色の粘液を含む G | 明るい (5 YR 5/4) | 明るい (5 YR 5/4) | 島野 | ススキ谷(外側) |
| 146 c-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 1mm以下の無色潤滑で光る 無色潤滑で光る、白色の 粘液を含む G | 明るい (5 YR 4/2) | 明るい (5 YR 5/6) | 島野 | |
| 147 a-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 2mm以下の無色潤滑で光る 白色である、黑色の粘液を含む G | 明るい (5 YR 4/3) | 明るい (5 YR 5/4) | 島野 | ススキ谷(外側) |
| 148 a-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 1.5mm以下の半透明で光る 白色である、黄色の 粘液を含む G | 明るい (5 YR 5/4) | 明るい (5 YR 5/4) | 島野 | ススキ谷(外側) |
| 149 b-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 3mm以下の茶、白、灰色 無色潤滑で光る、白色の 粘液を含む G | 明るい (5 YR 4/3) | 明るい (5 YR 5/6) | 島野 | ススキ谷(外側) |
| 150 B-1 | 胸 部 | ナ デ | 不 明 | 凹面文 | | | 3mm以下の茶、白、灰色 無色潤滑で光る、白色の 粘液を含む G | 明るい (5 YR 5/4) | 明るい (5 YR 5/6) | 島野 | |
| 151 d-1 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹面文 | | | 1mm以下の半透明で光る 無色潤滑で光る、乳白色の 粘液を含む G | 明るい (5 YR 5/6) | 明るい (7.5 YR 4/3) | 島野 | |
| 152 b-2 | 胸 部 | ナ デ | コ ナ デ | 凹面文 | | | 2.5mm以下の白色、半透明 黑色である、無色潤滑で光 る粘液を含む G | 明るい (5 YR 6/6) | 明るい (5 YR 5/4) | 島野 | |

| 断面番号 | 地区名(通称名) | 分類 | 要部 (厚さ-cm) | 調査部 | | | 表面 | 裏面 | 土 | 表 裏 | 調 査 | 焼成 備 考 |
|------|----------|-----|---------------|------------------------|-----|---|--|-------------|-----------------------|--------|----------|--------------|
| | | | | 表 | 裏 | 底 | | | | | | |
| 153 | a-2 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 2~4mmの白い筋状の軸の 脛、2mm以下半透明で光 る、黒色で下5mm以下透明 で黒色を含む | (2.5YR 6/6) | にぶい黄褐色 (10YR 7/4) | 良好 | | |
| 154 | a-2 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 1.5mm以下の無色透明で光 る、黑色である、底、茶色 の筋を含む | (5YR 4/3) | にぶい赤褐色 (5YR 5/4) | 良好 | | |
| 155 | a-2 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) の上をナデ | 凹面文 | | 1mm以下半透明で光る、 半透明で光る、白色の底、 半透明で光る、底、茶色 の筋の底を含む | (5YR 6/3) | にぶい赤褐色 (10YR 4/2) | 良好 | スス付番(外側) | |
| 156 | a-2 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 2mm以下の無色透明で光る 半透明で光る、白、茶色の 筋を含む | (5YR 5/3) | にぶい黄褐色 (10YR 6/4) | 良好 | スス付番(外側) | |
| 157 | d-2 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 2.5mm以下の乳白色、金色 を含む | (7.5YR 5/4) | にぶい褐色 (5YR 5/6) | 良好 | | |
| 158 | b-1 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 2mm以下の無色透明で光る 半透明で光る、白色を含む | (10YR 7/4) | にぶい黄褐色 (7.5YR 5/6) | 良好 | | |
| 159 | b-3 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) の上をナデ | 凹面文 | | 2mm以下の半透明で光る 黒色である、白色の筋を含 む | (5YR 5/8) | 明治初期 (10YR 5/8) | 良好 | スス付番(外側) | |
| 160 | B-2 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 2mm以下の白色半透 明で光る、白色で白色を含 む | (5YR 6/4) | にぶい褐色 (7.5YR 5/6) | 良好 | スス付番(外側) | |
| 161 | a-2 | 胴 部 | ナ デ | 不明 (風化) | 凹面文 | | 1.5mm以下の無色透明で光 る、半透明で光る、白色、 茶色の筋を含む | (7.5YR 5/4) | 明治初期 (5YR 5/6) | 良好 | スス付番(外側) | |
| 162 | A-1 | 胴 部 | ヨコナデ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 1mm以下の白色半透 明で光る、黑色で白色を含 む | (7.5YR 3/1) | にぶい褐色 (7.5YR 5/4) | 良好 | スス付番(外側) | |
| 163 | A-1 | 胴 部 | ヨコナデ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 4mm以下の茶色、白色、無 色透明で光るが部分を除く | (7.5YR 6/4) | にぶい褐色 (5YR 5/6) | 良好 | | |
| 164 | a-2 | 胴 部 | ナ デ (?) | 貝殻条紋 (薄方側) の上をナデ | 凹面文 | | 1.5mm以下の、無色透明で 光る、茶、半白色の筋を含 む | (7.5YR 6/4) | にぶい褐色 (5YR 5/6) | 良好 | | |
| 165 | d-1 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 2mm以下の、半透明で光る 黒色である、白色の筋を 含む | (7.5YR 6/8) | にぶい褐色 (5YR 6/8) | 良好 | | |
| 166 | b-3 | 胴 部 | ヨコナデ | 貝殻条紋 (薄方側) | 凹面文 | | 3.5mm以下の金色に光る、 茶色を多量に、2.5mm以下 白色、黑色で白色を含む | (5YR 5/4) | にぶい赤褐色 (7.5YR 6/6) | 良好 | | |

| 地区名 番号(道府県名) | 分類 | 器(器元口 径: cm) | 洞 | 表 | 裏 | 底面 | 蓋 | 義表 | 蓋土 | 動 | 調 | 色 | 表 | 被吸 | 備考 |
|-----------------|-------|-----------------|---|------|------------------------|-------|---|---|------------------------|------------------------|----|----------|---|----|----|
| 167 a - 1 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | | 1 mm以下の無色透明で光る、乳白色の粒を含む 黒色以下で光る、乳白色の粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 4/3) | にぶい褐色 (7.5 YR 5/4) | 良好 | | | | |
| 168 b不明 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | | 2 mm以下の無色透明で光る、乳白色の粒を含む 半透明で光る、乳白色で光る 茶色の粒を含む | にぶい褐色 (7.5 YR 5/6) | にぶい褐色 (10 YR 5/3) | 良好 | スス付端(外面) | | | |
| 169 d - 1 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) の上をナメ | 凹輪文 | | 2 mm以下の半透明で光る、無色透 明で光る、黑色の粒を含む 茶色、茶色の粒を含む | にぶい赤褐色 (2.5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (2.5 YR 5/6) | 良好 | スス付端(外面) | | | |
| 170 c - 2 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | | 1 mm以下の無色透明で光る、乳白色の 黒色を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/8) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/8) | 良好 | | | | |
| 171 a - 2 | 脚 | 深 | ナ | テ | ナ | テ | 凹輪文 | 2.5 mm以下の灰褐色、白色、茶色の 無色透明で光る、黑色で光 る粒を含む | にぶい赤褐色 (7.5 YR 6/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | | | |
| 172 a - 2 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | | 2 mm以下の白色、無色透明 で光る、半透明で光る、黑色で光 る粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | | | |
| 173 a - 2 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | | 2 mm以下の半透明で光る、 茶色、乳白色の粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | | | |
| 174 B - 1 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) のコテ | 凹輪文 | | 3 mm以下の茶色、無色透明 で光る、黑色で光る、白色 の粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | | | |
| 175 S E - 2 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | | 1.5 mm以下の無色透明で光る 黑色の粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 5/4) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | | | |
| 176 a - 2 | II 緑深 | ナ | テ | ヨコナメ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | 1.5 mm以下の茶色、黑色 半透明で光る、無色透明で光る 白色の粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 5/4) | 良好 | | | | | |
| 177 b - 3 | 脚 | 深 | ナ | テ | ナ | テ | 凹輪文 | 2 mm以下の茶色、無色透明 で光る粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | | | |
| 178 d - 1 | 脚 | 深 | ナ | テ | ナ | テ | 凹輪文 | 1 mm以下の半透明で光る、 白色の粒を含む | 明輪網 (5 YR 5/6) | 明輪網 (7.5 YR 3/2) | 良好 | スス付端(外面) | | | |
| 179 d - 3 | 脚 | 深 | ナ | テ | ヨコナメ | 浅い凹輪文 | | 1 mm以下の無色透明で光る、 白色で光る、白色の粒を含む ~5 mmの茶色の粒を含む | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | にぶい赤褐色 (5 YR 6/6) | 良好 | | | | |
| 180 B - 1 | 脚 | 深 | ナ | テ | 貝殻条紋 (脚方向) | 凹輪文 | | 2 mm以下の無色透明で光る、 乳白色で光る、黑色で光る、 乳白色、茶色の粒を含む | 明輪網 (5 YR 5/6) | にぶい赤褐色 (7.5 YR 6/4) | 良好 | | | | |

| 区画番号 | 地区名 | 分類(通称名) | 測量面積 | | | 測量員 | 測量士 | 測量日 | 施設備考 |
|------|-------|---------|--------------|--------------|------------------------------------|--|------------------------------|--------------------------------|-----------------------|
| | | | 表 | 裏 | 底面 | | | | |
| 181 | c-2 | 胴 部 | ナ デ | ナ デ | 凹輪文 | 2 mm以下の半透明で光る 無色透明から、黄色や青 色の色を含む。 | 灰 級 | (5 YR 5/8) | 明治期 良好 スス付箇(外側) |
| 182 | S1-10 | 胴 部 | ヨコナデ | ナ デ | 凹輪文 | 1~3 mmの大粒の茶色、褐色 や紅、黒色や茶色を含む。 | (7.5 YR 4/3) | に ぶ い 色 良 好 (5 YR 5/4) | |
| 183 | a-3 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (筋状) | 凹輪文 | 2 mm以下の無色透明で光る 黒色や光る、白色の粒を含む | に ぶ い 色 良 好 (5 YR 5/4) | に ぶ い 色 良 好 (5 YR 5/4) | |
| 184 | a-3 | 胴 部 | 貝殻条紋 (筋状) | 凹輪文 | 2.5 mm以下の白色で透明で 無色透明で光る、白色の粒を含む | 明治期 (2.5 YR 5/6) | 明治期 (2.5 YR 5/6) | 良 好 | |
| 185 | a-2 | 胴 部 | ナ デ | ヨコナデ (筋状) | 凹輪文 | 1 mm以下の半透明で光る、 黑色や茶色を含む | に ぶ い 色 (5 YR 5/4) | に ぶ い 色 良 好 (5 YR 5/4) | |
| 186 | No.不判 | 胴 部 | ナ デ | ナ デ | 凹輪文 | 1 mm以下の無色透明で光 る、白色の粒を含む | に ぶ い 色 (5 YR 4/3) | に ぶ い 色 良 好 (5.5 YR 5/4) | |
| 187 | a-3 | 胴 部 | 貝殻条紋 (筋状) | ナ デ | 凹輪文 | 3 mm以下の茶色、白色、半 透明で光る、黑色や茶色を含 む | に ぶ い 色 (5 YR 5/4) | に ぶ い 色 良 好 (7.5 YR 4/3) | |
| 188 | A-1 | 胴 部 | ナ デ | ナ デ | 凹輪文 | 1.5 mm以下の黒色で光る、 無色透明で光る、乳白色の 粒を含む | に ぶ い 色 (10 YR 7/4) | に ぶ い 色 (5 YR 5/6) | |
| 189 | b-1 | 胴 部 | ナ デ | ナ デ | 凹輪文 | 1 mm以下の茶色で光る、 白色や光る、黑色透明で光 る、白色の粒を含む | に ぶ い 色 (5 YR 5/4) | に ぶ い 色 良 好 (5 YR 6/6) | |
| 190 | a-2 | 胴 部 | ナ デ | 風化者 | 凹輪文 (貝殻条紋状文)(特) | 1 mm以下の無色透明で光 る、半透明で光る、乳白色 の粒を含む | 白 級 | (5 YR 6/6) | 良 好 スス付箇(外側) |
| 191 | c-2 | 胴 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (筋状) | 凹輪文 | 1.5 mm以下の半透明で光る 黒色や茶色を含む。 | に ぶ い 色 (5 YR 5/4) | に ぶ い 色 良 好 (7.5 YR 5/4) | |
| 192 | d-1 | 胴 部 | ナ デ | ナ デ | 縫合輪文 | 1 mm以下の無色透明で光る 黒色や光る、白色の粒を含 む | に ぶ い 色 (5 YR 6/3) | 明治期 良 好 (5 YR 5/6) | |
| 193 | a-2 | 胴 部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 凹輪文 | 2 mm以下の白色、無色透明 で光る、半透明で光る、黑 色や光る、白色の粒を含む | に ぶ い 色 (5 YR 5/3) | に ぶ い 色 良 好 (5 YR 6/4) | |
| 194 | d-1 | 胴 部 | ナ デ | ナ デ | 凹輪文 | 2 mm以下の白色、無色透明 で光る、半透明で光る、黑 色や光る、白色の粒を含む | 白 級 | (5 YR 6/6) | 良 好 スス付箇(外側) |

| 番号 | 地区名(測定名) | 分類 | 高さ(元口 幅(後口 幅 倍: cm) | 表面 状態 | 調 査 | 表 面 | 被 覆 | 機 械 | 軸 裏 | 土 | 地 色 | 調 査 | 偏 向 | 地 質 | 偏 考 | |
|-----|----------|-----|------------------------------|----------|--------|--------|-------------------------------|--------|--------|---|--|-----------------------|-----------------------|--------|----------|--|
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 196 | a - 2 | 鋼 鋼 | | | | | | | | | 3mm以下の半透明で光る、黒色で光る 銀色で光る、黑色で光る、茶色で光る、茶 色の粒を含む。 | にぶい 橙 (7.5YR 6/-4) | にぶい 橙 (5YR 6/-4) | 良好 | | |
| 196 | d - 1 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ナ テ | 凹錐文 | | | | 1.5mm以下の白色で光る、黑色で光る、茶 色で光る、茶色の粒を含む。 | にぶい 橙 (7.5YR 6/-4) | にぶい 橙 (10YR 4/-1) | 良好 | | |
| 197 | d - 2 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ナ テ | 凹錐文 | | | | 2mm以下の半透明で光る、黑色で光る、茶 色で光る、茶色の粒を含む。 | にぶい 橙 (7.5YR 5/-4) | 明るい 橙 (5YR 5/-6) | 良好 | | |
| 198 | No不明 | 鋼 鋼 | | | ヨコナテ | ヨコナテ | 凹錐文 | | | | 1mm以下の白色で光る、白色で光る、茶 色で光る、茶色の粒を含む。 | にぶい 橙 (5YR 4/-3) | にぶい 橙 (7.5YR 6/-4) | 良好 | | |
| 199 | c - 2 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ナ テ | 凹錐文 | | | | 1mm以下の無色透明で光る、無色透明で光 る、白色の粒を含む。 | にぶい 橙 (5YR 6/-6) | にぶい 橙 (10YR 7/-4) | 良好 | | |
| 200 | d - 1 | 鋼 鋼 | | | ヨコナテ | ヨコナテ | 凹錐文 | | | | 1mm以下の無色透明で光る、無色透明で光 る、白色の粒を含む。 | にぶい 橙 (5YR 5/-3) | 明るい 橙 (5YR 5/-6) | 良好 | | |
| 201 | d - 1 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ナ テ | 凹錐文 | | | | 1.5mm以下の無色透明で光る、無色透明で光 る、白色の粒を含む。 | にぶい 橙 (5YR 5/-6) | 明るい 橙 (5YR 5/-6) | 良好 | スズ内層(外層) | |
| 202 | d - 1 | 鋼 鋼 | | | ヨコナテ | ヨコナテ | 員 器 条 痕 (鉛 方向) | | | | 1.5mm以下の無色透明で光る、無色透明で光 る、白色の粒を含む。 | にぶい 橙 (5YR 5/-4) | 明るい 橙 (5YR 4/-4) | 良好 | | |
| 203 | d - 1 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ヨコナテ | ヘラ状工具による刺突 文 | | | | 3mm以下の灰白色を少許 含む。 | 灰 (5YR 5/-2) | にぶい 灰 (5YR 5/-3) | 良好 | | |
| 204 | B - 1 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ヨコナテ | 凹錐文 | | | | 2mm以下の半透明で光る、黑色で光る、 黑色で光る、黑色の粒を含む。 | にぶい 橙 (5YR 5/-6) | 明るい 橙 (5YR 5/-6) | 良好 | | |
| 205 | B - 2 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ヨコナテ | 凹錐文 | | | | 2mm以下の半透明で光る、黑色で光る、 黑色で光る、黑色の粒を含む。 | にぶい 橙 (5YR 5/-4) | 明るい 橙 (5YR 6/-6) | 良好 | | |
| 206 | a - 2 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ヨコナテ | 員 器 条 痕 (鉛 方向) | | | | 2mm以下の白色で光る、黑色で光 る、半透明で光る粒を含む。 | 赤 (5YR 4/-6) | 赤 (5YR 4/-6) | 良好 | | |
| 207 | No不明 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ヨコナテ | 凹錐文 | | | | 1.5mm以下の半透明で光る、 黑色で光る、白色の粒を含 む。 | 明るい 橙 (5YR 5/-6) | 明るい 橙 (5YR 5/-6) | 良好 | | |
| 208 | d - 1 | 鋼 鋼 | | | ナ テ | ナ テ | 凹錐文 | | | | 2mm以下の半透明で光る、 黑色で光る、黑色の粒を含 む。 | 灰 (5YR 4/-2) | にぶい 灰 (5YR 5/-4) | 良好 | | |

| 断面 番号 | 地名 (道傍名) | 分類 | 端部 径(奥元 径:cm) | 調 査 表 | 測 量 表 | 文 書 | 整 理 | 施 工 土 | 施 工 土 | 調 査 表 | 施 工 土 | 施 工 土 | 備 考 |
|----------|-------------|-----|---------------------|------------------|--------------------|--------|--------|--|----------------------------|--------------------------|-------------|-------------|--------|
| 209 | c - 2 | 胸 部 | ナ テ | 月 梨 条 類 (斜方向) | 凹 缘 文 | | | 1 m 以下の白色、無色透明 で光る、無色で光る、茶色 の色、3 mm 大の灰色の粒を 含む。 | に ぶ い 色 級 (5 YR 5-/4) | 明暗範 (5 YR 5-/6) | 良好 | 良好 | |
| 210 | d - 1 | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹 缘 文 | | | 2 mm 以下の半透明で光る、 無色で光る、無色で光る粒 を含む。 | に ぶ い 色 級 (5 YR 5-/4) | 明暗範 (2.5 YR 5-/6) | 良好 | スス付船(外面) | |
| 211 | d - 2 | 胸 部 | ヨコナ テ | 月 梨 条 類 (斜方向) | 法 ト 帽 類 文 刺 交 文 | | | 5 mm 以下の、灰色、茶色、 黑色で光る、白色の粒を含 む。 | 橙 (7.5 YR 6-/6) | 灰暗範 (10 YR 6-/2) | 良好 | | |
| 212 | d - 2 | 胸 部 | ナ テ | 貝 梨 条 類 (横方向) | 凹 缘 文 | | | 1 mm 以下の無色透明で光る、 無色で光る、白色の粒を含 む。 | に ぶ い 色 級 (7.5 YR 6-/4) | 明暗範 (7.5 YR 5-/4) | 良好 | 良好 | |
| 213 | c - 1 | 胸 部 | ナ テ | 貝 梨 条 類 (横方向) | 凹 缘 文 | | | 3 mm 以下の白色、黄色、 灰色、無色透明で光る、白 色で光る、無色で光る。 | 明暗範 (5 YR 5-/6) | 明暗範 (5 YR 5-/6) | 良好 | スス付船(外面) | |
| 214 | d - 1 | 胸 部 | テ い ね い な ナ テ | 凹 缘 文 | | | | 2.5 mm 以下の無色透明で光 る、黑色で光る、無色の粒 を含む。 | 橙 (5 YR 6-/6) | 橙 (5 YR 6-/6) | 良好 | スス付船(外面) | |
| 215 | n - 2 | 胸 部 | ナ テ | ナ テ | 凹 缘 文 | | | 2 mm 以下の白色、無色透明 で光る、無色の粒を含む。 | に ぶ い 色 級 (2.5 YR 4-/4) | 明暗範 (2.5 YR 5-/6) | 良好 | | |
| 216 | n - 1 | 胸 部 | ナ テ | 不 明 (銀方向) | 凹 缘 文 | | | 2 mm 以下の無色透明で光る 白色で光る、白色の粒を含む。 | 橙 (7.5 YR 7-/6) | に ぶ い 色 級 (5 YR 6-/4) | 良好 | | |
| 217 | a - b - 1 | 胸 部 | ヨコナ テ | 貝 梨 条 類 (横方向) | 凹 缘 文 刺 交 文 | | | 4 mm 以下の白色、黑色、半 透明で光る、無色で光る粒 を含む。 | 灰 (5 YR 4-/2) | に ぶ い 色 級 (5 YR 5-/4) | 良好 | | |
| 218 | a - b - 1 | 胸 部 | ヨコナ テ | 貝 梨 条 類 (横方向) | 凹 缘 文 刺 交 文 | | | 3 mm 以下の白色、白色、半 透明で光る、無色で光る粒 を含む。 | 半 (5 YR 4-/2) | 半 (5 YR 6-/6) | 良好 | | |
| 219 | a - 4 | 胸 部 | ナ テ | 月 梨 条 類 (斜方向) | 凹 缘 文 | | | 2 mm 以下の半透明で光る、 無色透明で光る、白色の粒を含 む。 | 橙 (5 YR 5-/4) | 橙 (5 YR 6-/6) | 良好 | スス付船(外面) | |
| 220 | T - 1 | 胸 部 | ナ テ | ヨコナ テ | 凹 缘 文 | | | 2 mm 以下の半透明で光る、 無色透明で光る、白色の粒を含 む。 | 橙 (7.5 YR 7-/6) | 橙 (5 YR 6-/6) | 良好 | | |
| 221 | d - 2 | 胸 部 | ナ テ | ヨコナ テ | 法 ト 帽 類 文 | | | 1 mm 以下の白色、黑色で光 る、無色透明で光る、白色の 粒を含む。 | 橙 (5 YR 6-/6) | 橙 (7.5 YR 4-/3) | 良好 | スス付船(外面) | |
| 222 | d - 1 | 胸 部 | テ い ね い な ナ テ | 貝 梨 条 類 (横方向) | | | | 2 mm 以下の白色、無色透明 で光る、半透明で光る、黑色 の粒を含む。 | 明暗範 (2.5 YR 5-/6) | 橙 (7.5 YR 6-/6) | 良好 | スス付船(外面) | |

| 区画番号 | 地区名(植物名) | 器(標元) 直 径(cm) | 調 査 表 | 茎 葉 | | 土 | 色 表 | 測 定 | 地成 分 | 備 考 |
|------|----------|----------------------|-------------|------------------------|---------------|------------------------------------|---|--------------|---------|--------|
| | | | | 裏 | 底面 | | | | | |
| 223 | B-2 | 胸 部 | ナ デ | 貝殻条紋 (横方向) | 凹線文 | | 2mm以下の白色、半透明で 光る、黒色で光る、無色透 明で光るの殻を含む | (5 YR 6/6) | 楕 形 | 良好 |
| 224 | a-2 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 凹線文 | | 1.5mm以下の、茶色、半透 明で光る、黒色で光る、白 色の殻を含む | (5 YR 5/4) | 楕 形 | 良好 |
| 225 | a-4 | 胸 部 | ナ デ | ナ デ | 細い凹線文 | | 1mm以下の黑色透明で光る 透明で光る、茶色の殻を含 む | (5 YR 5/8) | 楕 形 | 良好 |
| 226 | a-2 | VI-1 口 線 部 | | 貝殻条紋 (横方向) の上をナデ | 貝殻条紋 (横方向) | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 1mm以下の黑色透明 で光る、黒色で光る、白 色の殻を含む | (7.5 YR 7/6) | 楕 形 | 良好 |
| 227 | a-3 | VI-1 口 線 部 | | 貝殻条紋 (横方向) | 貝殻条紋 (横方向) | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 1.5mm以下の黑色透 明で光る、半透明で 光る、茶色の殻を含む | (7.5 YR 7/6) | 楕 形 | 良好 |
| 228 | No不明 | VI-1 口 線 部 | | ヨコナデ 貝殻条紋 (横方向) | 貝殻条紋 (横方向) | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 2mm以下の半透明で光る、 乳白、茶色の 殻を含む | (5 YR 6/6) | 楕 形 | 良好 |
| 229 | No不明 | VI-1 口 線 部 | | 貝殻条紋 (横方向) | ナ デ | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 1mm以下の黑色透 明で光る、黒色で光る、 白色の殻を含む | (7.5 YR 7/6) | 楕 形 | 良好 |
| 230 | a-1 | VI-1 11 線 帯 (横方向) | | 貝殻条紋 の上をナデ | ナ デ | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 1.5mm以下の半透明で 光る、半透明で 光る、黒色で光る、 白色の殻を多く含 む | (5 YR 6/6) | 楕 形 | 良好 |
| 231 | a-2 | VI-2 口 線 部 | | 貝殻条紋 (斜、横方 向) | ヨコナデ | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 1.5mm以下の半透明 で光る、半透明で 光る、黒色で光る、 白色の殻を多く含 む | (5 YR 6/6) | 楕 形 | 良好 |
| 232 | a-3 | 口 線 部 | | 貝殻条紋 (横方向) | ナ デ | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 1.5mm以下の半透明 で光る、半透明で 光る、黒色で光る、 白色の殻を多く含 む | (7.5 YR 6/6) | 楕 形 | 良好 |
| 233 | b-3 | VI-3 口 線 部 | | 貝殻条紋 (横方向) の上ナデ | ナ デ | 社源文 貝殻条紋 貝殻条紋 貝殻条紋 (斜) | 1mm以下の黑色透 明で光る、乳白色 の殻を含む | (7.5 YR 5/4) | 楕 形 | 良好 |

| 番号 | 地区名 (道耕名) | 分類 (高さ: cm) | 器皿 | 調 理 | 盛 り | 表 面 | 底 面 | 被 覆 | 土 | 色 | 調 理 | 被 覆 | 考 察 |
|-----|--------------|----------------|-----|--------|-------------------------------|---------------------|--|------------|----|------------|--------|------------|----------------|
| 234 | b-1 | VI-3 | 口縁部 | ヨコナデ | 貝袋条痕 (側方) | 刺突文 貝袋条痕 (側) | 0.1~2mmのごく細 かい褐色透明で光る 乳白色の絹状 の物を含む。 | 5 YR 5/4 | 褐色 | 5 YR 6/6 | 良好 | 5 YR 6/6 | |
| 235 | a-4 | VI-4 | 口縁部 | ヨコナデ | 貝袋条痕 (側) | 刺突文 貝袋条痕 (側) | 2mm以下の無色透明 で光る、半透明で光 る、茶色の粒を含む。 | 7.5 YR 7/6 | 褐色 | 7.5 YR 7/4 | 良好 | 7.5 YR 7/4 | スス付背(外) |
| 236 | b-2 | VI-4 | 口縁部 | ナマ化 | ナマ化 | 貝袋条痕 (側) | 1~1.5mmの無色透 明で光る、半透明で光 る、茶色の粒を含む。 | 7.5 YR 4/3 | 褐色 | 7.5 YR 7/6 | 良好 | 7.5 YR 7/6 | スス付背(内) |
| 237 | ab-1 | VI-5 | 口縁部 | ナマ化 | ヨコナデ 貝袋条痕 (側)の上を ナマ化 | 貝袋条痕 (側)、帆方 向 | 1mm以下の黒色透明 で光る、半透明で光 る、茶色の粒を含む。 | 5 YR 6/6 | 褐色 | 5 YR 6/6 | 良好 | 5 YR 6/6 | |
| 238 | b-1 | VI-6 | 口縁部 | ナマ化 | ヨコナデ | 貝袋条痕 (側) | 透明の光るガラス質の細粒 を少々含む。 | 7.5 YR 6/3 | 褐色 | 7.5 YR 6/3 | 良好 | 7.5 YR 6/3 | 口縫部に貝袋 条痕文 |
| 239 | b-3 | VI-7 | 口縁部 | ナマ化 | ナマ化 | 貝袋条痕 (側) | 細かい黒色透明 目袋条痕 (側) | 5 YR 7/6 | 褐色 | 10 YR 7/4 | 良好 | 10 YR 7/4 | スス付背(内) |
| 240 | a-2 | VI-7 | 口縁部 | ナマ化 | ヨコナデ 貝袋条痕 (側)の上をナマ化 | ナマ化 | 1mm以下の無色透明 で光る、半透明で光 る、茶色の粒を含む。 | 5 YR 5/4 | 褐色 | 7.5 YR 6/4 | 良好 | 7.5 YR 6/4 | 口縫部 スス付背(外) |
| 241 | a-2 | 口縁部 | ナマ化 | ナマ化 | ナマ化 | 貝袋条痕 (側) | 2mm以下の半透明で光る、 半透明で光る、茶色の粒を含む。 | 5 YR 7/6 | 褐色 | 5 YR 7/6 | 良好 | 5 YR 7/6 | スス付背(内) |
| 242 | a-3 | VI-1 | 口縁部 | ナマ化 | ナマ化 | 貝袋条痕 (側) | 透明で光るガラス質の細粒 を少々含む。 | 7.5 YR 6/6 | 褐色 | 5 YR 6/6 | 良好 | 5 YR 6/6 | 口縫部に貝袋 条痕文 |
| 243 | a-2 | VI-1 | 口縁部 | ナマ化 | ナマ化 | 貝袋条痕 (側) | 透明で光るガラス質の細粒 を多く0.5~1mmの白、 褐色の砂粒を含む。 | 5 YR 5/2 | 褐色 | 10 YR 7/3 | 良好 | 10 YR 7/3 | |
| 244 | a-2 | VI-1 | 口縁部 | ナマ化 | ヨコナデ 貝袋条痕 (側)の上をナマ化 | ナマ化 | 光るガラス質の細粒 を1~2mmの褐色の砂粒を 含む。 | 5 YR 6/6 | 褐色 | 5 YR 6/6 | 良好 | 5 YR 6/6 | 口縫部に貝袋 条痕文 |

| 標本番号 | 地区名(道府県名) | 分類(道府県名) | 器皿(四口 直径:cm) | 調査 表 | 裏 面 | 文 字 | 表 面 | 真 様 | 胎 土 | 色 表 | 表 裏 | 焼成 度 | 備考 | |
|------|-----------|----------|-----------------|----------------------|----------------------|---------------------|--------------|--------------|------------------------------|--------------|--------------|--------------|----|-------------------------|
| | | | | | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | | |
| 245 | a-2 | | 口縁部 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | | | | | | | | | 口縁部に削り文 |
| 246 | b-1 | W-1 | 口縁部 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 彌生文 | | | | | | | | |
| 247 | A-2 | W-1 | 口縁部 | ヨコナデ 貝殻条紋 (前方) | ヨコナデ 貝殻条紋 (後方) | 竹管刻文 | | | | | | | | |
| 248 | b-3 | W-1 | 口縁部 | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | 良好 | |
| 249 | d-3 | W-1 | 口縁部 | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | 良好 | |
| 250 | a-2 | W-1 | 口縁部 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 彌生文 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 1mm以下の半透明で光る、 無色透明で光る様を含む | ナ | ナ | ナ | 良好 | |
| 251 | a-2 | W-1 | 口縁部 | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | 良好 | 波打線 スリット付 口縁部に削り文 |
| 252 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 彌生文 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 透明で光るガラス質の細粒 を含む | ナ | ナ | ナ | 良好 | |
| 253 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | 透明で光るガラス質の細粒 を含む | ナ | ナ | ナ | 良好 | |
| 254 | d-3 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 彌生文 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 透明で光るガラス質の細粒 を含む | ナ | ナ | ナ | 良好 | |
| 255 | b-2 | W-2 | 口縁部 | ナ | ナ | ナ | ナ | ナ | 透明で光るガラス質の細粒 を含む | ナ | ナ | ナ | 良好 | |
| 256 | a-2 | W-2 | 口縁部 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 彌生文 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | ガラス質の細粒を少々 含む | ナ | ナ | ナ | 良好 | 口縁部に削り文 |
| 257 | T-2 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 彌生文 | 貝殻条紋 (前方) | 貝殻条紋 (後方) | 透明で光るガラス質の 細粒を含む | ナ | ナ | ナ | 良好 | |

| 画面番号 | 地区名(地図名) | 分類 | 器(端元口径:cm) | 調査部 | 調査部 | 表面 | 裏面 | 底面 | 土 | 色 | 調査 | 備考 |
|------|----------|-----|------------|---------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-------------------|-------------------|----|
| 258 | a-4 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | 褐色 (5YR 7/6) | 褐色 (5YR 7/6) | 良好 |
| 259 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | 褐色 (5YR 7/6) | 褐色 (5YR 7/6) | 良好 |
| 260 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ヘラナデ (端元口 径:約4cm) | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (5YR 5/3) | 褐色 (5YR 5/3) | 良好 |
| 261 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (7.5YR 5/1) | 褐色 (7.5YR 5/1) | 良好 |
| 262 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (7.5YR 5/3) | 褐色 (7.5YR 5/3) | 良好 |
| 263 | d-1 | W-2 | 口縁部 | ヘラナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (7.5YR 5/3) | 褐色 (7.5YR 5/3) | 良好 |
| 264 | b-1 | W-2 | 口縁部 | ナナナデ? | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (7.5YR 5/3) | 褐色 (7.5YR 5/3) | 良好 |
| 265 | b-1 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | 褐色 (7.5YR 5/3) | 褐色 (7.5YR 5/3) | 良好 |
| 266 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (5YR 6/3) | 褐色 (5YR 6/3) | 良好 |
| 267 | c-5 | W-2 | 口縁部 | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (2.5YR 6/6) | 褐色 (2.5YR 6/6) | 良好 |
| 268 | c-1 | W-2 | 口縁部 | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (5YR 6/6) | 褐色 (5YR 6/6) | 良好 |
| 269 | a-2 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (5YR 6/3) | 褐色 (5YR 6/3) | 良好 |
| 270 | a-4 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | 褐色 (5YR 7/4) | 褐色 (5YR 7/4) | 良好 |
| 271 | b-3 | W-2 | 口縁部 | ヨコナデ 月型条痕 (端元口 径:約4cm) | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | ナデ | 褐色 (2.5YR 6/6) | 褐色 (2.5YR 6/6) | 良好 |

| 断面番号 | 地区名(道府県名) | 分類 | 高さ(元口 幅(幅員) 深さ:cm) | 調査 | | 表 | 裏 | 文 | 表 | 裏 | 地 | 表 | 裏 | 施成 | 備考 |
|------|-----------|-----|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|---|--|---------------------|-----------------------|---|---|---|----|----|
| | | | | 表 | 裏 | | | | | | | | | | |
| 272 | b-2 | 口縁部 | ナ デ | ナ デ | | | | 透明に光るガラス質の細粒 1~2mmの半透明の含む 細粒を含む | 明瞭地 (5 YR 5/-6) | 明瞭地 (10 YR 6/-6) | 地 | | | | |
| 273 | ab-1 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ナ デ | ヘラによる制定文 | | | 黒、透明に光るガラス質の細粒 細粒を含む、0.1~0.3mmの灰白色 | に ぶ い 横 (5 YR 6/-4) | に ぶ い 横 (7.5 YR 4/-2) | 地 | | | | |
| 274 | b-2 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 透明で光るガラス質の細粒 1mmの灰白色の砂 | 横 (5 YR 6/-6) | 横 (5 YR 6/-6) | 地 | | | | |
| 275 | a-2 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 黒、透明に光るガラス質の 細粒を含む | 灰 横 (5 YR 5/-2) | 灰 横 (5 YR 6/-4) | 地 | | | | |
| 276 | a-3 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 1mm以下の無色透明で光る、 半透明で光る、0.5~2.5mmの黒 色を多く含む、灰、白、茶 色の粒を含む | 横 (5 YR 6/-6) | 横 (7.5 YR 6/-6) | 地 | | | | |
| 277 | a-2 | W-3 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | 光るガラス質の細粒、0.5 ~1mmの灰白色の砂 | に ぶ い 横 (5 YR 6/-3) | に ぶ い 横 (5 YR 6/-3) | 地 | | | | |
| 278 | b-1 | W-3 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | 白、黒色の0.5mm以下の細 粒を含む | に ぶ い 斜 (5 YR 4/-1) | 明 横 (7.5 YR 5/-6) | 地 | | | | |
| 279 | d-1 | W-3 | 口縁部 | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 2mm以下の暗褐色の砂粒を 含む | 横 (7.5 YR 4/-2) | に ぶ い 横 (7.5 YR 5/-3) | 地 | | | | |
| 280 | ab-1 | W-3 | 口縁部 | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 2mm以下の黄褐色の砂粒を 多く含む | に ぶ い 横 (5 YR 6/-4) | に ぶ い 横 (5 YR 6/-4) | 地 | | | | |
| 281 | b-3 | W-3 | 口縁部 | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 無色透明で光る、黒色で光 る、半透明で光る、白色の粒 を含む | に ぶ い 横 (5 YR 6/-6) | に ぶ い 横 (5 YR 6/-6) | 地 | | | | |
| 282 | a-1 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 0.5~1.5mmの無色透明で 光る、黒色で光る、乳白、茶色 の粒を含む | に ぶ い 斜 (5 YR 5/-6) | に ぶ い 斜 (7.5 YR 7/-6) | 地 | | | | |
| 283 | a-2 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 1mm以下の無色透明で光る 黒色を含む | に ぶ い 横 (5 YR 6/-4) | に ぶ い 横 (5 YR 6/-6) | 地 | | | | |
| 284 | a-2 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | ヨコナデ | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 1mm以下の無色透明で光 る、黒色を含む、乳白、茶色 の粒を含む | 横 (5 YR 6/-6) | 横 (5 YR 6/-6) | 地 | | | | |
| 285 | No不明 | 口縁部 | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | 月 窓 条 質 (窓方) (5 YR 6/-6) | | | 0.5~1.5mmの無色透明で 光る、半透明で光る、乳白、茶色 の粒を含む | に ぶ い 横 (5 YR 5/-3) | に ぶ い 横 (5 YR 5/-3) | 地 | | | | |

| 画面 番号 | 地区名 (通称名) | 調 査 部 (底元部 径: cm) | | 調 査 部 表 面 | | 底 面 | | 文 表 面 | | 底 面 | | 土 | | 色 表 面 | | 調 査 部 表 面 | | 地 成 構 造 | | 備 考 | | | |
|----------|--------------|-------------------------------|--------|-----------------------|---|--------|---|-------------|---|--------|---|---|-----|-------------|---|-----------------------|-----|------------------|---|--------|-----|---|---|
| | | 分 類 | 類 型 | 表 | 表 | 底 | 面 | 表 | 底 | 面 | 表 | 底 | 面 | 表 | 底 | 面 | 表 | 底 | 面 | 表 | 底 | | |
| 286 | d-1 | 口縫部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | |
| 287 | a-1 | 口縫部 | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | |
| 288 | a-1 | 口縫部 | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | |
| 289 | b-1 | W-2 | 口縫部 | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ |
| 290 | a-2 | W-2 | 口縫部 | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ |
| 291 | c-4 | W-2 | 口縫部 | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ |
| 292 | a-3 | 口縫部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | |
| 293 | a-1 | IX | 口縫部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ |
| 294 | a-2 | 口縫部 | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | デ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ | ナ | ヨコナ | ナ | デ |
| 295 | a-2 | X | 脚部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ |
| 296 | c-1 | XI | 脚部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ |
| 297 | a-2 | XII | 脚部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ |
| 298 | b-1 | XII | 脚部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ |
| 299 | d-1 | XII | 脚部 | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ | ナ | デ |

| 圓面 番号 (通称名) | 地区名 | 分類 | 器(端口 径:cm) | 調 査 表 | 基 礎 面 | 整 形 文 表 | 基 礎 土 | 調 査 表 | | 施設 備 考 |
|-------------------|------|-----|-----------------------|-------------|---------------|------------------|---|--------------|---------|----------------|
| | | | | | | | | 透 明 度 | 色 相 | |
| 300 d-1 | XII | 口縁部 | ヘラナデ | ヘラナデ | 沈査文 | | 透明、黒色の光るガラス質 の割れ、0.5mmの灰の砂の粒 の粒を含む | (5 YR 6/6) | 橙 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 301 B-1 | XII | 口縁部 | 貝殻条質 の上をナデ | ナ デ | 沈査文 | | 透明、黒色の光る、細粒を 含む、0.5mmの灰の砂の粒 の粒を含む | (5 YR 6/3) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 302 a-2 | XII | 口縁部 | 貝殻条質 の上をナデ | ヨコナデ | 沈査文 | | ガラス質の網状の隙間、1~ 7mmの灰、灰色の小粒、1~ 5mmの白い砂の粒を含む | (7.5 YR 7/4) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 303 c-1 | XIII | 口縁部 | ヨコナデ 貝殻条質 の上をナデ | ヨコナデ | 則文 | | 2mm以下の網状で光る 白、灰、茶色の粒を含む | (5 YR 6/6) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 304 b-3 | XIII | 口縁部 | ナ デ | ヨコナデ | 則文 | | 0.5~1mmの透明で光る 粒、黒色で光る粒、半透 明、褐色の粒を含む | (7.5 YR 3/4) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 305 b-1 | XIII | 口縁部 | 貝殻条質 の上をナデ | ナ デ | 則文 | | 細かで透明、半透明、 白色の粒を含む | (5 YR 6/4) | 墨 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 306 a-3 | XIII | 口縁部 | ナ デ | ナ デ | 沈査文 | | 2mm以下の半透明で光る 白色の粒を含む | (5 YR 5/8) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 307 S E 1 | XIII | 口縁部 | 貝殻条質 の上をナデ | ヨコナデ | 則文 | | 貝殻条の灰白色、半透明 の粒を含む | (5 YR 6/6) | 橙 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 308 施-39 | XIII | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 沈査文 | | 1.5mm以下の、無色透明で 光る、半透明で光る白の 粒を含む | (10 YR 6/4) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 309 b-1 | XIII | 口縁部 | ナ デ | ヨコナデ | 貝殻条質 の上をナデ | 貝殻条質 の上をナデ | 貝殻条の灰白色、半透明 の粒を含む | (5 YR 6/6) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 310 B-1 | XIII | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | 貝殻条質 の上をナデ | 貝殻条質 の上をナデ | 1mm以下の半透明で光る、 白色の粒を含む | (5 YR 6/6) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 311 a-1 | XIII | 口縁部 | ナ デ | ナ デ | 貝殻条質 の上をナデ | 貝殻条質 の上をナデ | 3mm以下の全粒、 白、黄、青の粒を含む | (10 YR 4/2) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 312 b-1 | XIII | 口縁部 | ナ デ | ナ デ | 沈査文 | | 2mm以下の、半透明で光る 黑色で光る、白色の粒、 3mm以下の青の粒を含む | (5 YR 6/6) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |
| 313 a-2 | XIII | 口縁部 | ヨコナデ | ナ デ | 則文 | | 1.5mm以下の無透明で光る 半透明で光る、白色の粒を含む 白色の粒を含む | (7.5 YR 4/2) | 褐色 色 | 透光口縫 鏡面部に押正 |

| 箇番 番号 | 地名 (通称名) | 分類 | 高さ (50cm口 径: cm) | 調査 表 | 草 茎 | 底 面 | 被 覆 | 文 字 | 表 | 土 色 | 植 物 様 式 | 被 覆 類 | 調 査 員 | 施 設 備 備 考 |
|----------|-------------|------|------------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|--|-----------------------|---------------------|-------------|--------------------------|
| 314 | B-1 | XIII | 口縁部 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 2mm以下の無色透明で光る、無色の葉、葉色で 異なる葉、多く含む | にぶい赤褐色 (5YR 4/3) | にぶい赤褐色 (5YR 6/6) | 良好 | スズベ音(外面) |
| 315 | No.不明 | XIII | 口縁部 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 1mm以下の半透明で光る、無色透明で光る、葉色で 異なる葉、多く含む | にぶい赤褐色 (5YR 4/3) | 明瞭褐色 (5YR 5/6) | 良好 | |
| 316 | c-1 | XIII | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 1mm以下の半透明で光る、葉色で光る、葉色で 異なる葉、多く含む | にぶい赤褐色 (5YR 4/3) | 明瞭褐色 (5YR 5/6) | 良好 | スズベ音(外面) |
| 317 | a-1 | XIII | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 0.5mm以下の白色、半透明 で光る、葉色で光る、葉色で 異なる葉、多く含む | にぶい黄褐色 (10YR 5/3) | 明瞭褐色 (5YR 5/6) | 良好 | セサミ音(外側) 「C」字形の爪 葉 |
| 318 | b-3 | XIII | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 極く細かい吸水と透出性を 含む | にぶい褐色 (5YR 6/4) | にぶい褐色 (5YR 7/4) | 良好 | セサミ音をつづいて いる |
| 319 | a-2 | XIII | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 1.5mm以下の茶色、半透明 で光る、葉色で光る、白色 の葉を含む | にぶい赤褐色 (5YR 4/3) | 明瞭褐色 (5YR 5/6) | 良好 | スズベ音(外面) |
| 320 | a-1 | XIII | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 1.5mm以下の金色、白色、 茶色、無色透明で光る葉を含む | にぶい黃褐色 (5YR 4/2) | 明瞭褐色 (5YR 4/3) | 良好 | |
| 321 | c-2 | XIII | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 月季 ヨコナデ (横方向) | 2mm以下の茶色の葉を多く 含む | にぶい褐色 (5YR 6/4) | にぶい黃褐色 (5YR 6/4) | 良好 | |
| 322 | b-1 | XIV | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 2mm以下の黒く光る、葉 を含む | にぶい褐色 (5YR 6/4) | にぶい黃褐色 (5YR 6/6) | 良好 | |
| 323 | d-4 | XIV | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 3.5mm以下の金(5)色を多く 含む | にぶい赤褐色 (5YR 5/4) | 明瞭褐色 (5YR 5/6) | 良好 | スズベ音(外面) |
| 324 | A-1 | XIV | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 3.5mm以下の白、茶、灰褐色 を含む | にぶい茶褐色 (7.5YR 7/6) | 明瞭褐色 (7.5YR 7/6) | 良好 | |
| 325 | B-1 | XIV | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 2mm以下の茶、白色、無色 透明で光る、金色で光る葉 を含む | にぶい褐色 (7.5YR 7/6) | 明瞭褐色 (7.5YR 7/6) | 良好 | スズベ音 |
| 326 | a-2 | XIV | 口縁部 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 月季 ヨコナデ | 1mm以下の半透明で光る、 無色透明で光る、黑色、 無色透明で光る、葉を含む | にぶい褐色 (5YR 6/6) | にぶい褐色 (5YR 6/6) | 良好 | |

| 試験番号 | 地名(試験名) | 分類 | 葉(留元口 径: cm) | 調査表 | | 被覆率 | 土 | 色 | 開 裂 | 表 裏 | 被 考 | |
|------|---------|-----|-----------------|--------------|--------------|-----|---|------------------------------|-------------------|-----------------|--------|---------------------------|
| | | | | 表 | 裏 | | | | | | | |
| 327 | T-1 | XIV | 口縫部 (留元口) | 具縫条紋 (斜方) | 具縫条紋 (斜方) | | | 1.5mm以上の褐色透明で光る、黒色で光る枝の枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 6/6) | 良好 | 液状土壤 |
| 328 | a-1 | XIV | 口縫部 (留元口) | ナ | ナ | | | 1mm以下の半透明で光る、白、茶色の枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/3) | 裂 (5 YR 6/4) | 良好 | スス付着(外側) |
| 329 | a-3 | XIV | 口縫部 | ナ | コナデ | | | 1mm以下の無色透明で光る、白、茶色の枝を含む。 | 裂 (5 YR 6/6) | 裂 (5 YR 6/6) | 良好 | スス付着(外側) |
| 330 | a-1 | XIV | 口縫部 | タチナデ | ナ | | | 2.5mm以下の中茶、無色透明で光る枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 6/6) | 良好 | |
| 331 | b-1 | XIV | 口縫部 | ナ | ナ | | | 1mm以下の半透明で光る、乳白色の枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 6/4) | 良好 | |
| 332 | A-1 | XIV | 口縫部 | ナ | ナ | | | 1mm以下の黒色で光る、無色透明で光る枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 5/4) | 良好 | |
| 333 | a-2 | XIV | 口縫部 (留元口) | ナ | ナ | | | 3mm以下の茶、乳白色、無色透明で光る枝を含む。 | 裂 (5 YR 6/6) | 裂 (5 YR 5/4) | 良好 | |
| 334 | a-2 | VII | 口縫部 | ナ | ナ | | | 3mm以下の茶、灰、乳白色透明で光る枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 5/4) | 良好 | |
| 335 | a-4 | XIV | 口縫部 (留元口) | ナ | コナデ | | | 1mm以下の黒色で光る、白色の枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 5/4) | 良好 | |
| 336 | a-3 | XIV | 口縫部 (留元口) | ナ | コナデ | | | 1mm以下の無色透明で光る枝を含む。 | にぶい (5 YR 6/4) | 裂 (5 YR 5/4) | 良好 | |
| 337 | a-1 | XIV | 口縫部 | コナデ | 具縫条紋 (斜方) | | | 3mm以下の無色透明で光る枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 5/4) | 良好 | |
| 338 | d-1 | XIV | 口縫部 | ナ | コナデ | | | 1mm以下の黒色で光る、白色の枝を含む。 | にぶい (5 YR 6/4) | 裂 (5 YR 5/6) | 良好 | |
| 339 | a-2 | XIV | 口縫部 (組合) | ナ | ナ | | | 3mm以下の茶、乳白色、無色透明で光る枝を含む。 | にぶい (5 YR 5/4) | 裂 (5 YR 6/6) | 良好 | スス付着(外側) 5cm間隔で穿孔(%)あり |
| 340 | a-1 | XIV | 口縫部 | コナデ | 具縫条紋 (斜方) | | | 極く細かで透明で光る枝、白色の枝を含む。 | 裂 (5 YR 5/2) | 裂 (5 YR 4/6) | 良好 | |

| 番号 | 地区名(遺跡名) | 器種 | 剖面 | 表裏 | 裏面 | 表面 | 土 | 調査 | | 備考 |
|-----|------------|-----|-----|---------------|---------------|------|---------------|---------------|---------------|---------------------|
| | | | | | | | | 縫隙 | 裏面 | |
| 341 | b-2 | XIV | 口縁部 | ナ | デ | ヨコナデ | | | | 粘土のたるみが 見られる(外面) |
| 342 | a-4 | XIV | 口縁部 | ナ | デ | ヨコナデ | | | | スス付管(外面) |
| 343 | b-1 | XIV | 口縁部 | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコナデ | | | | |
| 344 | b-2 | XIV | 口縁部 | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコナデ | | | | |
| 345 | a-2 | XIV | 口縁部 | ナ | デ | ヨコナデ | | | | |
| 346 | a-2 | XIV | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | | | | |
| 347 | b-1 | XIV | 口縁部 | ヨコナデ | ナ | デ | | | | |
| 348 | a-4 | XIV | 口縁部 | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | | | | |
| 349 | c-1 | | 口縁部 | ヨコナデ | ナ | デ | 油脂文 | | | |
| 350 | a-2 d-2 | | 脚 部 | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコナデ | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | 良好 |
| 351 | a-2 | | 脚 部 | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコナデ | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | 良好 |
| 352 | b-2 | | 脚 部 | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコナデ | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | 良好 |
| 353 | a-2 | | 脚 部 | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | ヨコ縫隙 (縫方向) | 良好 |
| 354 | c-1 | | 脚 部 | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | ヨコナデ | 良好 |

| 番号 | 地区名(道府県名) | 分類 | 部(認定元) 長径(cm) (幅:cm) | 調査表 | | | 種類 | 土色 | 調査表 | 施設備考 |
|-----|-----------|---------------------|-------------------------|--------------|--------------|--------------|---|---|--|------|
| | | | | 表 | 裏 | 底面 | | | | |
| 355 | a-2 | 脚部 | ナ デ 相いナデ | | | | 2.5mm以下の無色透明で光る茶色の質を含む | (5 YR 7/6) 檬 | (5 YR 7/6) 檉 | 良好 |
| 356 | A-2 | 口輪部 ～底部 (内、外) | ナ デ 目蓋脣部 (内、外) | ヨコナデ ヨコナデ | ヨコナデ ヨコナデ | ヨコナデ ヨコナデ | 4mm以下の茶色 2mm以下の黒色で光る、半透明で光る、白を含む | に(5 YR 7/4) 檩 (10 YR 7/4) 檩 | に(5 YR 7/4) 檩 (7.5 YR 7/4) 檩 | 良好 |
| 357 | a-2 | 脚部 | ナ デ ナ デ | | | | 3mm以下の白、灰、黑色、 半透明で光る、白を含む | に(5 YR 5/4) 檩 (7.5 YR 5/4) 檩 | (5 YR 6/6) 檩 | 良好 |
| 358 | a-3 | 脚部 | ナ デ ナ デ | | | | 1.5mm以下の半透明で光る、黒を含む 半透明で光る柱、乳白色の柱を含む | (5 YR 6/6) 檩 (5 YR 6/6) 檩 | (5 YR 6/6) 檩 | 良好 |
| 359 | b-2 | 脚部 (29.2) | ヨコナデ ナ デ | | | | 3.5mm以下の茶、灰、白色 無色透明で光る、黒を含む | (5 YR 6/6) 檩 (7.5 YR 7/6) 檩 | (5 YR 6/6) 檩 | 良好 |
| 360 | a-1 | 脚部 | ヨコナデ ナ デ | | 側平面 | | 2mm以下の無色で光る、無色透明で光る、黒を含む 2mm以下の無色で光る、黒、白色の柱を含む | (5 YR 6/6) 檩 (7.5 YR 7/4) 檩 | (5 YR 6/6) 檩 | 良好 |
| 361 | c-2 | 脚部 | ヨコナデ ナ デ | | | | 2mm以下の無色透明で光る、黒、白色の柱を含む | (5 YR 5/6) 檩 (5 YR 5/3) 檩 | (5 YR 5/3) 檩 | 良好 |
| 362 | d-1 | 脚部 | ヨコナデ ヨコナデ | | | | 2mm以下の茶色の砂粒を少 量を含む | 明褐色 (5 YR 7/4) 檩 | (5 YR 7/4) 檩 | 良好 |
| 363 | a-2 | 脚部 | ヨコナデ ヨコナデ | | | | 白色の質を含む | (5 YR 7/4) 檩 (7.5 YR 6/2) 檩 | (7.5 YR 6/2) 檩 | 良好 |
| 364 | a-2 | 脚部 | ナ デ | | | | 1mm以下の無色透明で光る 黒を含む | に(5 YR 6/6) 檩 (7.5 YR 5/4) 檩 | (7.5 YR 5/4) 檩 | 良好 |
| 365 | a-2 | 脚部 | ヨコナデ ヨコナデ | | | | 1mm以下の白色透明で光る、乳白、灰色の 質を含む | (5 YR 7/6) 檩 (7.5 YR 6/4) 檩 | (5 YR 6/4) 檩 | 良好 |
| 366 | d-1 | 脚部 (9.4) | ヨコナデ ヨコナデ | | | | 0.5mm以下の石英砂粒、電気の芯 1mm以下の白色、電気の芯 白色の質を含む | に(5 YR 6/6) 檩 (2.5 YR 6/4) 檩 (2.5 YR 5/6) 檩 | (5 YR 6/6) 檩 (2.5 YR 6/4) 檩 (2.5 YR 5/6) 檩 | 良好 |
| 367 | a-2 | 底 (11.3) | ナ デ | ヨコナデ | 側平面 | | 2mm以下の無色透明で光る 2mmの白色の質を含む | に(5 YR 5/6) 檩 (10 YR 4/1) 檩 | (10 YR 4/1) 檩 | 良好 |

| 試験番号 | 部位名(通称名) | 分類 | 基準(厘米) (cm) | 調査 | | 監査 | | 文表 | | 標準 | | 色 調 | 土 表 | 表 面 | 底 面 | 裏 面 | 被 覆 | 地 質 | 地成 層 | 備 考 |
|------|----------|----------------------|-------------------|-------------------|-----|----|---|---|---|-----------------|----------|-----------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|--------|
| | | | | 表 | 裏 | 裏 | 表 | 裏 | 裏 | 裏 | 裏 | | | | | | | | | |
| 368 | S1-6 | 底 部 | ナデ 目条 (輪方凹) | ヘラナデ (輪方凹) | 網 代 | | | 1 mm以下の底質は、能動透 明で白色である。黒色で光る、細 孔を含む。 | | (5 YR 5/8) | 明透 明透 | (2.5 YR 5/8) | 明透 | 5/8 | | | | | | |
| 369 | a - 2 | 底 部 (12.4) (回) | ナデ 目条 (輪方凹) | ヨコナナデ (輪方凹) | 網 代 | | | 2 mm以下の底質は、能動透 明で白色である。黒色で光る、細 孔を含む。 | | (10 YR 5/4) | 明透 | (5 YR 5/6) | 明透 | 5/6 | | | | | | |
| 370 | a - 2 | 底 部 (8.6) | ナ デ | ナ デ | 網 代 | | | 2 mm以下の底質は、能動透明で光る。 半透明で光る。黒色で光る。 白色の底を含む。 | | (2.5 YR 5/6) | 明透 | (7.5 YR 5/4) | 明透 | 5/4 | | | | | | |
| 371 | a - 2 | 底 部 | ヨコナナデ (輪方凹) | ナデ 目条 (輪方凹) | 網 代 | | | 3 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。黒色で光る。 白色で光る。底を含む。 | | (10 YR 5/2) | 明透 | (5 YR 5/6) | 明透 | 5/6 | | | | | | |
| 372 | b - 3 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | 網 代 | | | 1 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。1 ~ 4 mmの茶 色、灰褐色、当時の底を含む。 | | (10 YR 4/4) | 明透 | (5 YR 7/6) | 明透 | 7/6 | | | | | | |
| 373 | c - 1 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | 網 代 | | | 2 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。黒色で光る。底を含む。 | | (10 YR 5/6) | 明透 | (5 YR 6/6) | 明透 | 6/6 | | | | | | |
| 374 | b - 3 | 底 部 | — | ナ デ | 網 代 | | | 3 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。底を含む。 | | (5 YR 5/6) | 明透 | (5 YR 6/8) | 明透 | 6/8 | | | | | | |
| 375 | a - 2 | 底 部 | — | ヘラナデ | 網 代 | | | 4 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。底を含む。 | | (2.5 YR 4/4) | 明透 | (7.5 YR 5/6) | 明透 | 5/6 | | | | | | |
| 376 | a - 2 | 底 部 | — | ナ デ | 網 代 | | | 5 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。底を含む。 | | (10 YR 5/3) | 明透 | (7.5 YR 6/3) | 明透 | 6/3 | | | | | | |
| 377 | d - 2 | 底 部 | — | ナ デ | 網 代 | | | 6 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。底を含む。 | | (2.5 YR 5/6) | 明透 | (2.5 YR 5/6) | 明透 | 5/6 | | | | | | |
| 378 | a - 2 | 底 部 | — | ナ デ | 網 代 | | | 7 mm以下の底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。底を含む。 | | (5 YR 5/6) | 明透 | (10 YR 4/2) | 明透 | 4/2 | | | | | | |
| 379 | d - 2 | 底 部 (7.2) | ヨコナデ (輪方凹) | ナデ 目条 (輪方凹) | 網 代 | | | 1 mm以下の底質は、能動透明で光る。 半透明で光る。黒色で光る。 2 ~ 3 mmの底を含む。 | | (2.5 YR 6/6) | 明透 | (2.5 YR 6/6) | 明透 | 6/6 | | | | | | |
| 380 | a - 2 | 底 部 (9.6) | ナデ 目条 (輪方凹) | ナデ 目条 (輪方凹) | 網 代 | | | 1 ~ 5 mmの底質は、能動透明で光る。 能動透明で光る。底を含む。 | | (7.5 YR 6/5) | 明透 | (10 YR 6/3) | 明透 | 6/3 | | | | | | |

| 番号 | 地区名 | 分類(植物名) | 樹高 (cm) | 葉 形 | 葉 質 | 葉 面 | 葉 表 | 葉 裏 | 胎 土 | 色 表 | 色 裏 | 被 膜 | 備 考 |
|-----|-------|---------------|------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------------------------|--------------|--------------|--------|--------------|
| 381 | a-2 | 底 部 ナナツナデ | ナ テ | 刷 代 | | | | | 2 mm 以下の無色透明で光る、こげ茶色の胎土を含む | (5 YR 5/3) | (2.5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 382 | No 不明 | 底 部 ナ デ | ヨコナナデ | 刷 代 | | | | | 2 mm 以下の白、灰、こげ茶色で光る胎土を含む | (5 YR 6/6) | (5 YR 6/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 383 | T-1 | 底 部 ナナツナデえ | ナ テ | ナ テ | —— | 刷 代 | | | 1.5 mm 以下の白、こげ茶色、無色透明で光る胎土を含む | (5 YR 5/4) | (2.5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 384 | a-3 | 底 部 ナ テ | ナ テ | —— | 刷 代 | | | | 1 mm 以下の無色透明で光る胎土を含む | (5 YR 4/4) | (5 YR 4/4) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 385 | a-3 | 底 部 ナ テ | ナ テ | 刷 代 | | | | | 1.5 mm 以下の白色でガラス質の胎土を含む | (7.5 YR 2/1) | (2.5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 386 | c-1 | 底 部 ヨセナナデ | ナ テ | 刷 代 | | | | | 2 mm 以下の茶、淡茶、茶色で光る胎土を含む | (5 YR 5/2) | (5 YR 5/8) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 387 | b-2 | 底 部 ヨセナナデ | ヨセナナデ | 刷 代 | | | | | 1 mm 以下のこげ茶、深黄色、白色で光る胎土を含む | (5 YR 5/4) | (2.5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 388 | n-2 | 底 部 ヨセナナデ | ヨセナナデ | 刷 代 | | | | | 1~3 mm の褐色の胎土を含む | (5 YR 5/6) | (5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 389 | b-2 | 底 部 ヨコナナデ | ヨコナナデ | 刷 代 | | | | | 1 mm の茶色、深茶、無色透明で光る胎土を含む | (6 YR 5/6) | (5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 390 | n-2 | 底 部 ヨコナナデ | ヨコナナデ | 刷 代 | | | | | 1 mm 以下の茶色、茶色、無色透明で光る胎土を含む | (6 YR 5/6) | (2.5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 391 | c-1 | 底 (10.1) 部 | ヨコナナデ | ナ テ | 刷 代 | | | | 1 mm 以下の無色透明で光る胎土を含む | (5 YR 6/6) | (2.5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 392 | a-2 | 底 部 (7.6) | ナ テ | ナ テ | 刷 代 | | | | 1 mm 以下の淡黄、白、茶色で光る胎土を含む | (5 YR 5/3) | (2.5 YR 5/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 393 | d-1 | 底 部 風 化 | ナ テ | ナ テ | —— | 刷 代 | | | 1.5~3 mm の褐色、茶色で光る胎土を含む | (5 YR 4/2) | (5 YR 6/8) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |
| 394 | a-3 | 底 部 風 化 | ナ テ | 刷 代 | | | | | 1.5 mm 以下の淡黄、茶色で光る胎土を含む | (5 YR 6/6) | (5 YR 6/6) | 良好 | 白色樹脂 (合成) |

| 巡回 番号 | 地区名 | 分 割 (流域名) | 河口 径(cm) | 調 査 表 | | | 土 | 色 調 | 地 域 | 備 考 |
|----------|-----|-----------------|----------------|-------------|-----|-----|-------------------------------------|--------------|-------------------------|--------|
| | | | | 表 | 裏 | 底面 | | | | |
| 395 | b-2 | 底 海 | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1mm以下の淡黄、こげ茶、茶色、無色透明で光る細かい砂を含む | (5 YR 6/8) | に は い 茶 (5 YR 4/3) | 良好 |
| 396 | a-2 | 底 海 | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1~3mmの茶色、赤褐色の砂を含む | (7.5 YR 5/6) | に は い 茶 (7.5 YR 4/4) | 良好 |
| 397 | a-2 | 底 海 | ナ デ | —— | ナ デ | 耐代 | 1mm以下の茶、淡黄色、無色透明で光る、黒色を含む | (7.5 YR 6/4) | に は い 茶 (7.5 YR 6/4) | 良好 |
| 398 | c-1 | 底 (8.1) | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1.5mm以下の茶色透明で光る、白色の砂を含む | (7.5 YR 5/1) | 明 褐 | 良好 |
| 399 | a-2 | 底 (13.2) (向) | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 6mm以下の白色で光る、白色の砂を含む | (10 YR 5/1) | 褐 | 粘土のつなぎ |
| 400 | b-2 | 底 (9.3) | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 3.5mm以下で白色で光る、白色の砂を含む | (10 YR 6/6) | 明 褐 | 良好 |
| 401 | a-3 | 底 海 | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1~2mmで無色透明、白色 | (10 YR 6/3) | に は い 茶 (10 YR 6/3) | 良好 |
| 402 | a-2 | 底 (9.0) (向) | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 2mm以上で無色透明で光る、茶色、無色透明で光る砂を含む | (5 YR 6/6) | 明 褐 | 良好 |
| 403 | d-3 | 底 (9.9) | 目 薩 条 鮎 (向) | ナ デ | ナ デ | 木の葉 | 1.5mm以下の淡黄、茶、こげ茶、無色透明で光る砂を含む | (5 YR 6/4) | に は い 茶 (10 YR 6/4) | 良好 |
| 404 | a-2 | 底 海 | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1mm以下の淡黄、灰色、白色でガラス質、黑色透明で光る砂を含む | (2.5 YR 6/8) | 明 褐 | 粘土のたるみ |
| 405 | a-2 | 底 海 | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1mm以下の淡黄、灰色、白色でガラス質、黑色透明で光る砂を含む | (5 YR 7/6) | 明 褐 | 良好 |
| 406 | b-3 | 底 海 | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1mm以下の茶、黑色、無色透明で光る砂を含む | (5 YR 7/6) | 明 褐 | 良好 |
| 407 | d-1 | 底 海 (8.6) | ヨコナデ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 0.5~1.5mm以下の灰白、淡褐色、灰褐色、無色透明で光る砂を含む | (5 YR 6/4) | に は い 茶 (5 YR 6/6) | 良好 |
| 408 | c-1 | 底 海 | ナ デ | ナ デ | ナ デ | 耐代 | 1mm以下の白色の砂を含む、0.5mm以下の灰白色、無色透明の砂を含む | (5 YR 5/4) | に は い 茶 (7.5 YR 5/3) | 良好 |

| 地区名 | 番号(遺跡名) | 分類 | 器(色元口 径:cm) | 測定 | 表 | 裏 | 底 | 面 | 文 | 表 | 底 | 土 | 色 | 表 | 底 | 調 | 地図 | 備考 |
|-----|---------|-----|-----------------------|-------|---|---|---|---|---|--|----------------------|-----------------------------|------------------|----|--------|---|----|----|
| 409 | b-1 | 底 部 | 「貝殻条紋 (灰、鉛方 向)」 | ナ デ | | | | | | 1mm以下の白色、無色透明 を含む、黒色で光る透明 なぶい赤褐色 (6YR 5/3) | に ぶい赤褐色 (6YR 5/4) | 良好 | | | | | | |
| 410 | d-1 | 底 部 | 「貝殻条紋 (鉛方 向)」 | ナ デ | | | | | | 0.5~1.5mm以下の灰白色、 青色の透明を含む 褐色透明で光る、1mm以下 を含む | (5YR 6/6) | (5YR 6/6) | 良好 | | | | | |
| 411 | a-2 | 底 部 | (8.9) | ナ デ | | | | | | 0.5~1.5mm以下の灰白色、 灰白色透明で光る、1mm以下 を含む | (7.5YR 7/4) | に ぶい に ぶい (7.5YR 7/4) | 良好 | | | | | |
| 412 | e-2 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | | | | | | 0.5~1.5mm灰白色、灰白色 透明で光る透明を含む 黒色透明で光る、1mm以下 を含む | (5YR 7/6) | (7.5YR 7/6) | 良好 | | | | | |
| 413 | b-1 | 底 部 | ヨコナ デ | ナ デ | | | | | | 1mm以下の淡黄色、 白で光る透明を含む 黒色透明で光る、1mm以下 を含む | (5YR 7/3) | (5YR 7/6) | 良好 | | | | | |
| 414 | a-2 | 底 部 | ナ デ | —— | | | | | | 0.5~1.5mm以下の灰白色、 青色の透明を多く含む ガラス質に光る粒を多く含 む | (10YR 6/4) | (10YR 4/3) | 良好 | | | | | |
| 415 | n-2 | 底 部 | 「貝殻条紋 (鉛方 向)」 | ナ デ | | | | | | 0.5~1mm以下の灰白色、 青色透明で光る透明 を含む | (7.5YR 6/3) | (10YR 4/1) | 良好 | | | | | |
| 416 | a-2 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | | | | | | 0.5~1.5mm以下の灰白色、 青色透明で光る透明 を含む | (10YR 6/4) | (10YR 6/6) | 良好 | | | | | |
| 417 | a-2 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | | | | | | 0.5~1.5mm以下の灰白色、 青色透明で光る透明 を含む | (7.5YR 6/3) | (10YR 3/1) | 良好 | | | | | |
| 418 | a-1 | 底 部 | 相 い ナ デ | ヨコナ デ | | | | | | 1mm以下の白、赤、こげ茶 色で光る透明を含む 黒色で光る、金黄色透明 を含む | (5YR 5/8) | (5YR 5/8) | 明治期 (5YR 5/8) | 良好 | 粘土のたるみ | | | |
| 419 | 壤 土 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | | | | | | 1mm以下の黒色、半透明の少 量を含む | (5YR 7/6) | (5YR 7/6) | 良好 | | | | | |
| 420 | a-1 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | | | | | | 1mm以下の黒色、半透明の少 量を含む | (5YR 6/6) | (5YR 6/6) | 良好 | | | | | |
| 421 | a-1 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | | | | | | 0.5~1.5mm以内の灰白色 透明、黑色透明の砂粒を含 む | (7.5YR 7/6) | (7.5YR 7/4) | 良好 | | | | | |
| 422 | b-3 | 底 部 | ナ デ | ナ デ | | | | | | 1~2mmで厚い当透明、 黒色で光る砂粒を含む | (5YR 6/6) | (7.5YR 7/6) | 良好 | | | | | |

| 番号 | 地区名(通称名) | 分類 | 測定元口 径(cm) | 器皿 番号 | 表 | 裏 | 底 | 面 | 表 | 裏 | 底 | 土 | 茎 | 葉 | 花 | 果 | 地成 分 | 備 考 |
|-----|----------|---------|---------------|-----------------------|-------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|---------|--------|
| | | | | | 英 | 中 | 文 | 韓 | 英 | 中 | 底 | 土 | 茎 | 葉 | 花 | 果 | 地成 分 | 備 考 |
| 423 | a-1 | 底 深 | — | — | | | | | | | | | | | | | | |
| 424 | a-2 | 底 常 | — | ナ デ | 耐 代 | | | | | | | | | | | | | |
| 425 | d-2 | 底 (9.6) | ヨコナデ | — | | | | | | | | | | | | | | |
| 426 | b-2 | 底 脊 | ナ デ | — | | | | | | | | | | | | | | |
| 427 | a-2 | 底 常 | ナ デ | ナ デ | | | | | | | | | | | | | | |
| 428 | a-1 | 底 深 | ナ デ | ナ デ | | | | | | | | | | | | | | |
| 429 | a-2 | 底 常 | — | ナ デ | | | | | | | | | | | | | | |
| 430 | SE-2 | 底 深 | ナ デ | ナ デ | | | | | | | | | | | | | | |
| 431 | c-2 | 底 常 | (7.2) | ナ テ ナナメナナ ナナメナテ | 月像条板 (鏡の上)を ナナメナテ | | | | | | | | | | | | | |
| 432 | c-2 | 底 常 | (15.4) | ヨコナデ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ | ナ デ |
| 433 | a-3 | 底 深 | (6.5) | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ | ナ テ |
| 434 | a-1 | 底 深 | — | ナ テ | | | | | | | | | | | | | | |
| 435 | a-2 | 底 常 | ナ テ | ナ テ | | | | | | | | | | | | | | |
| 436 | a-2 | 底 深 | ナ テ | ナ テ | | | | | | | | | | | | | | |

16は13.0gと最小重量であり、3条の幅広の凹線を有する洞部片で、不定形を呈している。17は椭円形に整形しているが、半分欠如している。

(4) 石器（第27～41図）

二次調査では石器が調査区の北部のa-2・3区、c-2区から集中して出土した。その30点の内訳は磨石・敲石が12点（29.3%）、石錐が11点（26.8%）、石皿が9点（22.0%）、磨製石斧が7点（17.1%）であり、打製石鎌・切目石錐を欠如している。それに対して一次調査では石錐が12点（42.9%）、磨石が7点（25.0%）、石皿が5点（17.9%）、磨製石斧が4点（14.3%）が出土しており、同様なあり方を示している。両方を合計すると石錐が23点（33.5%）、磨石・敲石が19点（27.5%）、石皿が14点（20.3%）、磨製石斧が11点（15.9%）の計67点である。石器組成の特徴としては、磨製石斧が多く扁平打製石斧は全く出土していない点、磨石の量が多い点、石錐では切り目石錐の欠如などである。

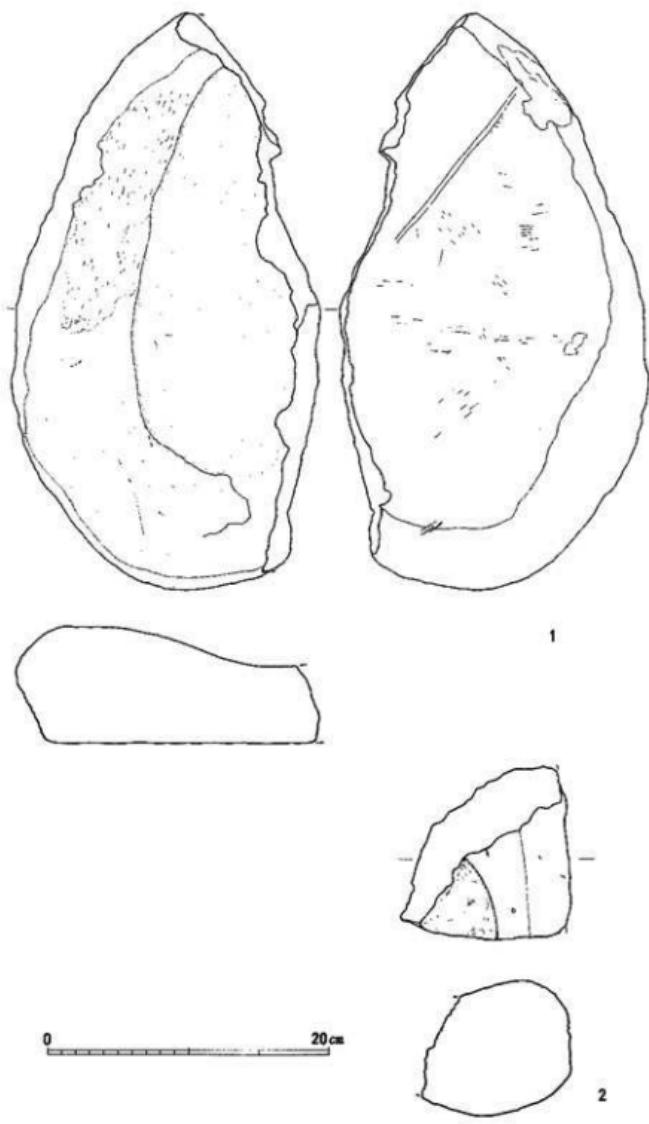
ここでは二次調査分の石器（1～44）と『崩野遺跡』報告書で未報告の一次調査分の石器（101～130）と一緒に述べることにする。

1 石皿（第27～30図1～9、第36～38図101～105）

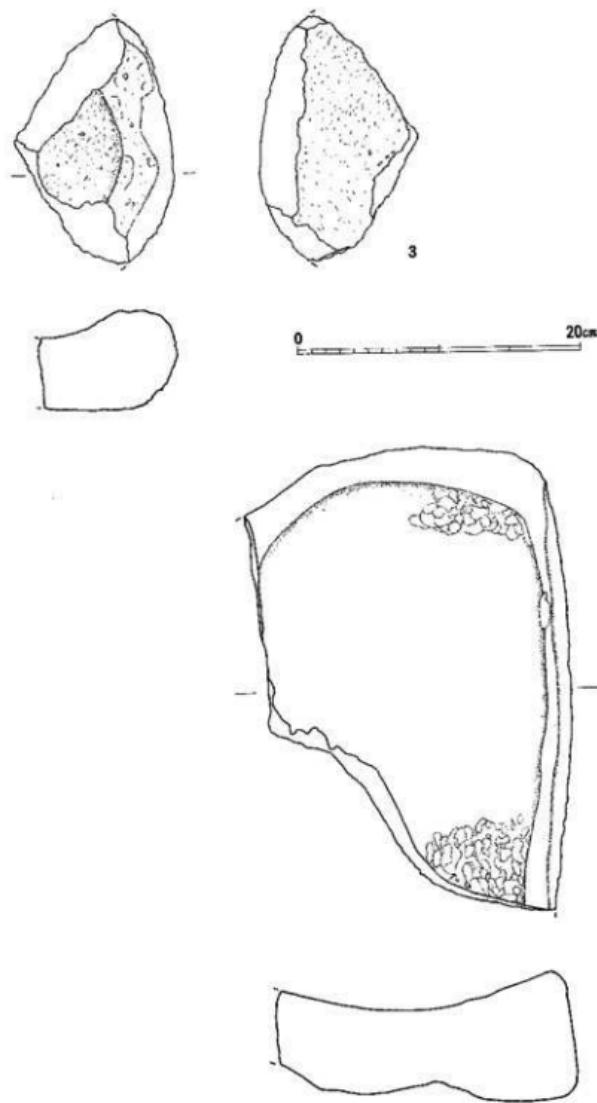
二次調査分の石皿は石器全体の22.0%の9点が、一次調査分は17.9%の5点が出土している。両方を合計すると石器全体の20.3%の14点である。石材は砂岩が9点（64.3%）、溶結凝灰岩が5点（35.7%）である。石皿は形態によって次のように分かれる。

石皿1a類は縁を残して中央の使用面が弓状に緩く窪み、全体が椭円形に近い形のものである（1～3・7・9・103・104）。S E I出土の1は半分欠如しており、長さ41.2cm+α、幅27.3cm+α、縁部の厚さ8.4cm、凹み部の厚さ5.5cm、重さ10.5kg+αである。底面は平坦に研磨しており、縁も一部平坦に研磨している。S I 4出土の2は六分の一ほど残存しており、長さ12.0cm+α、幅12.1cm+α、縁部の厚さ9.0cm、重さ1.2kg+αである。S I 4出土の3は五分の一ほど残存しており、長さ17.4cm+α、幅11.2cm+α、縁部の厚さ7.0cm、凹み部の厚さ5.1cm、重さ1.35kg+αである。底面は平坦である。S I 7出土の7は五分の一ほど残存しており、長さ15.1cm+α、幅10.5cm+α、縁部の厚さ7.4cm、凹み部の厚さ5.4cm、重さ1.55kg+αである。S I 1出土の9は半分欠如しているが、長さ27.3cm+α、幅11.3cm+α、縁部の厚さ6.6cm、凹み部の厚さ5.2cm、重さ2.15kg+αである。底面も研磨している。石材は1・9が砂岩、2・3・7が溶結凝灰岩である。一次調査分の103は半分欠如しており、長さ40.3cm、幅16.4cm+α、縁部の厚さ8.4cm、凹み部の厚さ6.5cm、重さ10.0kg+αである。凹み部の片方は3.8cmと深く、椭円形の両短辺は直線的で、片方は研磨している。104は四分の一ほど残存しており、長さ27.5cm+α、幅12.3cm+α、縁部の厚さ8.0cm、凹み部の厚さ5.0cm、重さ2.75kg+αである。石材は104が砂岩、103が溶結凝灰岩である。

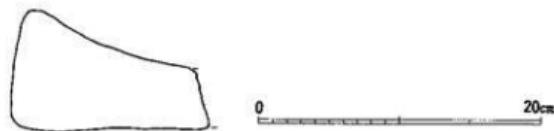
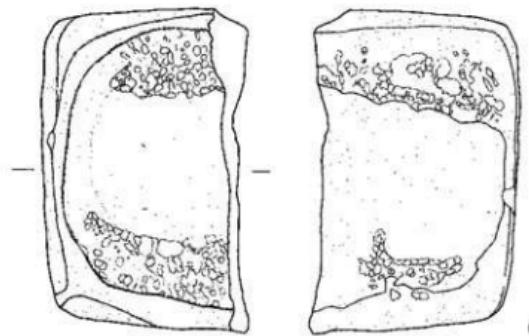
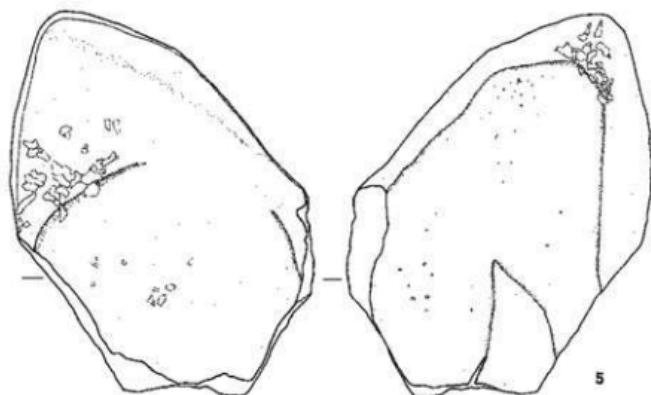
石皿1b類は縁を残して中央の使用面が弓状に緩く窪み、全体が長方形に近い形のものである

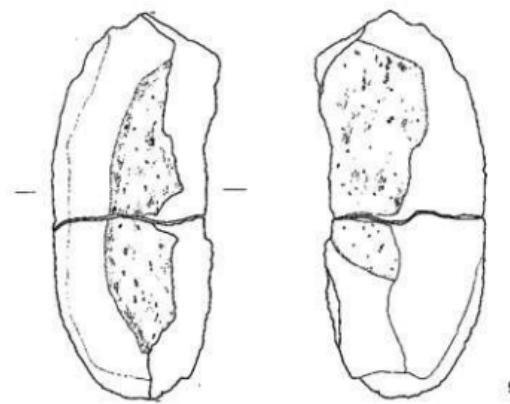
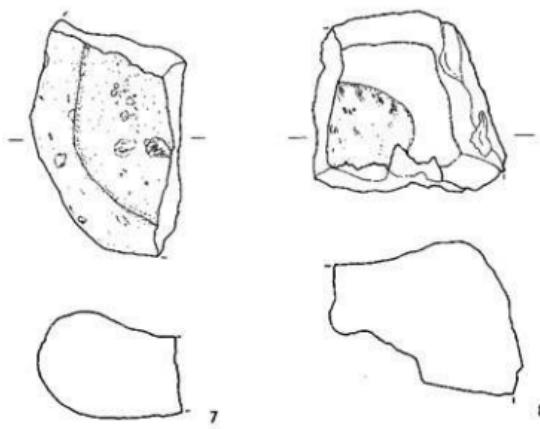


第27図 石器実測図(Ⅰ)



第28図 石器実測図 (II)





第30図 石器実測図 (IV)

(4・6・8)。4は三分の一ほど欠如しており、長さ32.9cm+ α 、幅21.5cm+ α 、縁部の厚さ9.0cm、凹み部の厚さ6.0cm、重さ9.0kg+ α である。縁部の幅は1.5cm~2.0cmと短く、側面は直線的に立ち上がる。S I 6出土の6は半分が欠如しているが、凹み部の深さが3.7cmと非常に深く、長さ14.0cm+ α 、幅22.4cm+ α 、縁部の厚さ8.5cm、凹み部の厚さ4.3cm、重さ4.55kg+ α である。2側面と1端面とも直線的に立ち上がり、1側面と底面には研磨痕が明瞭に残っている。S I 12出土の8は六分の一ほど残存しており、長さ12.5cm+ α 、幅13.7cm+ α 、縁部の厚さ10.6cm、凹み部の厚さ5.0cm+ α 、重さ1.8kg+ α である。石材は4・6が砂岩、8が溶結凝灰岩である。

石皿I c類は縁を残して中央の使用面が弓状に緩く産み、全体が不定形のものである(5・102)。S I 5出土の5は三分の一ほど欠如しているが、長さ27.3cm+ α 、幅21.6cm+ α 、縁部の厚さ8.0cm、凹み部の厚さ2.9cm、重さ5.5kgである。両面とも使用面が弓状に産むために凹み部の厚さが2.9cmと非常に薄くなっている。石材は砂岩である。一次調査のS A I出土の102は一部欠如しており、長さ41.0cm、幅27.5cm、縁部の厚さ10.0cm、凹み部の厚さ4.8cm、重さ14.0kg+ α である。凹み部は4.2cmと深く、石材は砂岩である。

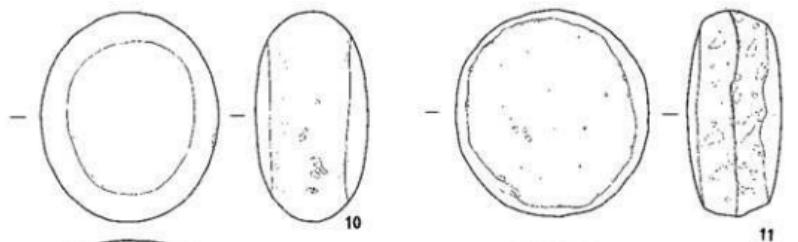
石皿II類は全体に浅く凹み、割石を利用したものである(105)。一次調査のS I 1出土の105は四分の一ほど残存しており、長さ22.2cm+ α 、幅19.9cm+ α 、厚さ6.7cm、重さ3.75kg+ α である。研磨した部分と敲打した部分があり、石材は砂岩である。

石皿III類は縁を残して中央の使用面が弓状に緩く凹み、一方の縁がなく、掃き出し口としたものである(101)。一次調査分の101は半分欠如しており、長さ43.0cm、幅23.5cm+ α 、縁部の厚さ8.5cm、凹み部の厚さ5.5cm、重さ15kg+ α である。石材は砂岩である。

2 磨石・敲石(第31~32図10~18・第39~40図106~112)

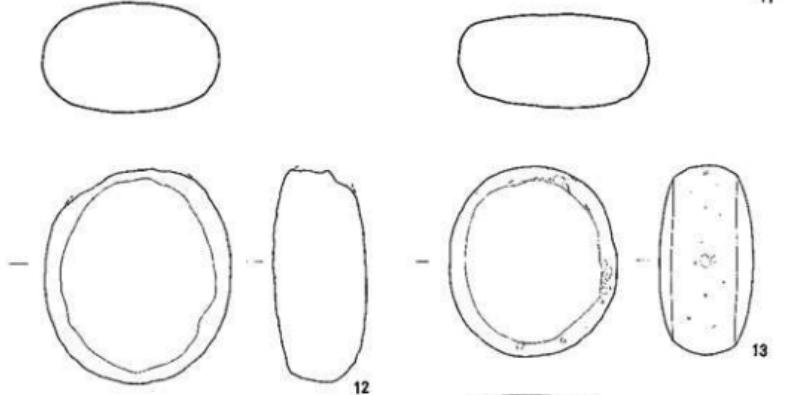
表裏面は研磨して磨石として、側面は敲打して敲石としても利用している。一次調査では石器全体の25.0%の11点が、二次調査では25.0%の6点が出土している。両方を合計すると23.0%の17点である。石材は111の溶結凝灰岩を除くとすべて砂岩である。砂岩の中には12・17・112のように表面がざらざらして脆いタイプのものがある。磨石は形態によって次のように分かれる。

磨石Aは長さと幅がほぼ等しく、平面形は円形で、断面は梢円形である(11~18・20・106~110)。大きさは長さ10.1cm~11.6cm、幅8.9cm~10.4cm、厚み4.6cm~5.2cm、重さ600g~1050gであり、平均は長さ11.0cm、幅9.9cm、厚み5.2cm、重さ849gである。11はS I 8から出土した完形品で、長さ11.0cm、幅10.3cm、厚み5.2cm、重さ900gである。S I 11出土の12は完形品で、長さ11.5cm、幅9.9cm、厚み4.9cm、重さ600gである。表面がざらざらして脆い砂岩である。表裏面とも全面研磨して平坦になっており、側面も全面敲打している。c-1区出土の13は完形品で、長さ10.1cm、幅8.9cm、厚み4.9cm、重さ696gである。14は二か所欠如しており、長さ11.4cm+ α 、幅10.9cm、厚み5.1cm、重さ800g+ α である。表裏面とも全面研磨しており、片面は平



10

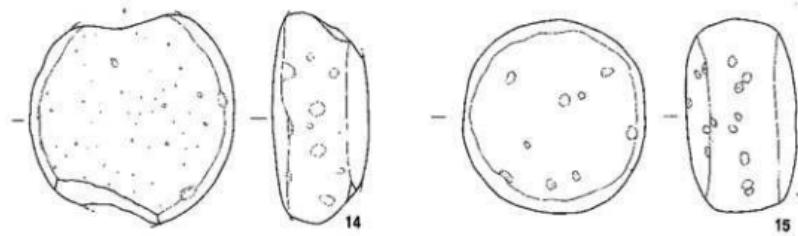
11



12

13

0 10cm



14

15



第31図 石器実測図 (V)

坦である。側面は部分的に敲打している。15はS E 1から出土した完形品で、長さ10.3cm、幅9.6cm、厚み5.7cm、重さ850gである。16もS I 1から出土しているが、半分欠如しており、長さ9.2cm、幅4.5cm+ α 、厚み4.6cm、重さ310g+ α である。C-2区出土の17は12と同質の砂岩で四分の一だけ残存している。表裏面とも研磨しており、側面は敲打している。a-3区出土の18は半分欠如しており、長さ10.9cm、幅6.3cm+ α 、厚み6.1cm、重さ570g+ α である。表裏面とも全面研磨しており、側面は部分的に敲打している。S I 3出土の20は四分の一ほど欠如しており、長さ10.9cm、幅7.0cm+ α 、厚み7.0cm、重さ850gである。11~13・15・16・20は表裏面とも全面研磨しており、側面も全面に敲打している。11・13~16・18~20はすべて砂岩である。一次調査分の106は完形品で、長さ10.9cm、幅9.6cm、厚み5.4cm、重さ1050gである。107は完形品で、長さ10.8cm、幅10.3cm、厚み5.6cm、重さ1000gである。表裏面とも全面研磨しているが、側面は8割ほど敲打している。108は完形品であり、長さ11.6cm、幅10.2cm、厚み4.9cm、重さ900gである。表裏面とも全面研磨しているが、側面は全面敲打している。109は一部欠如しており、長さ9.5cm、幅9.2cm、厚み4.9cm、重さ634g+ α である。表裏面とも全面研磨しており、側面も全面敲打している。110は完形品で、長さ11.3cm、幅10.4cm、厚み4.6cm、重さ782gである。表裏面の片面は敲打しており、もう片面は平坦に研磨している。側面は全面に敲打している。106・108・109は表裏面とも全面研磨しており、側面も全面敲打している。106~110はすべて砂岩である。

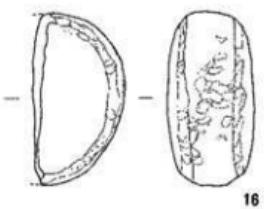
磨石Bは長さと幅の比が4:3で、平面形が梢円形である(10・21・111・112)。a-2区出土の10は完形品で、長さ10.1cm、幅7.5cm、厚み6.0cm、重さ700gである。表裏面とも全面研磨しており、側面には僅かに敲打の痕跡がある。d-4区出土の21は表面が部分的に剝落しており、長さ10.1cm、幅7.2cm、厚み6.4cm、重さ606gである。表裏面とも全面研磨しており、二つの頭部は敲打している。10・21の石材は砂岩である。一次調査分の111は完形品で、長さ12.0cm、幅9.2cm、厚み5.4cm、重さ1000gである。表裏面・側面とも全面に研磨している。112は側面の3分の1が欠如し、表裏面の片面が剝落している。長さ13.4cm、幅10.1cm、厚み5.2cm、重さ500gである。片面は全面研磨している。石材は111は溶結凝灰岩、112は表面がざらざらした弱い砂岩である。

3 敲石(第32図19)

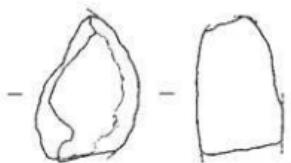
敲石は石器全体の1.5%の1点が出土しているが、磨石と共に12点を加えると19.4%の13点である。

敲石Aは長さと幅がほぼ等しく、平面形が円形で、断面形は梢円形である(19)。S I 4出土の19は半分欠如しており、長さ10.2cm、幅6.2cm+ α 、厚み6.1cm、重さ518g+ α である。表裏面とも全面に敲打しており、片面は平坦である。側面も全面に敲打しており、石材は砂岩である。

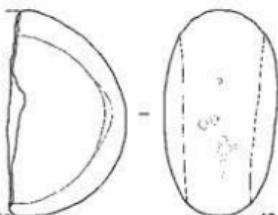
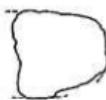
4 磨製石斧(第33図22~28・第40図113~118)



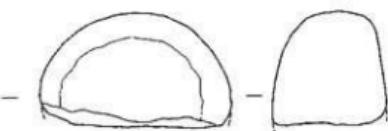
16



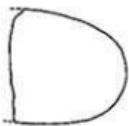
17



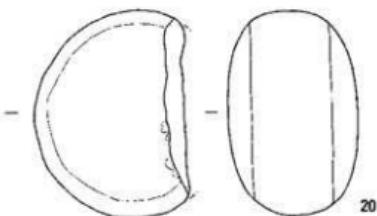
18



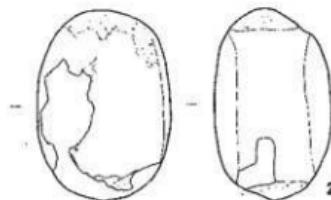
19



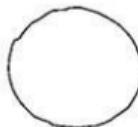
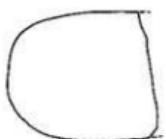
0 10cm



20



21



第32図 石器実測図（VI）

磨製石斧は二次調査では石器全体の17.1%の7点が出土している。一方、一次調査では14.3%の4点が出土している。ほぼ同様なあり方を示している。両方を合計すると11点の15.9%である。石材は119の砂岩が1点、24の溶結凝灰岩が1点であり、不明の石材は28・113・114のグループ、23・115・117のグループ、25・118のグループに分かれる。磨製石斧は形態によって次のように分かれる。

石斧Aは基端部と刃部幅がほぼ等しく、断面形が横円形の厚手のタイプである(22)。a-3区出土の22は基端部と刃部を欠如しており、長さ9.5cm+ α 、幅6.9cm、厚み3.6cm、重さ356g+ α である。側面は平坦に仕上げている。

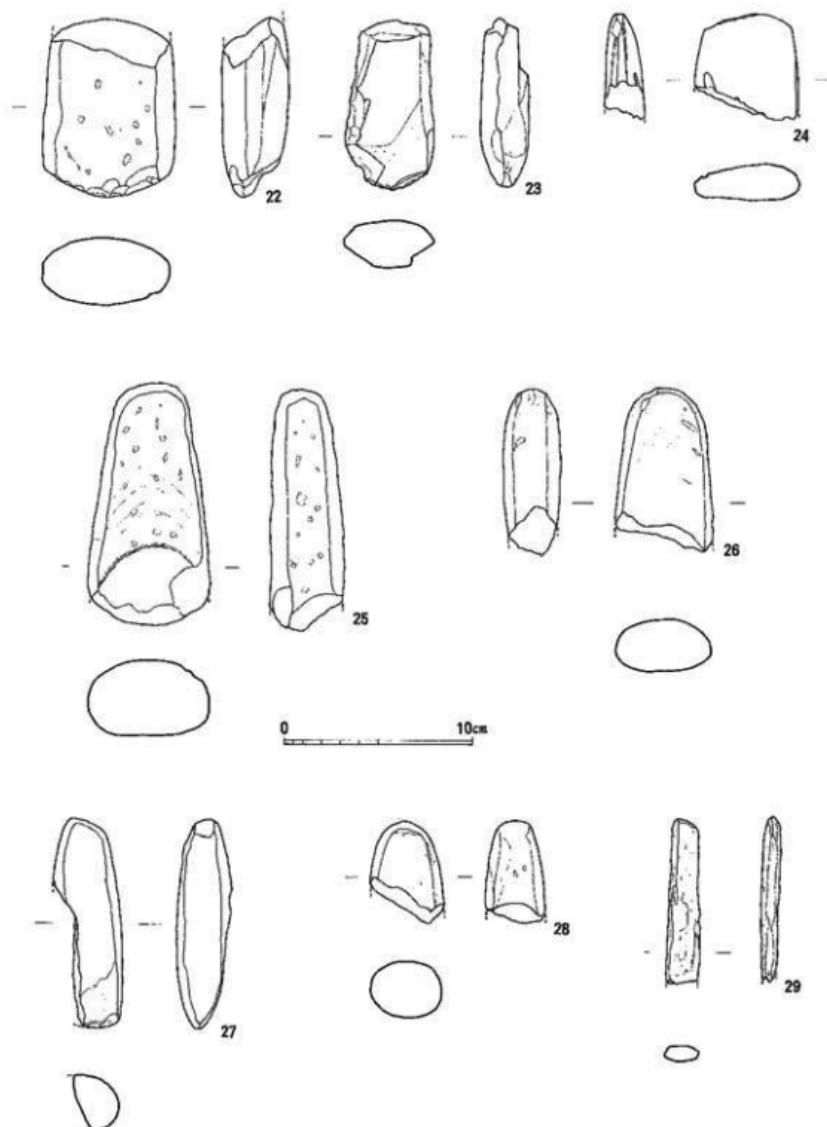
石斧Bは基端部幅と刃部幅がほぼ等しく、断面形が横円形の薄手のタイプである(23・24・114)。a-3区出土の23は基端部が欠け、刃部は半分ほど欠如している。長さ13.9cm+ α 、幅4.8cm、厚み2.5cm、重さ138g+ α である。表裏面とも全体的に風化しているが、片面の刃部付近の研磨の痕跡が良く残っている。a-3区出土の24は刃部を欠如しているが、長さ4.8cm+ α 、幅5.5cm、厚み1.9cm、重さ90g+ α である。側面と基端部端面は平坦に仕上げ、全面研磨している。石材は24が溶結凝灰岩である。一次調査の114は刃部を若干欠如しているが、ほぼ完形である。長さ8.6cm、幅3.7cm、厚み1.5cm、重さ72gである。両刃で、全面研磨している。

石斧Cは基端部幅と刃部幅が1:2となり、側面を平坦に仕上げており、断面形が横円形のタイプである(25・26・28)。25は刃部を欠如しており、断面形は側面を平坦に仕上げている。長さ12.8cm+ α 、幅6.5cm、厚み4.0cm、重さが516g+ α である。全面風化が著しい。26は基端部のみで、刃部を大きく欠如している。長さ8.7cm+ α 、幅5.3cm、厚み2.8cm、重さ178g+ α である。28は基端部のみで、長さ5.5cm+ α 、幅3.8cm、厚み2.9cm、重さ86g+ α である。石材は26が砂岩である。一次調査の115は刃部を欠如しており、長さ5.8cm+ α 、幅3.2cm、厚み1.4cm重さ38g+ α である。全面研磨している。

石斧Dは基端部と刃部幅がほぼ等しく、断面形が横円形の細身のタイプである(27)。a-3区出土の27は刃部を半分ほど欠如しており、長さ11.0cm、幅2.5cm+ α 、厚み2.9cm、重さ133g+ α である。

石斧Eは基端部と刃部幅がほぼ等しく、側面を平坦に仕上げるために断面形が長方形状を呈している(113)。一次調査の113は刃部を欠如しており、長さ9.1cm+ α 、幅3.0cm、厚み2.5cm、重さ110g+ α である。片面はかなり風化しているが、ほぼ全面研磨している。

石斧Fは基端部が細く丸く、刃部幅も狭い乳棒状石斧のタイプである(116~118)。一次調査の116は完形で、長さ19.6cm、幅6.6cm、厚み2.4cm、重さ416gである。側面は打ち欠いたままで、表裏面は全面研磨している。叩くと金属音がする石材であるが、石材の種類は不明である。117は刃部を欠如しており、長さ9.5cm+ α 、幅4.2cm、厚み3.0cm、重さ140g+ α である。全面風化している。118は尖頭の基端部のみで、長さ7.7cm+ α 、幅3.4cm、厚さ2.7cm、重さ65



第33図 石器実測図 (VII)

$g + \alpha$ である。

5 石錐（第34～35図30～40・第41図119～130）

二次調査の石錐は石器全体の26.8%の11点が出土している。一方、一次調査では42.9%の12点が出土している。両方を合計すると33.3%の23点が出土している。石錐の内訳はすべて打ち欠き石錐で、切り目石錐はない。石材もすべて砂岩である。

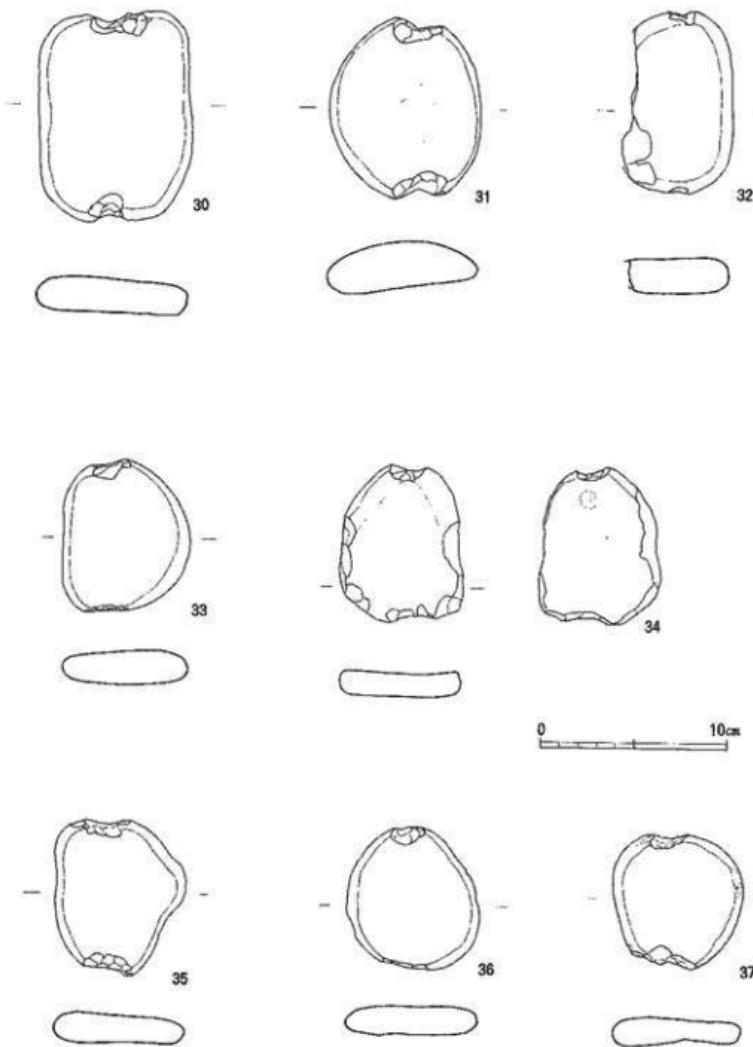
川原石の打ち欠き石錐は、長軸方向に打ち欠きを入れているA類と短軸方向に入れているB類がある。A類は長さと幅がほぼ1:1のAa類（31・35・36・37・40・119・120・127）、ほぼ4:3のAb類（30・32・33・34・38・39・122～126）、ほぼ3:2のAc類（128）に分かれれる。B類は長さと幅がほぼ1:1のBa類（121・129・130）のみである。

Aa類 a-2区出土の31は平面が梢円形の円錐に打ち欠きを入れており、長さ9.2cm、幅8.1cm、厚み2.9cm、重さ268gである。S I 1出土の35は五角形状の円錐で、長さ8.3cm、幅7.1cm、厚み1.7cm、重さ136gである。d-2区出土の36は梢円形の円錐で、長さ7.6cm、幅7.1cm、厚み1.6cm、重さ120gである。c-2区出土も37は梢円形の円錐で、長さ7.0cm、幅7.0cm、厚み1.5cm、重さ102gである。a-3区出土の40は長方形の円錐で、長さ8.0cm、幅7.0cm、厚み1.8cm、重さ160gである。一次調査分の119は梢円形の円錐で一部欠如している。長さ8.6cm、幅8.1cm、厚み2.1cm、重さ210g+ α である。120は円形の円錐で、長さ7.5cm、幅7.4cm、厚み2.6cm、重さ182gである。127は梢円形の円錐で、長さ7.6cm、幅6.4cm、厚み1.7cm、重さ124gである。

Ab類 a-1区出土の30は長方形の円錐で、長さ11.2cm、幅8.3cm、厚み1.8cm、重さ314gであり、二次調査分の中では最大の重量である。a-3区出土の32は梢円形の円錐で一部欠如している。長さ9.7cm、幅6.0cm+ α 、厚み2.0cm、重さ171g+ α である。33は半円形の円錐で、長さ8.1cm、幅6.8cm、厚み1.8cm、重さ146gである。d-1区出土の34は不定形の円錐で、長さ8.4cm、幅6.7cm、厚み1.3cm、重さ140gである。c-2区出土の38は梢円形の円錐であるが、一部欠如している。長さ7.1cm、幅5.5cm、厚み1.5cm、重さ74g+ α である。c-2区出土の39は梢円形の円錐で、長さ5.7cm、幅4.1cm、厚み1.1cm、重さ38gであり、二次調査分では最小の重量である。一次調査分の122は五角形の円錐で、長さ7.0cm、幅5.6cm、厚み1.2cm、重さ84gである。123は長方形の円錐で、長さ9.9cm、幅7.1cm、厚み1.8cm、重さ210gである。124は梢円形の円錐で、長さ8.9cm、幅7.2cm、厚み2.0cm、重さ191gである。125は長方形の円錐で、長さ8.5cm、幅6.6cm、厚み1.5cm、重さ150gである。126は梢円形の円錐で、長さ8.1cm、幅6.1cm、厚み2.4cm、重さ148.5gである。

Ac類 一次調査分の128は梢円形の円錐で、長さ8.0cm、幅5.4cm、厚み2.7cm、重さ155gである。

Ba類 一次調査分の121は円形の円錐で、長さ7.1cm、幅7.5cm、厚み2.2cm、重さ147gで



第34図 石器実測図 (V III)

ある。129は椭円形の円盤で、長さ9.3cm、幅7.6cm、厚み2.5cm、重さ233gである。130は椭円形の円盤で、長さ8.7cm、幅7.0cm、厚み1.8cm、重さ131gである。

6 橢状石器（第33図29）

楢状石器は石器全体の1.5%の1点が出土している。

c - 2区出土の29は基礎部幅と刃部幅がほぼ等く、側面を平坦にしているので断面が長方形である。長さ8.7cm、幅1.8cm、厚み0.8cm、重さ24g + α である。

7 石匙（第35図41）

c - 2区出土の41は握りを1つ有する石匙である。断面はレンズ状を呈している。長さ8.2cm + α 、幅7.0cm、厚み2.4cm、重さ72gである。石材は頁岩である。

8 円盤形石器（第35図42）

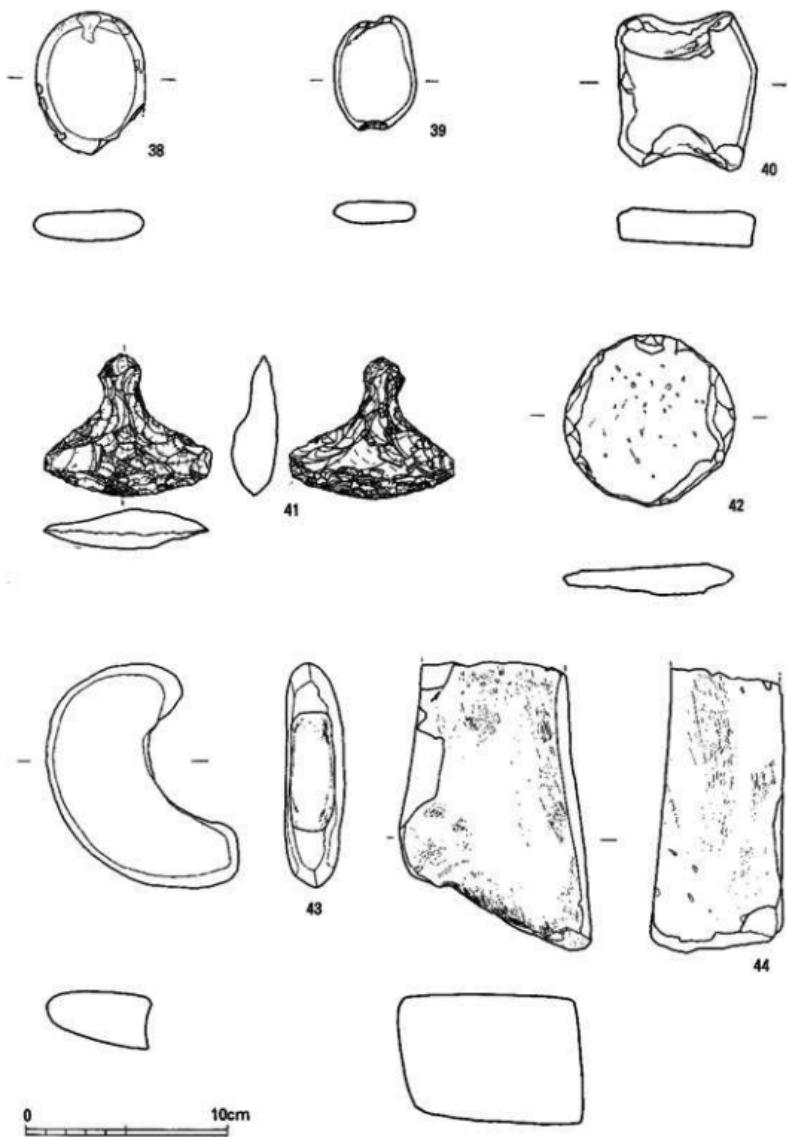
c - 1区出土の42は砂岩の周縁部を円形に打ち欠いており、表面は平坦であるが、裏面は剥落している。直径8.5cm、厚さ1.4cm、重さ126g + α である。

9 勾玉状石器（第35図43）

S I 2出土の43は勾玉状の石器である。

10 砥石（第35図44）

d - 4区出土の44は表・裏面及び両側面ともに使用しており、半分を欠如している。長さ14.2cm + α 、幅9.2cm、厚み6.2cm、重さ1300gである。石材は砂岩である。

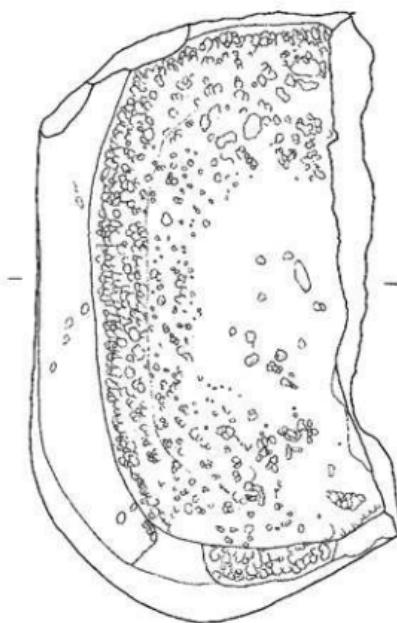


第35図 石器実測図（IX）

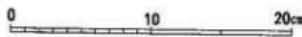
第4表 崩野遺跡二次調査出土石器計測表

| 番号 | 器種 | グリット | 最大長(cm) | 最大幅(cm) | 最大厚(cm) | 重量(g) | 石質 | 備考 |
|----|------|--------|---------|---------|---------|--------|-------|--------------|
| 1 | 石皿 | S E 1 | 41.2 | 27.3 | 8.4 | 10,500 | 砂岩 | |
| 2 | 石皿 | S I 4 | 11.2+α | 11.4+α | 9.2 | 1,200 | 溶結凝灰岩 | |
| 3 | 石皿 | S I 4 | 17.4+α | 11.2+α | 7.0 | 1,350 | 溶結凝灰岩 | |
| 4 | 石皿 | | 32.9+α | 21.5+α | 8.9 | 9,000 | 砂岩 | |
| 5 | 石皿 | S I 5 | 27.3 | 21.6 | 8.4 | 5,500 | 砂岩 | |
| 6 | 石皿 | S I 6 | 22.4 | 14.0+α | 8.4 | 4,550 | 砂岩 | |
| 7 | 石皿 | S I 7 | 15.1+α | 10.5+α | 7.2 | 1,550 | 溶結凝灰岩 | |
| 8 | 石皿 | S I 12 | 13.4+α | 12.9+α | 11.1 | 1,300 | 溶結凝灰岩 | |
| 9 | 石皿 | S I 1 | 27.3+α | 11.3+α | 6.7 | 2,150 | 砂岩 | |
| 10 | 磨石 | a-2 | 10.1 | 9.5 | 6.0 | 700 | 砂岩 | 敲石として も使用 |
| 11 | 磨石 | S I 8 | 11.0 | 10.3 | 5.2 | 900 | 砂岩 | " |
| 12 | 磨石 | S I 1 | 11.5 | 9.9 | 4.9 | 600 | 砂岩 | " |
| 13 | 磨石 | c-1 | 10.1 | 8.9 | 4.9 | 696 | 砂岩 | " |
| 14 | 磨石 | | 10.0+α | 10.9 | 5.05 | 800 | 砂岩 | " |
| 15 | 磨石 | | 10.3 | 9.6 | 5.7 | 850 | 砂岩 | " |
| 16 | 磨石 | | 9.2 | 4.5+α | 4.6 | 310 | 砂岩 | " |
| 17 | 磨石 | c-2 | 7.8+α | 5.5+α | 4.6 | 166 | 砂岩 | " |
| 18 | 磨石 | a-3 | 10.9 | 6.3+α | 6.1 | 570 | 砂岩 | " |
| 19 | 敲石 | S I 4 | 10.2 | 6.2+α | 6.05 | 518 | 砂岩 | " |
| 20 | 磨石 | S I 3 | 10.9 | 7.0+α | 7.0 | 850 | 砂岩 | " |
| 21 | 磨石 | a-4 | 10.1 | 7.2 | 6.4 | 606 | 砂岩 | " |
| 22 | 磨製石斧 | a-3 | 9.5 | 6.9 | 3.6 | 356 | | ホルンフェルス? |
| 23 | 磨製石斧 | a-3 | 13.9 | 4.8 | 2.5 | 138 | | ホルンフェルス? |
| 24 | 磨製石斧 | a-3 | 4.8+α | 5.5 | 1.9 | 90 | 溶結凝灰岩 | |
| 25 | 磨製石斧 | | 12.8 | 6.5 | 3.95 | 516 | | ホルンフェルス? |
| 26 | 磨製石斧 | | 8.7+α | 5.3 | 2.8 | 178 | 砂岩 | |
| 27 | 磨製石斧 | a-3 | 11 | 2.5+α | 2.9 | 133 | | ホルンフェルス? |
| 28 | 磨製石斧 | | 5.5+α | 3.8 | 2.9 | 86 | | ホルンフェルス? |
| 29 | 盤状石器 | c-2 | 8.7+α | 1.8 | 0.8 | 24 | 頁岩 | |
| 30 | 石錐 | d-2 | 11.2 | 8.3 | 1.85 | 314 | 砂岩 | |

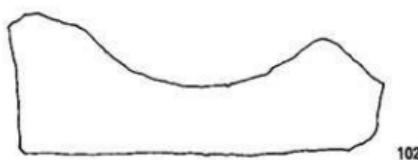
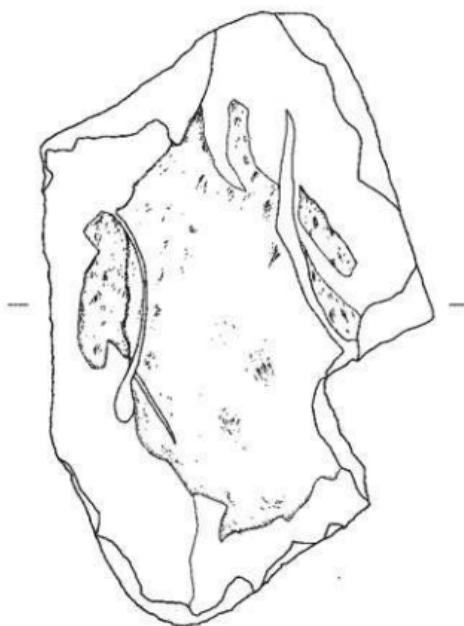
| 番号 | 器種 | グリット | 最大長(cm) | 最大幅(cm) | 最大厚(cm) | 重量(g) | 石質 | 備考 |
|----|-----------|-------|---------|---------|---------|-------|----|----|
| 31 | 石鍤 | a-2 | 9.2 | 8.1 | 2.9 | 268 | 砂岩 | |
| 32 | 石鍤 | a-3 | 9.7 | 6.0+α | 2.0 | 171 | 砂岩 | |
| 33 | 石鍤 | | 8.1 | 6.8 | 1.8 | 146 | 砂岩 | |
| 34 | 石鍤 | d-1 | 8.4 | 6.7 | 1.3 | 140 | 砂岩 | |
| 35 | 石鍤 | S 1 1 | 8.3 | 7.1 | 1.7 | 136 | 砂岩 | |
| 36 | 石鍤 | d-2 | 7.6 | 7.1 | 1.6 | 120 | 砂岩 | |
| 37 | 石鍤 | c-2 | 7.0 | 7.0 | 1.5 | 102 | 砂岩 | |
| 38 | 石鍤 | c-2 | 7.1+α | 5.5 | 1.5 | 74 | 砂岩 | |
| 39 | 石鍤 | c-2 | 5.7 | 4.1 | 1.1 | 38 | 砂岩 | |
| 40 | 石鍤 | a-3 | 8.0 | 7.0 | 1.8 | 160 | 砂岩 | |
| 41 | 石匙 | c-2 | 8.2 | 7.0 | 2.4 | 72.0 | 頁岩 | |
| 42 | 凹板状器 石 | c-1 | 8.5 | 8.4 | 1.4 | 126 | 砂岩 | |
| 43 | 勾玉状器 石 | S 1 2 | 11.5 | 5.2 | 2.7 | 270 | 砂岩 | |
| 44 | 砥石 | d-4 | 14.2+α | 9.2 | 6.2 | 1,300 | 砂岩 | |



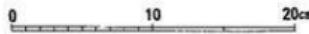
101



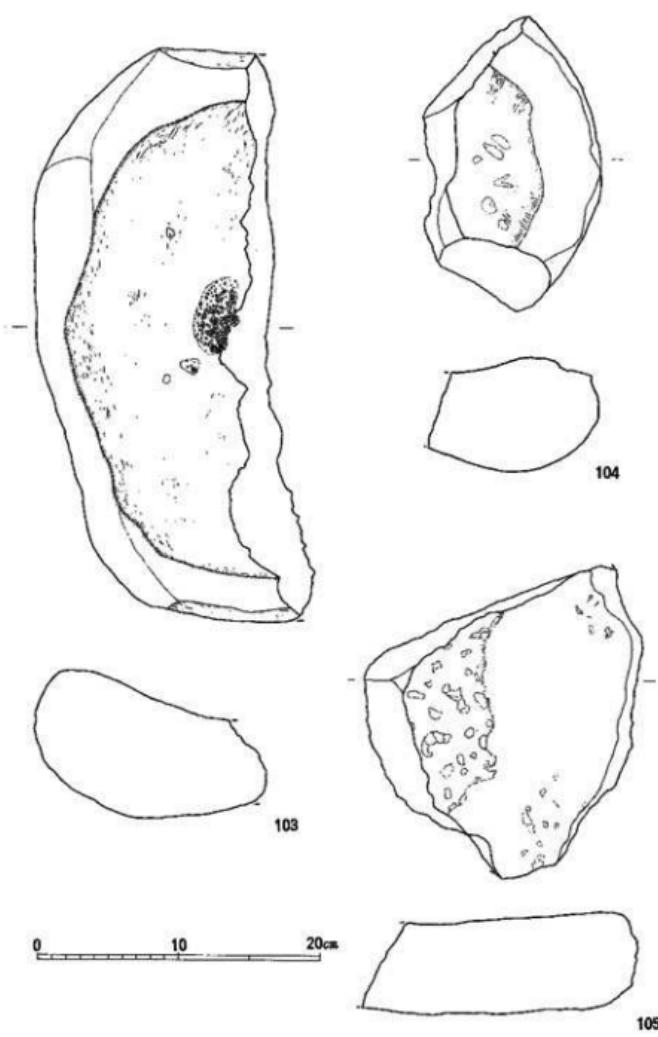
第36図 石器実測図(X)（一次調査分）



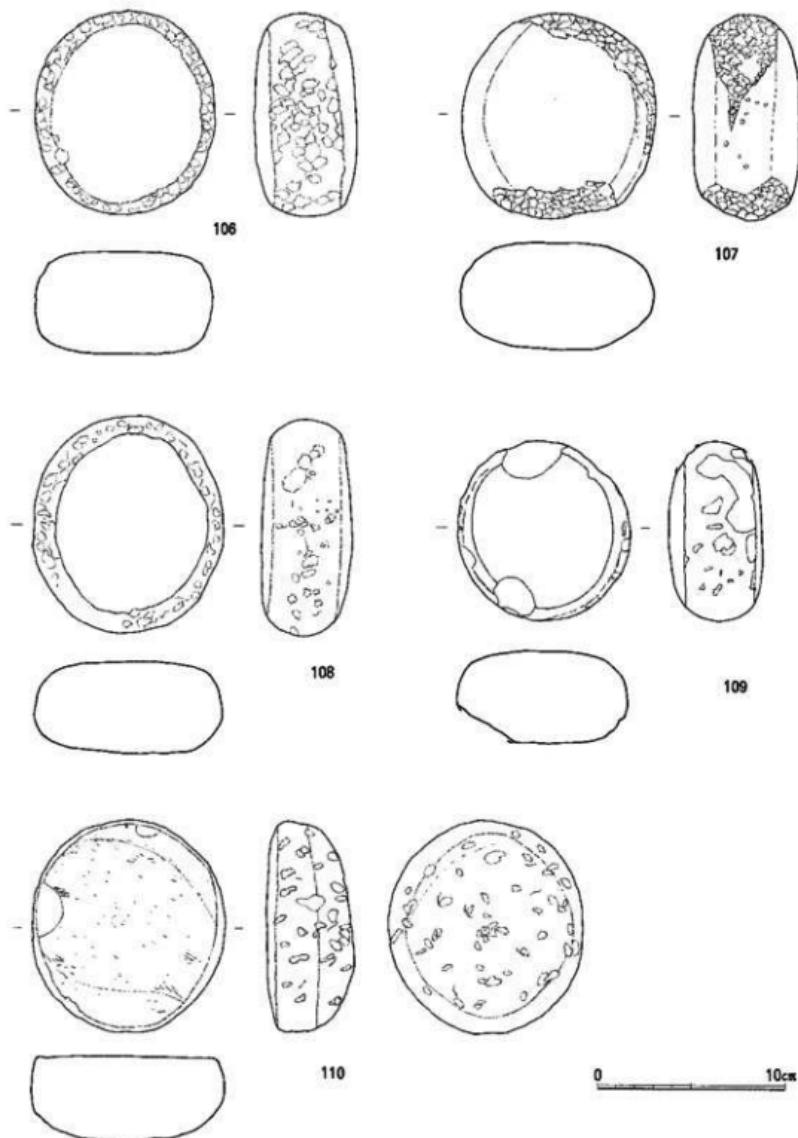
102



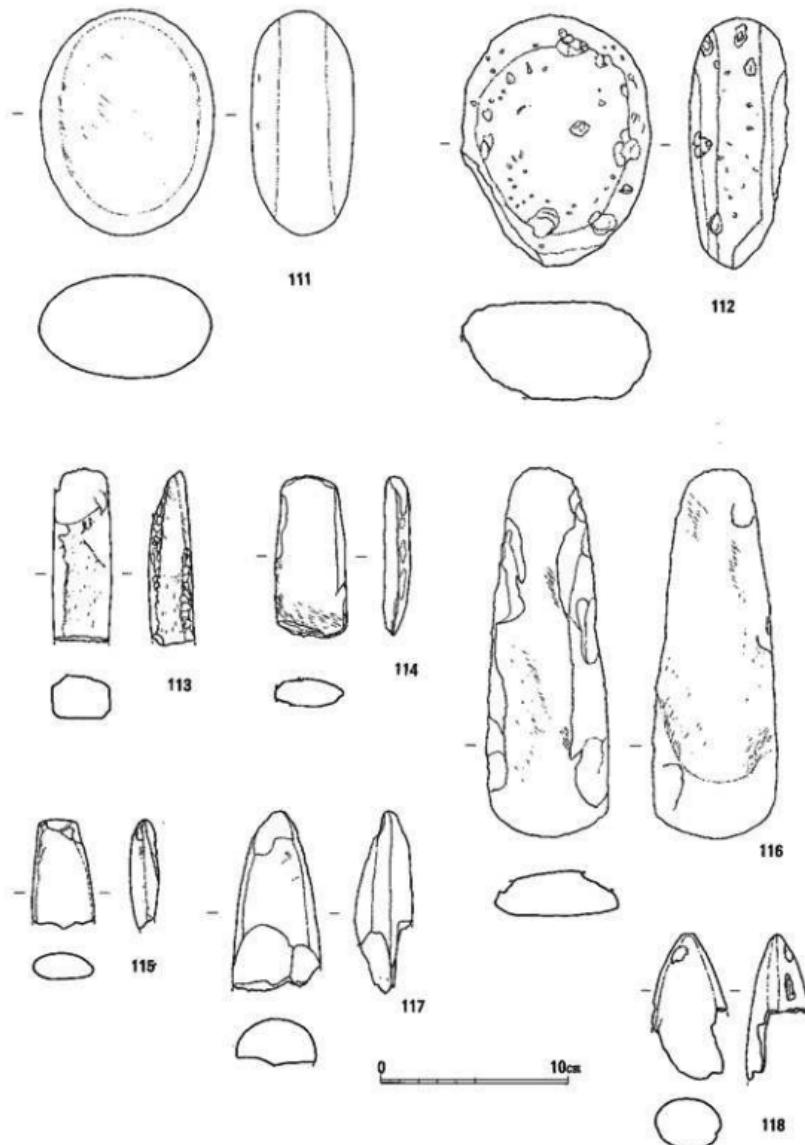
第37図 石器実測図 (XI) (一次調査分)



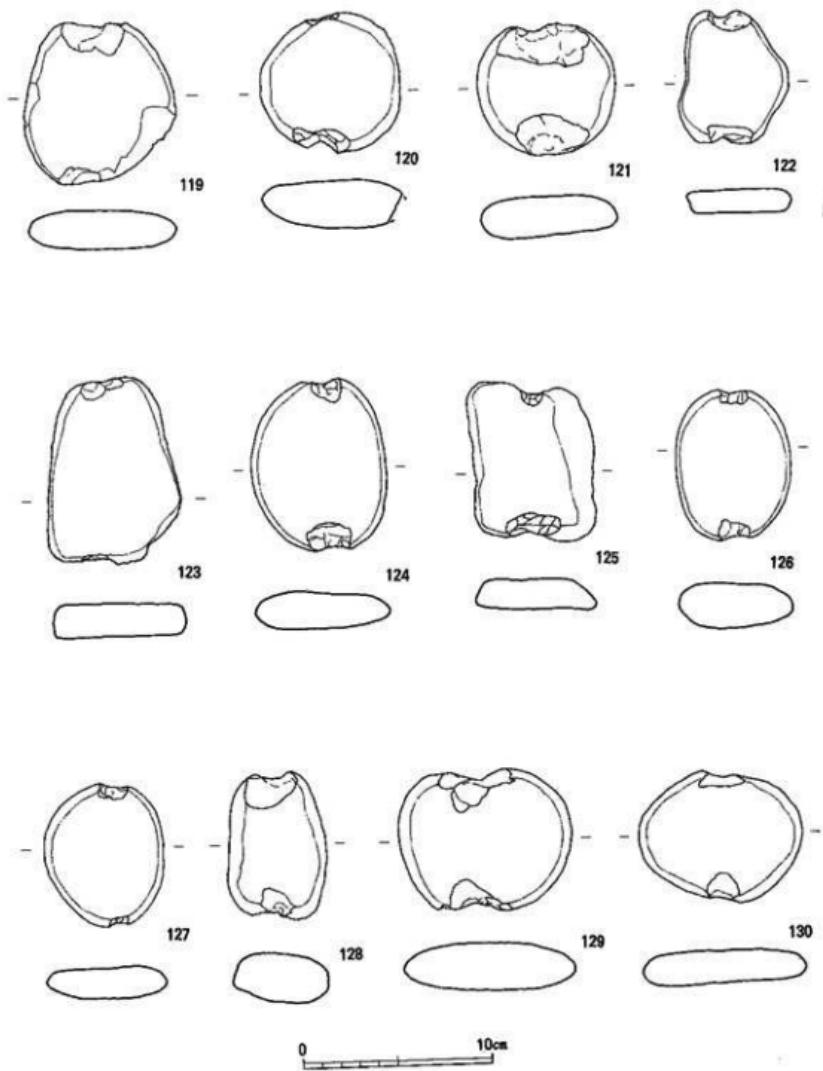
第38図 石器実測図（XII）（一次調査分）



第39図 石器実測図（XIII）（一次調査分）



第40図 石器実測図 (XIV) (一次調査分)



第41図 石器実測図(XV)（一次調査分）

第5表 崩野遺跡一次調査出土石器計測表

| 番号 | 器種 | グリット | 最大長(cm) | 最大幅(cm) | 最大厚(cm) | 重量(g) | 石質 | 備考 |
|-----|------|-------|---------|---------|---------|--------|-------|--------------|
| 101 | 石皿 | 表採 | 43.0 | 23.5 | 7.1 | 15,000 | 砂岩 | |
| 102 | 石皿 | S A 1 | 41.0 | 27.5 | 10.0 | 14,000 | 砂岩 | |
| 103 | 石皿 | 表採 | 40.3+α | 16.4+α | 8.6 | 10,000 | 溶結凝灰岩 | |
| 104 | 石皿 | 表採 | 27.5+α | 12.3+α | 7.9 | 2,750 | 砂岩 | |
| 105 | 石皿 | S I 1 | 22.2+α | 19.9+α | 6.7 | 3,750 | 砂岩 | 敲石として も使用 |
| 106 | 磨石 | | 10.9 | 9.6 | 5.4 | 1,050 | 砂岩 | " |
| 107 | 磨石 | | 10.8 | 10.3 | 5.2 | 1,000 | 砂岩 | " |
| 108 | 磨石 | | 11.6 | 10.2 | 4.9 | 900 | 砂岩 | " |
| 109 | 磨石 | | 9.5 | 9.2 | 4.9 | 634 | 砂岩 | " |
| 110 | 磨石 | | 11.3 | 10.4 | 4.6 | 782 | 砂岩 | " |
| 111 | 磨石 | | 12 | 9.2 | 5.4 | 1,000 | 溶結凝灰岩 | " |
| 112 | 磨石 | | 13.4 | 10.1 | 5.2 | 500 | 砂岩 | " |
| 113 | 磨製石斧 | | 9.1+α | 3 | 2.5 | 110 | 砂岩 | " |
| 114 | 磨製石斧 | | 8.6 | 3.7 | 1.5 | 72 | | |
| 115 | 磨製石斧 | | 5.8+α | 3.2 | 1.4 | 38 | | |
| 116 | 磨製石斧 | | 19.6 | 6.6 | 2.4 | 416 | | |
| 117 | 磨製石斧 | | 9.5+α | 4.2+α | 3 | 140 | | |
| 118 | 磨製石斧 | | 7.7+α | 3.4 | 2.7 | 65 | | |
| 119 | 石鍤 | | 8.6 | 8.1 | 2.1 | 210 | 砂岩 | |
| 120 | 石鍤 | | 7.5 | 7.4 | 2.6 | 182 | 砂岩 | |
| 121 | 石鍤 | | 7.5 | 7.1 | 2.2 | 147 | 砂岩 | |
| 122 | 石鍤 | | 7.0 | 5.6 | 1.2 | 84 | 砂岩 | |
| 123 | 石鍤 | | 9.9 | 7.1 | 1.8 | 210 | 砂岩 | |
| 124 | 石鍤 | | 8.9 | 7.2 | 2.0 | 191 | 砂岩 | |
| 125 | 石鍤 | | 8.5 | 6.6 | 1.5 | 150 | 砂岩 | |
| 126 | 石鍤 | | 8.1 | 6.1 | 2.4 | 149 | 砂岩 | |
| 127 | 石鍤 | | 7.6 | 6.4 | 1.7 | 124 | 砂岩 | |
| 128 | 石鍤 | | 8.0 | 5.4 | 2.7 | 155 | 砂岩 | |
| 129 | 石鍤 | | 9.3 | 7.6 | 2.5 | 233 | 砂岩 | |
| 130 | 石鍤 | | 8.7 | 7.0 | 1.8 | 131 | 砂岩 | |

第4節 中世の遺構と遺物

中世の遺構は検出されなかったが、龍泉窯系青磁片・備前焼擂り鉢などが出土した。

(1) 青 磁 (第44図4~7・10・11)

3は外面体部に鏡のない幅広の鈍い連弁文を有する碗でオリーブ灰色の釉を施釉する。11は口縁部に輪花を有し、ヘラ状工具で体部内面に片彫りの文様を施している碗で、オリーブ灰色の釉を施釉する。

第5節 近世の遺構と遺物

近世の遺構としては溝状遺構が2条と土壙墓1基が検出された(第42図)。

(1) 溝状遺構

S E 1 (第43図)

S E 1はd-3~5区に位置し、ほぼ南北方向に伸びている。上部は削平されており、幅40cm~105cm、長さ505cmの範囲で北側半分に集石されている。幅35cm~60cm、深さ10cm、長さ830cmである。その中から石皿1点(第27図1)・染め付けが出土している。

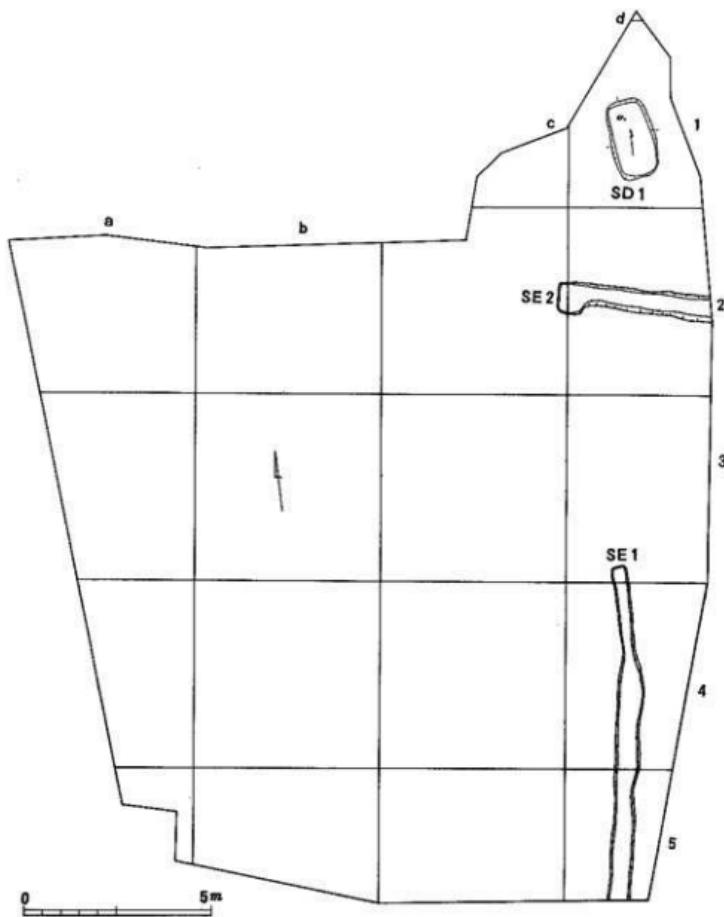
S E 2 (第43図)

S E 2はc-d-2区に位置し、ほぼ東西方向に伸びている。幅60cm~70cm、深さ30cm、長さ410cmである。断面は箱形である。陶磁器碗(第44図8)・染め付けが出土した。

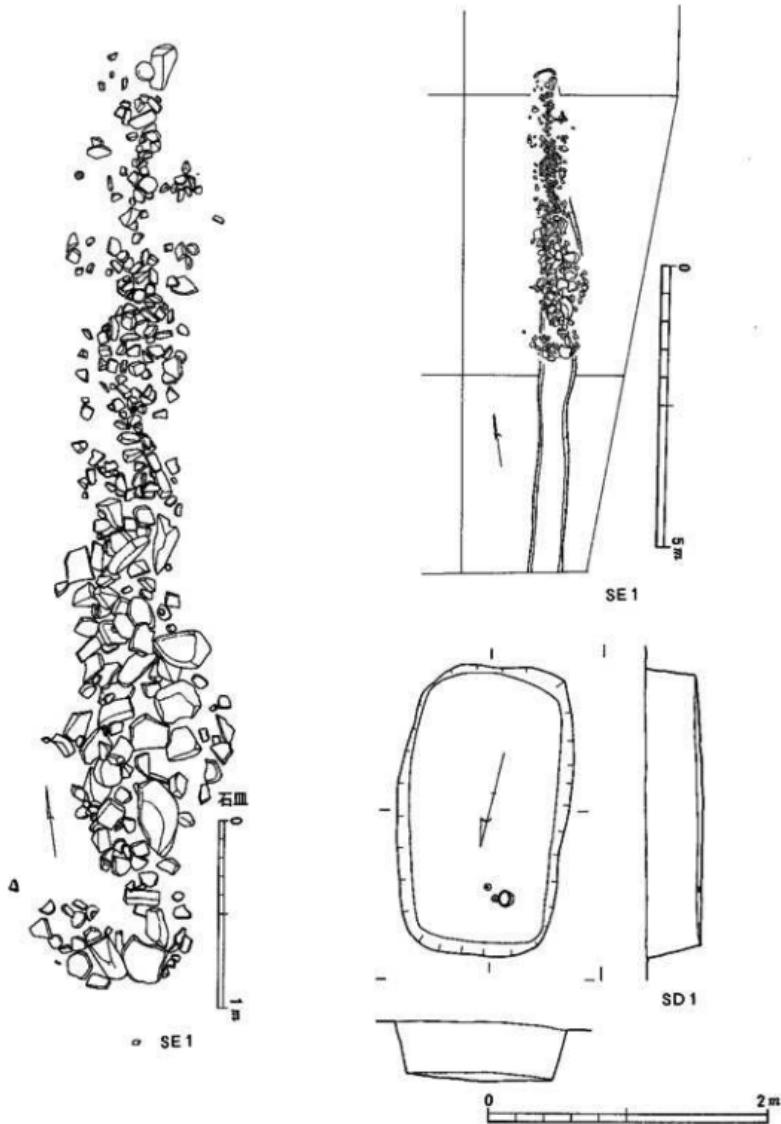
(2) 土壙墓

S D 1 (第43図)

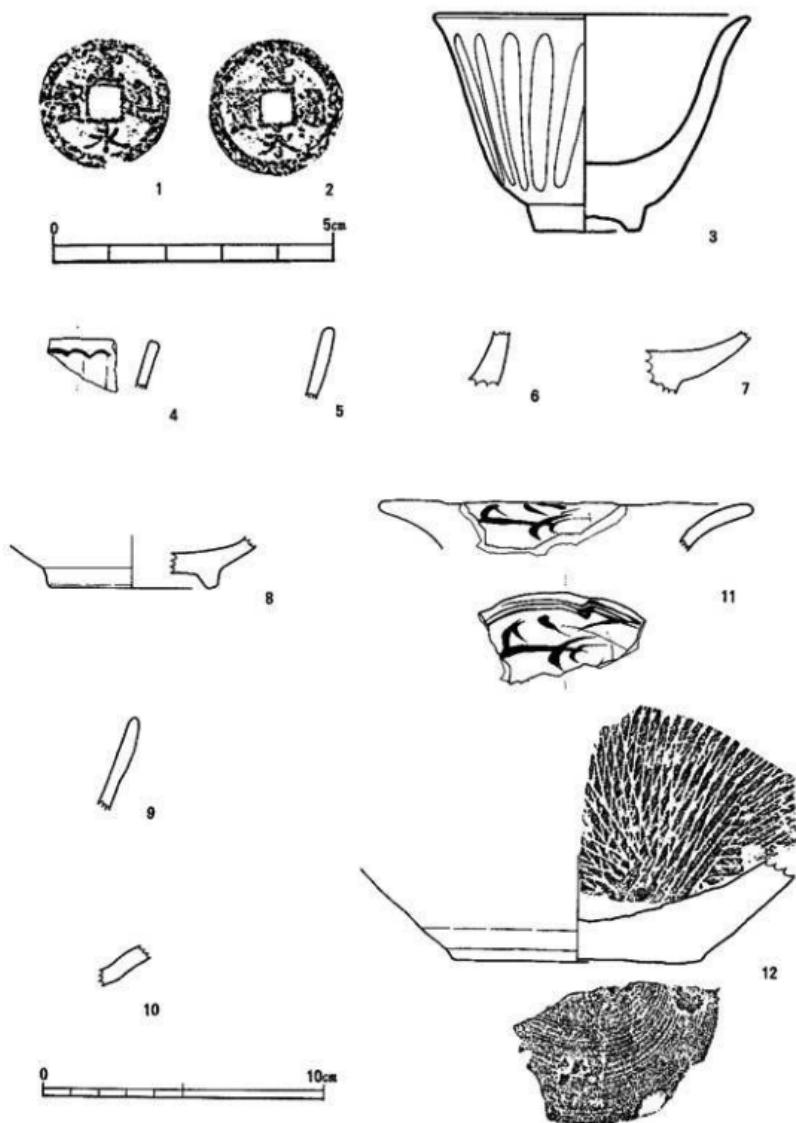
S D 1はd-1区に位置し、長さ206cm、幅122cm、深さ43cmの隅丸長方形プランである。主軸はN-14°-Wで、寛永通宝2枚(第44図1・2)と陶磁器碗1点(第44図3)が北部で出土した。寛永通宝は直径2.4cm、厚さ0.1cmである。3は口径5.6cm、底径1.8cm、器高3.9cmを測る碗で、体部外面には幅3mmの縱方向の凹線を施して連弁風にしている。明緑灰色の釉を施しているが、高台と体部下半の一部には釉が施されていない。



第42図 近世の遺構分布図



第43図 SE 1・SD 1実測図



第44図 銅錢・陶磁器実測図

第6表 陶磁器観察表

| 遺物番号 | グリット | 器 | 種 | 器 | 形 | 器 | 形 | 器 | 輪 | 調 | 胎 | 土 | 胎 | 土 | 色 | 調 | 形 | 量 | 成形法 | 等の特徴 | 備考 |
|------|-------|---|---|---|---|------|-----------------|---------------|-----|---------------|---------------|--------------|----|-------------|---|------------------------|---------------------|---|--------------------------------------|------|----|
| 3 | S D 1 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 碗 | 浅 | 形 | 明暦灰 | (7.5G Y 8-/1) | 精 | 良 | 模倣 | (5 YR 8-/4) | | | | | 口径 5.6 cm 底径 1.8 cm 高さ 3.85 cm | | |
| 4 | c - 2 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | *リープ灰(10Y 6-/2) | 精 | 良 | 模倣 | (5 Y 7-/3) | | | | | 外面部に墨文・墨入りあり | | | | | |
| 5 | B 1 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | *リープ灰(10Y 6-/2) | 精 | 良 | 模倣 | (2.5 Y 7-/2) | | | | | 買入あり | | | | | |
| 6 | B 1 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | *リープ灰(10Y 6-/2) | 精 | 良 | 模倣 | (10Y 8-/1) | | | | | 買入あり | | | | | |
| 7 | a - 4 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | *リープ灰(10Y 5-/2) | 精 | 良 | 明オリーブ灰 | (2.5G Y 7-/1) | | | | | | | | | | |
| 8 | S B 2 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | 模倣オリーブ | (7.5Y 5-/3) | 精 | 良 | 模倣 | (2.5Y 7-/3) | | | | | 買入あり | | | | |
| 9 | b - 3 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | 模倣オリーブ | (7.5Y 5-/2) | 精 | 良 | 模倣 | (10Y R 6-/1) | | | | | 買入あり | | | | |
| 10 | a - 1 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | 模倣 | (7.5G Y 6-/1) | 精 | 良 | 模倣 | (10Y R 6-/1) | | | | | 買入あり | | | | |
| 11 | a - 3 | 縦 | 器 | 碗 | 浅 | 口 樹脂 | *リープ灰 | (10Y 6-/2) | 精 | 良 | 模倣 | (5 Y 7-/2) | | | | | 買入あり | | | | |
| 12 | B 2 | 陶 | 器 | 碗 | 鉢 | 底 | 鉢 | 底 | | | | | | | | 1 mm以下 で褐色の 砂を含む | 赤 (10Y R 5-/6) 内 | 外 - ナデ 内 - 槍状工具による 1 mm 間隔の溝が約 2.5 mm 間隔で交差して施されている。 底 - 系切り | 相定底径 9 cm | | |

第Ⅲ章 ま と め

崩野遺跡は縄文時代後期の遺跡であり、集石造構が13基営まれている。しかし、縄文時代晩期には集落の形成が断絶しており、集落の移動か廃絶が考えられる。再びこの地に遺跡が営まれるのは江戸時代の近世墓の時期である。

(1) 縄文時代後期の土器群について

後期の土器群としては、I・III類の阿高式系、II類の岩崎上層式、V類の指宿式などの凹線文・沈線文系の土器、VI類の市来式・VII類の草野式などの貝殻文系の南九州の土器群とIX類の出水式などで構成されている。特にI～III類の阿高式系の時期にピークがある。

(2) 土器片加工円盤について

土器片加工円盤は二次調査では17点しか出土していないが、一次調査では257点も出土している。二次調査分の重量は13.0g～42.0gに分布しており、平均は22.0gである。一次調査分の重量は6.0g～124.0gに分布しているが、14.0g～26.0gに集中しており、特に19.0g～20.0gにピークがある。平均は長さ4.9cm、幅4.0cm、厚さ0.9cm、重量は24.6gであり、丸野第2遺跡の平均重量の24.5gとほぼ同じである。

県内では陣内遺跡（高千穂町・点数不明）・青木遺跡（田野町・200点以上）・丸野第2遺跡（田野町・989点）・尾立遺跡（綾町・点数不明）・駒栗毛遺跡（小林市・点数不明）・下弓田遺跡（串間市・10数点）などの後期の遺跡から出土しているが、宮崎学園都市遺跡群（宮崎市）では平畠遺跡X XIV区で14点、平畠遺跡XX XV区で5点、平畠遺跡P・Q区で少量出土しているだけである。特に丸野第2遺跡では大量に出土しており、土器密集区（集石造構30基）が47.1%、A地区（堅穴住居4軒）が30.1%、B地区（堅穴住居15軒）が21.0%、C地区（堅穴住居8軒）が1.4%である。堅穴住居などの遺構からも9.7%の96点が出土している。重量は4.0g～115.0gに分布しているが、14.0g～27.0gに集中しており、特に19.0g～21.0gにピークがある。平均の重量は24.5gであり、切り目石錐の平均重量の53.3gの約半分の重さである。この用途については不明であるが、丸野第2遺跡では居住域よりも廃棄空間で多数出土していることなどを考えると、実用的な用途よりも『祭祀』的な用途が想定されるかも知れない。その具体的中身は不明であるが、平畠遺跡の土器廃棄空間で出土している赤色顔料付着の精製磨研土器・岩偶・高坏などに替わるものと推定される。しかし、土器片加工円盤には面取りしているものは数点であり、ほとんどのものは打ち欠いて整形しているだけであるので、再考の余地が十分ある。

(3) 石器組成について

石器としては磨石が12点（29.3%）、石錐が11点（26.8%）、石皿が9点（22.0%）、磨製石斧が7点（17.1%）が出土しているが、打製石錐・切目石錐は欠如している。それに対して一次調査では石錐が12点（42.9%）、磨石が7点（25.0%）、石皿が5点（17.9%）、磨製石斧が4

点（14.3%）が出土しており、同様な在り方を示している。両方を合計すると石錐が23点（33.5%）、磨石が19点（27.5%）、石皿が14点（20.3%）、磨製石斧が11点（15.9%）である。当遺跡出土の石器を用途別に分類すると、石皿・磨石・敲石などの植物調理用石器が47.8%、石錐などの漁撈用具が33.3%、磨製石斧などの工具類が15.9%であり、植物採集と漁業のバランスのとれた集落の姿が浮かび上がる。これは遺跡の立地に由来すると考えられる。

一方、後期前半の集落である丸野第2遺跡の石器組成は、磨製石斧が64点（31.5%）、磨石57点（28.0%）、石錐18点（8.9%）、敲石16点（7.9%）、石皿14点（6.9%）、打製石錐11点（5.9%）、台石9点（4.4%）、鑿状石器4点（2.0%）、石刀2点（1.0%）、その他7点などの計203点出土している。当遺跡出土の石器を用途別に分類すると、磨石・敲石・石皿などの植物調理用石器が42.9%、磨製石斧・鑿形石器などの工具類が33.0%、石錐などの漁撈用具が8.9%、打製石錐などの狩猟用具が5.9%であり、平畠遺跡とは異なり植物採集にかなり依存している集落の姿が浮かびあがる。石器組成の特徴としては、磨製石斧が64点の31.5%、磨石が57点の28.0%を占めている。このことはドングリなどの木の実などの植物採集に依存する割合が高いことを示している。出土地区ごとに石器組成を見てみると、土器密集区は磨製石斧が23点と全体の64点の35.9%も占めているのに対して、磨石は8点（12.5%）と極端に少なく、遺跡全体の石器組成とは異なり如何に多くの石斧が廃棄されていたかが分かる。A地区は92点のうち磨石35点（38.0%）、磨製石斧が24点（26.1%）、石錐9点（9.8%）であり、遺跡全体の石器組成とは異なり磨石が磨製石斧より多い。またB地区の住居群の遺構内及び埋土からは22点出土しているが、磨石8点（36.4%）、磨製石斧6点（27.3%）とA地区と同様な在り方を示している。住居内から出土した石器組成は磨石が9点（40.9%）、磨製石斧が5点（22.7%）、石錐が4点（18.2%）、敲石が3点（13.6%）、石錐1点（4.5%）であり、A・B地区と同様な在り方を示しているが、石錐の割合が高いのが目立つ。住居からの出土で揃っているのはB地区のSA3で磨石2・敲石1・石斧1・石錐1が出土している。集落本来の石器組成はA地区とB地区及び住居群の在り方が本来であり、廃棄空間と居住域における性格の違いが明確に示されている。

また市来式の時期を主体とする下弓田遺跡B地点（串間市）でも139点の石錐の内打ち欠き石錐が110点（79.1%）も占め、磨石と磨製石斧がそれぞれ4点（2.9%）、石皿と敲石が各1点（0.7%）であり、「漁村」的な集落の姿が如実に現れている。

丸野第2遺跡から東に約11km離れた平畠遺跡（宮崎市）では石錐が石器組成の約50%も占め、打ち欠き石錐が350点（81.6%）、切り目石錐が79点（18.4%）と丸野第2遺跡と逆の様相を呈しており、打ち欠き石錐の平均重量も186gであり、立地に起因して海の漁労の割合が高い集落の姿が浮かび上がる。

石錐は当遺跡ではすべて打ち欠き石錐であり、切り目石錐は欠如している。当遺跡の打ち欠き石錐の重量は38g～314gで平均は151.7gである。しかし平畠遺跡の平均186g、下弓田遺跡の181g

と比較すると若干軽目である。この石錘も切り目石錘と同様に河川域の漁撈に関係すると思われる。一方、丸野第2遺跡では石錘は8.9%を占めており、その内切り目石錘が72.2%と割合が高いことは既に指摘されているように河川域の漁撈に関係すると思われる。切り目石錘の平均重量は53.5gであり、平畠遺跡との平均重量の53.0gと一致するが、打ち欠き石錘の重量は22g～74gで平均47.3gであり、非常に軽目である。

なお第2の道具の刀剣形石製品は、県内では陣内遺跡で石棒が1点、天附型石刀が陣内遺跡1点・西都原周辺(西都市)2点・平畠遺跡1点、櫛原型石刀が丸野第2遺跡(田野町)2点の計6点が知られているが、当遺跡では出土していない。

(4) 壺穴住居

今回の調査では検出されなかったが、一次調査で検出された一辺2.5mの方形プランの壺穴住居の位置付けについて触れる。

この時期の壺穴住居としては県内では後期前半～中葉の集落としては丸野第2遺跡(田野町・27軒・方形・円形プラン混在)、平畠遺跡P・Q地区(宮崎市・11軒・円形プラン)、下弓田遺跡(串間市・3軒・方形プラン)、晩期の平畠遺跡(66軒・円形プラン)などが調査されている。特に丸野第2遺跡ではA・B地区で方形プランから円形プランへの変遷が追えるのに対しC地区では円形プランのみを造営している。A地区ではIIa期(指宿式段階前半)に方形プランのSA2と円形プランが混在し、IIIb期(市来式段階後半)とIVa期(草野式段階前半)には円形プランになる。C地区ではIIb期に円形プランのSA1Aに始まり、IIIb期とIVa期に規模が大きくなっている。3単位が勢揃いし、集落の体裁を整えるのはIIb期であり、この時期に当集落最大規模のB地区SA3B(27.6m²)が営まれる。3単位の中心はB地区の単位であり、その中でもSA3である。住居の面積は最大規模がB地区SA3Bであるのに対し最小規模はB地区SA10の5.3m²であり、平均は13.0m²である。5.0m²～6.2m²のAグループ(3軒)、8.0m²～12.0m²のB-1グループ(13軒)、12.8m²～13.8m²のB-2グループ(2軒)、15.0m²～17.0m²のB-3グループ(7軒)、最大規模の27.0m²のCグループ(1軒)に分かれる。方形プランの住居は隅丸方形プランを含むとB・Cグループに分布するのに対して円形プランの住居はA・Bグループに分布する。A・B地区的単位は初発期はB-1グループであるのに対してC地区的単位はB-3グループである。A地区ではSA3が、B地区ではSA3Bが、C地区ではSA1Aが突出したり、それぞれSA1B、SA9、SA4というより小型の円形プランの住居が付属する。なお平畠遺跡分類の大型住居(20m²)・中型住居(10m²)・小型住居(5m²)にはそれぞれCグループ、Bグループ、Aグループが対応する。

当遺跡の壺穴住居は丸野第2遺跡のAグループの小型住居、平畠遺跡の小型住居に対応すると考えられる。

(5) 集石遺構について

大小の礫を用いた集石造構が13基検出されているが、土器密集区と近接して造営されている。この時期の集石造構は県内では丸野第2遺跡（田野町・30基）・青木遺跡（田野町・1基）で検出されているが、平畠遺跡では1基も検出されていない。青木遺跡の集石造構は直径約2.5mの不整円形プランで、市来式土器が出土している。丸野第2遺跡ではB地区の住居群から北に40～60m離れた北側斜面の土器密集区に近接して集石造構が集中して分布しており、配石・集石造構の性格を考える上で示唆的である。また集石造構の西側10mには涌水があることも性格を考える上で重要である。丸野第2遺跡では集石造構を形態から「1. ほぼ円形に並べたように焼礫が見られたり、石皿や台石状の大きな石を囲むように焼礫が見られるもの。」、「2. この地方の縄文時代早期の一般的な集石造構に類似して、焼礫が一箇所にかたまって見られるもの。」、「3. 少量だが、ある程度焼礫がかたまって見られるもの。」の3つに分類されている。¹⁹

なお当遺跡の集石造構は丸野第2遺跡分類の1のタイプにSI4～7が、2のタイプにSI2・8～13が、3のタイプにSI1・3が相当する。

(6) 土器密集区について

当遺跡の一次調査の土器集中と二次調査の北西部の土器集中の在り方は、丸野第2遺跡のA地区の北端部のD地区とE地区にまたがる土器密集区に相当する。

丸野遺跡の土器密集区は一次調査では「土器溜り」、二次調査では「土器密集部」として報告された地区であり、北西斜面・湧水・多量の土器の出土などの6つの特徴から、廃棄空間（土器廃棄場）としての姿が浮かび上がる。この在り方は平畠遺跡XXIV区・XXV区や崩野遺跡でも見られる。平畠遺跡の廃棄空間では土器群のわずかな時期差や3ヶ所の土器集中箇所やそのうちの1か所に見られた焼土の存在、赤色顔料付着の精製磨研土器・岩偶・高壙などの出土から廃棄場所の規制や超過すると場所を移してまた廃棄するというような廃棄法が行われた可能性も指摘されている。²⁰しかし、石器組成においては丸野第2遺跡に見られる土器廃棄空間と居住域との相違は指摘できない。

以上のように当遺跡の土器密集区は丸野第2遺跡の土器集中区に相当する。

(7) 縄文集落について

当遺跡の竪穴住居1軒と集石造構14基から縄文集落を復元するには限定された面積しか調査されていないので、非常に困難であるが、丸野第2遺跡・平畠遺跡と比較してみる。

丸野第2遺跡ではB地区はI期（岩崎上層式段階）～IV期（草野式段階）、A地区はII期（指宿式段階）～III期（市来式段階）、土器密集区はII期～III期、C地区はII～IV期と地区によって形成される時期が異なっている。一時期の竪穴住居の軒数はB地区では2～3軒、A地区の2軒、C地区の2軒であり、2～3単位で構成された4～5軒の集落が復元される。3単位で集落が構成されるのはIIb期のみであり、残りの時期はA地区の単位を中心としてB地区あるいはC地区の組み合わせによる2単位で構成された集落である。この集落の中心的な単位は初源期から継続

して17軒の住居が建てられるB地区の単位である。B地区ではⅢb期の時期が3軒も同時に建てられており、最盛期である。これらを総括すると、丸野第2遺跡では中央の広場¹⁷を中心として周囲に2軒の住居を1単位とする3単位の住居群が約30mの間隔で配置される居住域としての『内帶』、更に外側約40mの北側斜面に土器密集区と集石遺構が配置される廃棄空間としての『外帶』という縄文時代後期の集落の典型的な姿を復元できる。

また県内では丸野第2遺跡に後続する後期後半から晩期前半の集落である平畠遺跡では1軒の20m²の大型住居と数軒の10m²の中型住居、それに炉を持つ5m²の小型住居といった規模の異なる住居が一つの単位として、緩やかな南向きの傾斜に配列されるという集落景観が復元されており、その外側に廃棄空間としての土器密集区が存在する。集落は後期には高位面に25軒、晩期には低位面に42軒形成されており、廃棄空間は高位面と低位面の段差のある境であり、丸野第2遺跡と平畠遺跡の集落の景観は広場の有無は別にして非常に良く似ているが、一つの単位が異なるのは時期的なあるいは立地的な差異による所が大である。

以上のように当遺跡の縄文集落の景観は丸野第2遺跡の景観と非常に良く似ていると考えられる。

(8) 近世墓

六道銭として2枚の寛永通宝(初鑄1636年)が出土した近世墓が1基だけ調査された。県内では堂地東遺跡¹⁸(宮崎市大字熊野字堂地・14基)・前原北遺跡¹⁹(宮崎市大字熊野字前原・2基)・竹之下遺跡²⁰(宮崎市大坂町竹下・3基)・宮崎女子短期大学運動場遺跡²¹(清武町大字木原字坂ノ下)・前畠遺跡²²(日南市大字大瀬字寺村・28基)・水落遺跡²³(小林市大字細野字水落・43基)・貴船寺遺跡²⁴(都城市梅北町字尾崎・144基・中世墓を含めて)などで昭和57年以降調査されている。

堂地東遺跡は宮崎学園都市建設事業に伴って昭和57年6月24日～昭和58年1月31日まで県教育委員会が調査を行った。その結果、「道」と推定される溝状遺構の収束する場所の両側に長方形プランの近世墓が14基分布している。14号墓の東西方向を除いてすべて主軸は南北方向である。北側に2号墓と3号墓、4号墓と5号墓、8号墓と9号墓が対になって配列している。北側のグループが長さ150～200cm、幅90～180cm、深さ30～130cmであるのに対して、南側のグループは長さ85～125cm、幅55～70cm、深さ55～200cmと一回より小さい。特に11・12・13号墓は深さが125～200cmと深い。六道銭は6基から出土しており、そのうち3基は寛永通宝である。六道銭の副葬率は42.9%である。人骨は7基より7体が出土しており、その性別年齢の内訳は男性壮年2体・男性不明1体・女性壮年1体・不明熟年～老年1体・不明少児(I)1体・不明不明1体である。しかし、人骨の遺存状態があまり良くないために日向の近世人の形質的特徴を明らかにするまでは至らなかった。これらの近世墓の時期は二次集積の土壤から出土した「寛政+(1798)年」・「文化二(1805)年」の年号が彫られている墓石と六道銭の寛永通宝の出土から

18世紀末～19世紀初頭に比定される。

前原北遺跡も宮崎学園都市建設事業に伴って昭和60年4月4日～12月27日まで県教育委員会が調査を行った。その結果、2基の近世墓が検出され、1号墓が長さ144cm×幅86cm×深さ126cmであるのに対して、2号墓は長さ190cm×幅90cm×深さ114cmである。2基の規模は堂地東遺跡の北側のグループに相当する。1号墓からは銅錢2枚が、2号墓からは盃・銅錢2枚・棺材・鰐片が出土している。

竹之下遺跡は県道新設に伴って昭和62年5月19日～7月15日まで県教育委員会が調査した。その結果、検出された3基の近世墓は長方形プランであり、2基から六道錢としての寛永通宝各1枚が出土している。かって移転した石塔には「宝永六（1709）年」・「宝曆十（1760）年」・「寛政元（1789）年」の年号が彫られており、寛永通宝の出土から18世紀初頭～末に比定される。

宮崎女子短期大学運動場遺跡は運動場建設に伴って昭和57年4月に石川恒太郎氏を中心に大学が調査を行った。その結果、板碑などの18基の近世墓が検出され、そのうち3基から六道錢が出土している。石塔は台石の上に板碑を立て、四方を扁平な板石で閉む構造である。墓壙はA群2号墓が長さ183cm、幅83cm、深さ128cmであるのに対して、C群16号墓は長さ57cm、幅52cm、深さ54cmである。石塔の年代はA群（10基）が「明暦元（1655）年」～「延宝八（1680）年」、B群（3基）が「承応三（1654）年」～「明暦四（1658）年」、C群（5基）が「延宝五（1677）年～天和二（1682）年」であるので、1655年～1682年という17世紀後半の時期に限定されて造営されている。調査された近世墓の中では最も古い。

前畠遺跡（長禪庵寺墓地推定地）は広域農道建設に伴って平成元年4月25日～11月16日まで県教育委員会が調査を行った。その結果、円形・楕円形・隅丸方形プランの28基の近世墓が検出され、その内15基から六道錢が出土しており、洪武通宝1枚を除くとその他はすべて寛永通宝である。六道錢の副葬率は53.6%である。人骨は遺存状態が極めて悪く、歯片が数点出土したのみである。この近世墓の上部構造と推定されるすぐ近辺の石塔には「寛文二（1662）年」から天保年間（1830～1844年）の紀年銘があり17世紀後半～19世紀前半の時期の墓地と考えられる。

水落遺跡は県営圃場整備事業に伴って平成元年11月7日～12月27日まで小林市教育委員会が調査を行った。その結果、10m×45mの範囲に円形プラン34基、方形プラン9基の合計43基が分布しており、六道錢としての寛永通宝が11基から90枚出土している。六道錢の副葬率は25.6%である。方形プランの土壙の長軸はほとんどが南北方向であり、最大規模の15号墓は長さ200cm、幅132cm、深さ144cmである。副葬品としては六道錢以外には陶磁器片4点が出土し、棺釘などの鉄器が27点、棺材が5点出土している。人骨は17基から17体出土しており、人骨の出土状況から座棺である。人骨の中には遺存状態の非常に良好なものがあり、日向の近世人の形質的特徴を長崎大学医学部で調査中である。六道錢の寛永通宝の時期から江戸時代に比定されている。

貴船寺跡（尾崎第1遺跡）は市営住宅建築に伴って昭和63年8月4日～10月4日まで都城市教育委員会によって調査された。その結果、中世から近世の144基の墓壙が検出され、墓壙の形態には方形・隅丸方形・円形・二段掘り・横穴などの様々なタイプが混在している。墓壙の棺には35号墓のように木棺のタイプと5号墓のように薩摩焼の壺棺のタイプなどがある。副葬品としては薩摩焼や肥前系の陶磁器、柄鏡、簪、散珠、煙管などが出土している。六道銭は、102基から出土しており、どの墓からも7枚ぐらいずつ出土している。六道銭の副葬率は70.8%と非常に高く、県内で最高の副葬率である。六道銭を棺材に金具で留めているものもある。石塔には「寛保三（1743）年」などの紀年銘があり、中世から近世の墓地と考えられている。

以上のような県内の近世墓のあり方から墓壙と六道銭を取り上げる。墓壙の形態は堂地東遺跡・竹之下遺跡に見られるように18世紀～19世紀初頭は長方形プランであるが、水落遺跡に見られる円形プランの時期については不明であるが、長方形プランの次の段階にくると考えられる。六道銭については、貴船寺遺跡の70.8%、前畠遺跡の53.6%、堂地東遺跡の42.9%に示されるように六道銭の副葬率の高さ、7枚組の六道銭の多さなどが南部九州の特徴として既に指摘されている（²⁵）、当遺跡の近世墓は1基だけであるが、わずか2枚の副葬である。当遺跡の近世墓は1基だけ検出されているが、東側に広がっていると推定される。時期は18世紀～19世紀に推定される。

以上のように、当遺跡は繩文後期の集落の一部しか調査しえなかったが、集石造構と土器編年の中では一つの成果があった。しかし、土器形式の設定、他地域との比較など土器編年について十分に消化していない点もあるため、後日機会を改めて述べたいと思う。

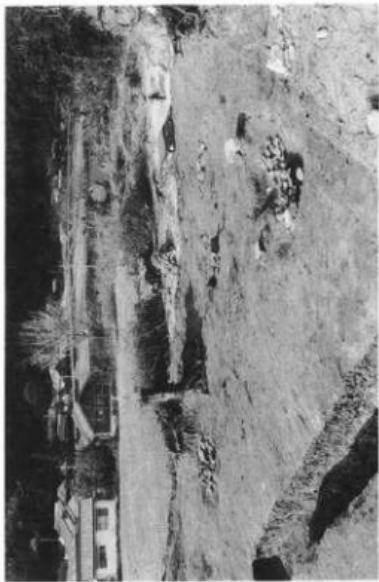
註

- (1) 長津宗重・菅付和樹「丸野第2遺跡」「田野町文化財調査報告書」第11集 田野町教育委員会 1990
- (2) 鈴木重治・賀川光夫「陣内遺跡」「日向遺跡総合発掘調査報告」第2輯 宮崎県教育委員会 1962
- (3) 鈴木重治「宮崎郡田野町青木遺跡の調査」「日本考古学協会第28回大会研究発表要旨」日本考古学協会 1963
- (4) 鈴木重治「青木遺跡」「宮崎県史 史料編 考古1」宮崎県 1989
- (5) 石川恒太郎「綾町尾立遺跡」「宮崎県文化財調査報告書」第4輯 宮崎県教育委員会 1959
- (6) 田野熊雄「綾町尾立遺跡の研究(1)・(2)」「宮崎大学学芸学部紀要」13・14号 宮崎大学学芸学部 1962
- (7) 田中茂「尾立遺跡」「宮崎県史 資料編 考古1」宮崎県 1989
- (8) 田中茂「こまくりけ遺跡」「九州縦貫自動車道埋蔵文化財調査報告(1)」「宮崎県教育委員会 1973
- (9) 石川恒太郎他「下弓田遺跡」「日向遺跡総合調査報告」第1輯 宮崎県教育委員会 1961
- (10) 北郷泰道・菅付和樹「平塙遺跡」「宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書」第2集 宮崎県教育委員会 1985

- (8) 菅付和樹・日高孝治「宮大農学部平畠遺跡XXV区」『宮崎大学埋蔵文化財調査報告Ⅰ』宮崎大学・宮崎県教育委員会 1985
- (9) 昭和60年9月～12月に宮崎大学によって発掘調査が行われたが、未報告。
- (10) 板元嘉弘「内陸部の縄文後期遺跡」『大分県史 先史編Ⅰ』大分県 1983
- (11) • 03後藤信祐「縄文晩期の刀剣形石製品の研究(1)・(2)」『考古学研究』第33巻第3・4号 考古学研究会 1986
- (12) 小田富士雄「宮崎県西都原付近発見の石刀」『九州考古学』第15巻第7号 九州考古学会 1962
- (13) 註7と同じ
- (14) 註1と同じ
- (15) 註8と同じ
- (16) 註7と同じ
- 北郷泰道「集落論ノート」『考古学研究』第34巻第1号 考古学研究会 1987
- 北郷泰道『縄文のむら』『Museum Kyushu』第7巻1号 博物館等建設推進九州会議 1987
- (18) 長津宗重・日高孝治「堂地東遺跡」『宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書』第2集 宮崎県教育委員会 1985
- (19) 北郷泰道「前原北遺跡」『宮崎学園都市遺跡発掘調査報告書』第4集 宮崎県教育委員会 1988
- (20) 昭和62年5月～7月に宮崎県教育委員会によって発掘調査が行われたが、未報告。
- (21) 石川恒太郎「宮崎女子短期大学運動場遺跡」宮崎女子短期大学 1982
- (22) 吉本正典「前畠遺跡(長瀬庵寺墓地推定地)」『宮崎県文化財調査報告書』第33集 1990
- (23) 長友郁子「水落遺跡」『小林市文化財調査報告書』第1集 小林市教育委員会 1990
- (24) 末烟光博「貴船寺跡(尾崎第1遺跡)」『都城市文化財調査報告書』第10集 都城市教育委員会 1989
- (25) 櫻木晋一「九州地域における中・近世の銭貨流通－出土備蓄銭・六銅銭からの考察－」『九州文化史研究所紀要』第36号 1991

図 版

1 地図



調査区（北東区）



S 1 2



調査区（北西区）



S 1 1

断面
2



S | 4



S | 6



S | 3



S | 5



S18



S19



S20



S21



S | 13



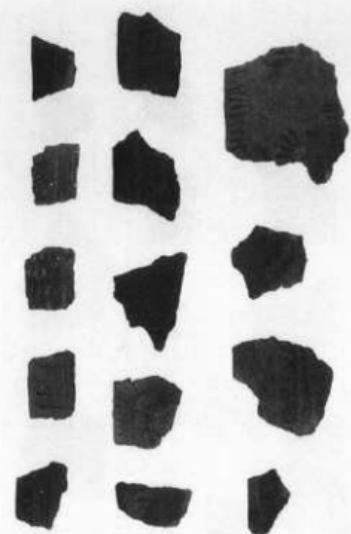
III-1~3類 43~59

II-1~2類 31~42

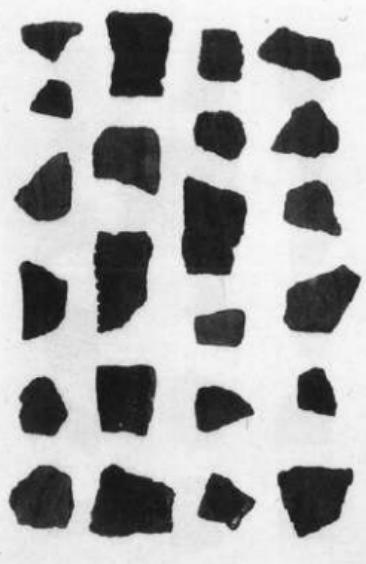
I-4~6類 15~30



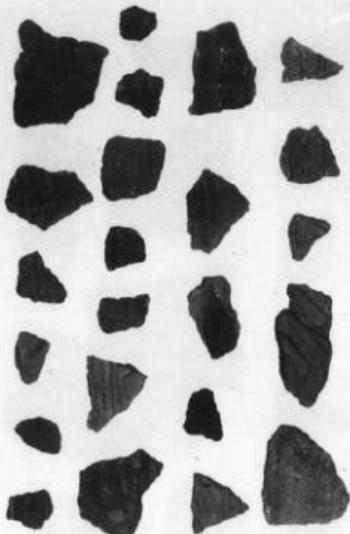
6 破片



III-1~4, IV-1~3類 60~73

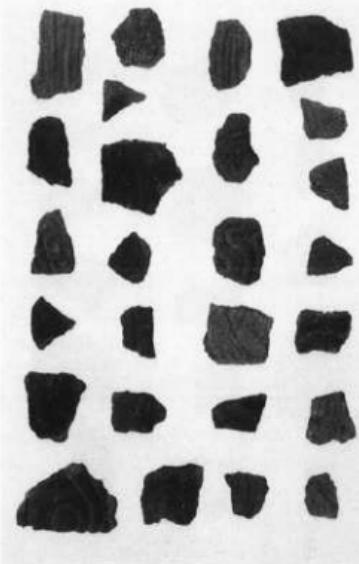


IV-3類, V-1類 74~96



I~III類 97~119

I~III類 120~145



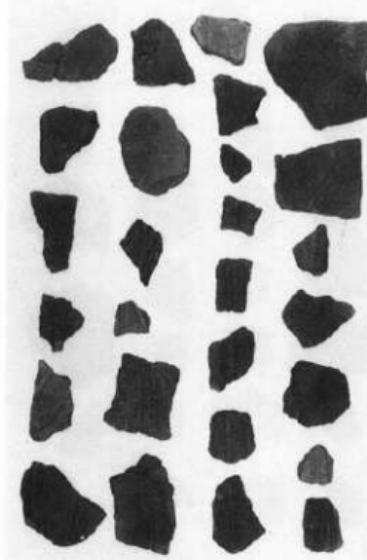
I ~ III, IV - 1 ~ 7 類 219~241

I ~ III 類 196~218

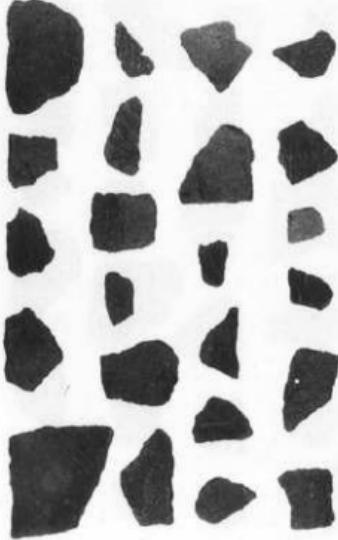
I ~ III 類 169~195



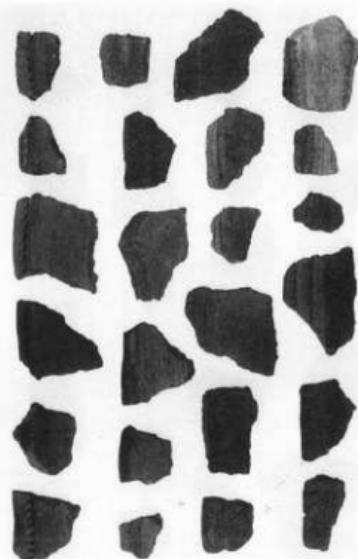
I ~ III 類 196~218



I ~ III 類 169~195



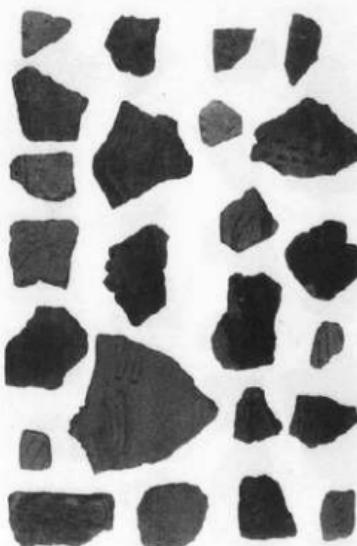
7 図 頃



VII-1・2類 242~265



VII-2・3・VII-2類 266~291

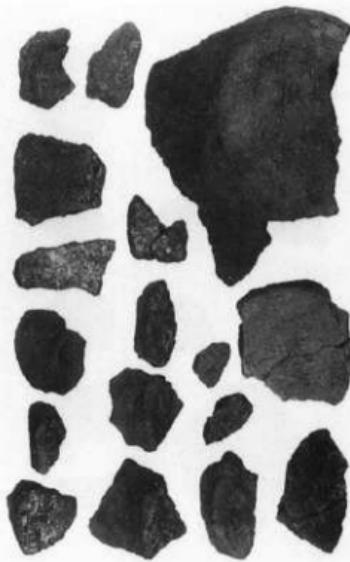


IX・XI・XII・XIII類 282~315

X・XI・XIV類 316~342

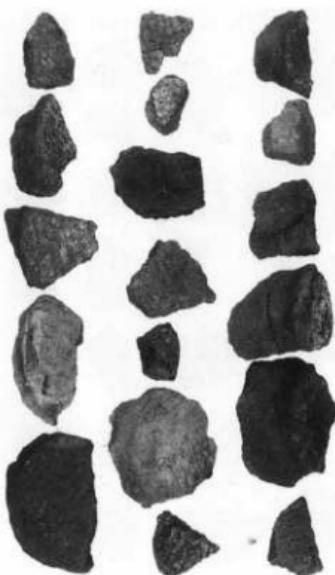
9 図

底 部 384~400



脚台付浅鉢 367~365

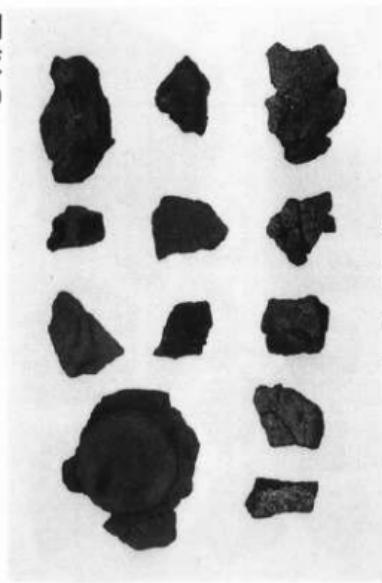
底 部 366~383



XIV類 343~352



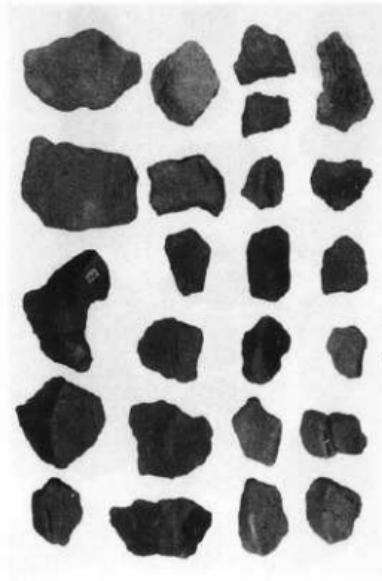
10 破片



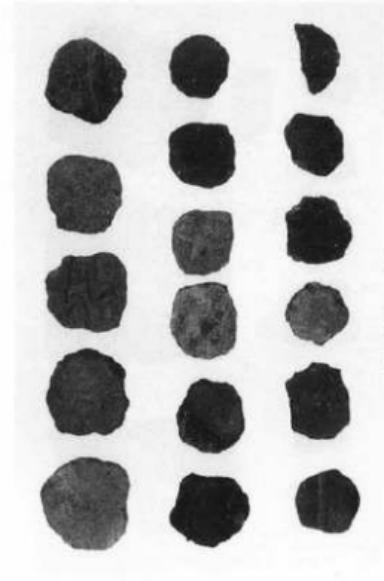
底 部 425~436



石 皿 1



底 部 401~424



土器片加工円盤 1~17

石皿 6・9



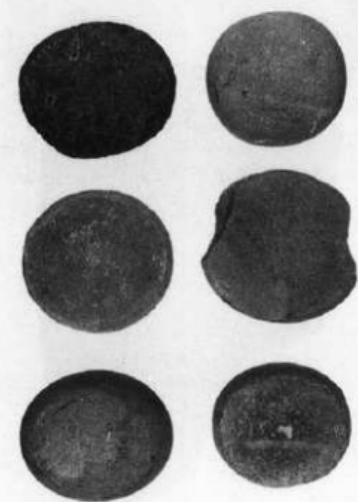
石皿 4



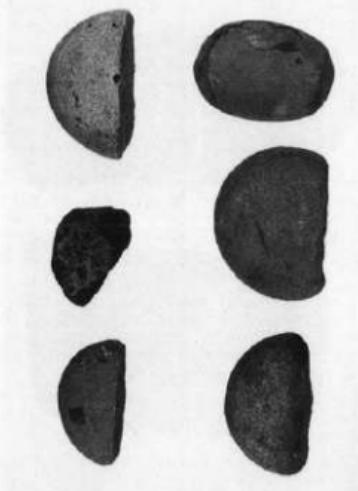
石皿 2・7・8



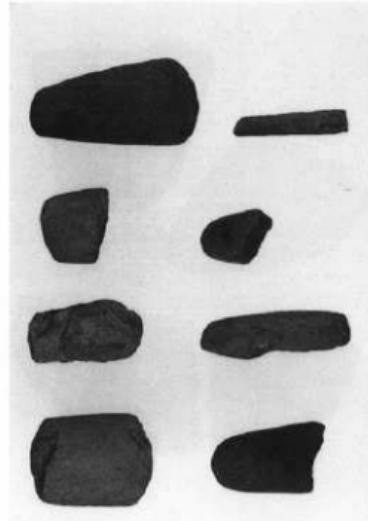
石皿 5



磨石 10~15



磨石 16~19



磨製石斧 22~28

石錐 30~37

石皿 103



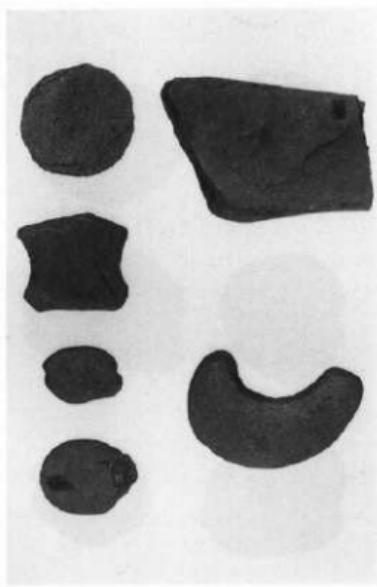
石皿 101



石錘 102



石錘 38~40・円盤形石斧・砥

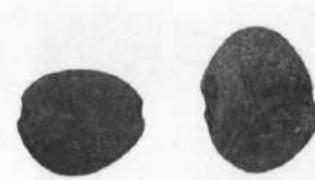




磨製石斧 113~118



磨 石 106~112



石 鍋 125~130

石 鍋 119~124



SE 1 (南から)



SE 1 (南から)



SE 1 (北から)



SE 2 (東から)

南郷町文化財調査報告書第3集

崩野遺跡II

発行年月日 平成3年3月30日

編集・発行 南郷町教育委員会

印 刷 株式会社 宮崎南印刷

